

第六十四回帝國議會  
衆議院

日本製鐵株式會社法案外一件委員會會議錄(速記)第七回

會議

昭和八年三月八日(水曜日)午前十時五十分  
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 若宮 貞夫君

理事鈴木 英雄君 理事岸田 正記君

理事田尻 生五君 理事松本 忠雄君

理事田島勝太郎君 理事岸 衛君

内田 信也君 中島知久平君

竹澤 太一君 菅原 傳君

松尾 孝之君 西川 銳吉君

宮脇 長吉君 實岡半之助君

村田虎之助君 林 路一君

依 孫一君 櫻井兵五郎君

永田善三郎君 手代木隆吉君

高野 喜六君 風見 章君

出席國務大臣左ノ如シ

陸軍大臣 荒木 貞夫君

商工大臣 男爵中島久萬吉君

海軍大臣 大角 岑生君

出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官 石渡莊太郎君

商工政務次官 岩切 重雄君

商工參與官 松村 光三君

商工省鑛山局長 福田 庸雄君

商工書記官 新倉 利廣君

製鐵所長官 中井 勵作君

製鐵所技監 野田 鶴雄君

拓務省殖産局長 北島謙次郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工技師 足立 泰雄君

製鐵所技師 井村 竹市君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本製鐵株式會社法案(政府提出)

製鐵業獎勵法中改正法律案(政府提出)

○若宮委員長 會議ヲ開キマス——宮脇サ

ン始メテ宜シウゴザイマス

○宮脇委員 陸海軍大臣ハドウデセウ

○若宮委員長 サウスルト宮脇サン御都合

ハドウデセウ、通知ヲシテ呼ビニヤッテ貰ッ

テ置イテハアルノダサウデスガ、多少ソコ

ニ到著シマスマデニ……

○宮脇委員 他ノ事項ヲ御伺シマセウ

○若宮委員長 サウデスカ、サウスレバ斯

ウ願ッテ宜ウゴザイマス、商工省ニ對スル

質疑ヲヤッテ戴イテ、其間ニマダ出席ヲシ

マセネバ出席スルマデ留保シテ戴イテ差支

ゴザイマセヌカ

○宮脇委員 宜シウゴザイマス

○若宮委員長 宮脇君

○宮脇委員 本日マデ當委員會ニ於テ専門

家ノ間ニ詳細ナル質問ガアリマシタカラ、

私ハ拜聽シマシタガ、唯私共此製鐵事業ニ

關係ナイモノトシマシテ、常識上カラ考ヘ

テ、本案ヲ如何ニ扱フカト云フ點ニ付テハ、

マダ私共ハ諒解セヌ、私ハ其點ニ付キマシ

テ極メテ率直ニ御伺致シタイ、ドウカ當局

ニ於テモ其間ノコトヲ考慮シテ戴キタイ、

先ヅ私考ヘマスルノニ、本法案ハ實ヲ申セ

バ、政黨内閣デアリマシタナラバ、私ハ中々

此問題ハ難シイト思フ、言換ヘレバ現内閣

見タヤウナ内閣デアルカラ、私ハ割合ニ扱ヒ

易イト思フ、又現商工大臣見タヤウナ人デ

アルカラ、實行シ易イ、言換ヘレバ本法案

ガ國家ノ爲ニ必要デアリ、現在ノ場合ニ一

番適當デアル、所謂好機デアル、私ハ斯ウ

思フ、故ニ若シ宜イモノナラバ宜イヤウ

ニ、早ク通シタイ、然ルニ一方考ヘテ見レ

バ、是ハ隨分重要ナル法案デアリマス、貴

付託議案

日本製鐵株式會社法案(政府提出)  
製鐵業獎勵法中改正法律案(政府提出)

衆兩院ニ於テカラニ、相當慎重審議ヲシナ

ケレバナラヌ問題デアル、然ルニ議會ノ初

メカラ提案セズニ、議會モ半バ過ギタ此月

ニ入ッテ提案サレタト云フ理由ヲ私ハ先ヅ

御伺シタイ

○中島國務大臣 實ハ商工省ト致シマシテ

ハ、第六十二議會ノ閉會後ニ直チニ本案ノ

基礎ニ相成リマスル問題ニ付テノ審議ヲ始

メマシテ、舊臘中既ニ大體ノ成案ヲ得マシ

テ、關係各省ノ之ニ對スル意見ヲ求メテ

居ッタノデアリマス、其前國策トシテ、既ニ

重要閣僚間ニ大體意見ノ一致ヲ見テ居リマ

シタヤウナ譯デアリマシタノデ、舊臘十二

月ノ始メ以來關係各省ノ間ニ事務的ノ協議

ヲ開始致シマシタノデアリマスルガ、如何

ニモ本案ノ關係致シマスル行政上ノ範圍ガ

廣ウゴザイマシテ、或ハ陸海軍ニ對シテ、

或ハ司法省ニ對シ、殊ニ大藏省トノ關係ニ

於テハ、財政上長年製鐵所ガ帝國歲計ノ下

ニ各種ノ恩惠ヲ受ケテ居リマシタヤウナ關

係カラ致シマシテ、大藏省ニ對シマスル相

談ガ非常ニ多岐多端ニ互リ、等シク、大藏

省ノ中デモ主計局、主稅局、預金部ト云フ

ヤウナ關係カラ、大藏省自體ノ省議ガ甚ダシク其決定ヲ困難ナラシメタト云フヤウナコトデ、私等ハ其爲ニ非常ニ痺レヲ切ラシマシタケレドモ、荏苒日ヲ移シマシテ、提案ニ多少ノ遲延ヲ致シマシタコトハ、私共ニ於テ先ヅ以テ非常ニ遺憾ト存ジテ居ル次第デアリマス、此段ハ只今申上ゲマシタヤウナ事情カラ、惡シカラズ御諒恕ヲ戴キタイト思ヒマス

○宮脇委員 私ハ以下大體此問題ニ付テ國民トシテ多少ノ疑惑ヲ持ッテ居ル、又明瞭ナラザル點ガアル、斯ウ云フ點ニ付テ伺ッテ見タイと思ヒマスルガ、ドウカ本法案ノ重大性ト、私共ノ質問ノ趣意ヲ諒セラレマシテ、ドウカ率直ニ御答願ヒタイ、私共考ヘマスルノニ、製鐵事業ノ合理化ヲ圖リ、發展ヲ圖ルト云フコトハ、國內需要者ニ對シテ福利ヲ増進シ、且ツ我國ノ文明、技術、地理的關係、其他製鐵ニ有利ナル關係ヲ考ヘテ出來得ベクンバ、大ニ海外ニ市場ヲ求メテ、我國ノ國運ノ隆盛ヲ圖ルト云フ私ハ根本ノ考ヲ持ッテ居リマス、即チ英吉利ガ製鐵事業ニ於テ過去世界ニ於テ非常ニ發展シシタ、日本ハ少クトモ東洋ノ方面ニ發展シ得ル餘地ガアル、私ハ産業上、斯ウ云フ所ニ一ツノ一國策トシテヤッタモノト思ハレ

ル、唯製鐵會社ガ合同ダトカ云フ單ナルモノデハナクシテ、私ハ餘程大キイモノデアルト思フ、先ヅ之ニ關シテ商工大臣ノ御意見ヲ御伺シタイ

○中島國務大臣 私共ガ國策ト致シマシテ製鐵事業ノ合同ヲ必要ト致シマスル理由ハ、稍、概論的ニナリマスルケレドモ、簡單ニト云フ御註文デゴザイマスルカラ、簡單ニ申上ゲテ見マスルト、此事業ハ現狀ノ儘ニ置イテハ屢々申上ゲマスル通りニ、其全體トシテノ統一的發展ヲ期スルコトガ極メテ困難デゴザイマスルノミナラズ、一方ニ於テハ投資ガ重複ヲ來シテ居リマス、設備ガ過不及ヲ來シテ居リマス、又一方ニ於キマシテハ、此事業ガ少サイ企業ニ分立ヲ致シテ居リマシテ、ソレニ原因致シマスル生産費ガ割高ニ相成ッテ居ル、ソコデ常ニ外國品ノ脅威ヲ受ケテ居リマスノデアリマスルガ、外國ニ於テハ、製鐵事業ニ於テ其國其國ノ鐵鋼業組合ト申シマスルモノガゴザイマシテ、國內國外ニ對スル製品販賣ハ勿論ノコト、其製品販賣ヲ基調ト致シマスル工場作業ノ支配權ヲモ、其組合ノ中心機關ガ握ッテ居リマスルヤウナ譯デ、實ニ歐羅巴ニ於テハ、鐵鋼ノ各種製品ニ於ケル國際ノ組合、國際的協定ト云フモノガ存在致シテ居

リマシテ、常ニ其統制ノ下ニ於テ輸出高ヲ按配致シテ居リマシテ、我國ハ此間ニ孤立致シテ居リマス關係上、常ニ此外國品ノ脅威ヲ受ケテ居リマスヤウナ譯デアリマス、殊ニ此事業ハ大體巨額ナル資本力ヲ保有致シマシテ、大規模ニ且ツ系統的ニ作業ヲ必要ト致シマスニモ拘リマセズ、本邦ノ製鐵事業ハ、其基礎ガ安固デゴザイマセヌ爲ニ、動モスレバ之ニ對スル投資ヲ躊躇致シマスヤウナ傾向ガアリマス譯デ、隨テ事業ノ多クハ鞏固ナル資本ノ背景ガナク、隨テ不合理ナル設備ヲ其儘ニ維持致シテ參ラナケレバナラヌ所ノ關係ガアリマスルガ爲ニ、常ニ外國ニ對シテ遜色アルヲ免レマセヌノデアリマスカラ、之ヲ合同ニ導キマシテ、國策ト致シマシテ、斯業ノ確立ヲ圖ルコトガ極メテ重要喫緊デアルト認メテ居ル次第デアリマス

○宮脇委員 私ノ問ヒ方ガ惡イ爲カ、私ノ質問ニ合ハナイ御答ニナッテ居ルノデアリマスガ、私ノ言フコトハ斯ウ云フ意味デアリマス、簡單ニ申シマスト、我國トシテハ製鐵事業ヲ大ニ進歩發展サス所ノ狀況ニアリ、故ニ其手段方法ハ次トシマシテ、産業國策ノ一重要事項トシテカラニ、製鐵事業ヲ大ニ發展サス所ノ信念ヲ以テ、商工大臣

ハ此法案ノ成立ニ當ラレタカ、斯ウ云フコトデアリマス

○中島國務大臣 固ヨリ其決心デアリマス

○宮脇委員 私モサウ思ヒマスガ、果シテ然ラバ此問題ノ解決ニ相當大ナル障礙ガアッテモ之ヲ固ヨリ突破セヌケレバナラヌ、或ハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、多少ノ無理ヲモ押退ケナケレバナラヌ、各方面ニ當ラズ觸ラズデハイカナイ、相當固イ決心、信念ヲ以テ掛ラナケレバナラヌト云フコトハ、當局大臣モ私ハサウ云フ思召ガアルダラウト思フ、其眼ヲ以テカラニ此法文ヲ見マス、私共カラ申シマス時ニハ、此合同ニ關シマシテ、本會議以來、今日迄ノ當局大臣ノ御説明竝ニ本委員會ニ於ケル所ノ應答等ニ考ヘマシテ、固ヨリ大決心、大信念ガアルノデアリマセウガ、ドウモ吾々ノ頭ニハッキリ映ッテ來ヌ、又法案ヲ見マシテモ尙ホ了解ガ出來ナイ、例ヘバ年數ニシマシテモ大體五年モ置ク、或ハ滿洲ヲ一時除外スル、或ハ合同社數ノ方面ニ付テモ、相當固イ決心、信念ガ缺ケテ居ルト云フヤウニ私ハ懸念ヲ感ジマス、此點ハ如何様ニ思ハレマスカ

○中島國務大臣 私ハ今回測ラズモ微力ノ

身ヲ以テ、製鐵業合同ノ立案者ト致シマシ  
テ議會ニ臨ミ、併セテ是ガ議會ノ協賛ヲ經  
マシタ後ニハ、更ニ此合同ノ實現ニ對シテ  
各種ノ方面ニ微力ヲ致サナケレバナラヌ立  
場ニ相成リマシタ事ハ、自ラ省ミテ實ニ恐  
懼ニ堪ヘヌ次第デアリマシテ、諸先輩ガ企  
テ、未ダ至ラザルモノヲ、偶然ニモ是ガ處  
理ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌコトニ相  
成ツタノニ對シマシテハ、心竊ニ十分ニ決ス  
ル所ガアル次第デアリマス、其微衷ハ願ク  
ハ諒トセラレンコトヲ祈リマス、就キマシ  
テハ此合同ヲ將來ニ實現致シマスルガ爲  
ニ、或ハ五年間ノ猶豫ヲ求メテ居リマスル  
ヤウナ御尋デアリマスルガ、是ハ出來得ル  
限り早キ機會ニ於テ、極力是ガ實現ヲ圖リ  
タイ決心デハゴザイマスモノ、兎ニ角此合  
同實現ニ對シマシテ、各種法制上、其他ノ  
關係ニ想ヒ到リマスル時ニ、之ヲ其後ニ臨  
ンデ再ビ致シマスルコト云フコトモ、如何ナ  
モノデアラウカトモ思ハレマスルシ、兎ニ  
角五年ノ期間ヲ御願申上ゲマスル趣旨ニ於  
テノコトニ過ギナイノデアリマス、尙ホ滿  
洲ニ對シマスル關係ニ於テハ、南滿洲鐵道  
會社ガ彼處ニ於テ滿洲自體ヲ基礎ト致シマ  
スル合同ヲ考ヘテ居リマス、又滿鐵會社ノ  
附帶事業デゴザイマスル製鐵事業ニ對シマ

シテモ多少計畫上ノ餘地ヲ存シテ居リマス  
ル關係ニ於テ、時期尙ホ早シト致シテ居ル  
ノデアリマス、其點ハ私ニ於テモ深ク之ヲ  
諒ト致シテ居リマスノデ、後日適當ノ機會  
ニ於テハ、日滿兩國ノ事業ノ間ニ、進ンデ  
合同ヲ實現セシメタイト念ジテハ居リマス  
ルケレドモ、此時此際直チニソコニ進ミ難  
イ事情ガ存在シテ居リマスガ故ニ、先頃カ  
ラ申上ゲマシタ通りニ、一時中間ノ機關ヲ  
置キマシテ其機關ヲ經マシテ、兩國ノ製鐵  
事業ニ關シマスル根本的ノ方針、生産並ニ  
販賣ノ統制ニ關シマスル事、併セテ兩國ニ  
於テ斯業ニ對シマスル保護助成ノ條件等ニ  
關シマスルコトヲ、其機關ヲ經テ審議致シ  
マシテ、兩國企業ノ間ノ統制ヲ取りタイ、  
暫ク此程度ヲ以テ我慢致ス外ハナイト思ッ  
テ居ルノデゴザイマス

**○宮脇委員** 只今ノ滿洲製鐵ノ問題ニ付キ  
マシテハ、私ハ後刻陸軍大臣ガ御臨席ノ場  
合ニ、商工大臣並ニ陸軍大臣ニ向テ御問  
致スコトニ致シマス、商工大臣ノ第一回ノ  
御答辯並ニ只今ノ御答辯ニ依リマシテ、私  
ハ大體ニ於テ合同ノ必要並ニ合同ニ關スル  
商工大臣ノ御信念ハ伺ヒマシタ、更ニ私ハ  
御伺シタイコトハ、合同スルト致シマシテ  
モ色々ノ方式ガアル、例ヘバ民間會社ヲ政

府ガ買收シテ製鐵所ノ擴張ヲスル、或ハ官  
業ヲ民間ニ拂下ゲテ、純然タル民營會社ニ  
スル、或ハ官營ハ其儘現存シテ置イテ、民  
間ノ諸會社ヲ合同シテ兩者ヲ並立サス、ソ  
レカラ又先般田尻君ガ本會議議御質問シタ  
ヤウニ、官營ハ現存シテ置イテ、民間ノ諸  
會社ヲ合同サシテ、暫ク兩者ノ成績ヲ見  
ル、其結果ヲ見テ合同ヲ圖ルト云フヤウナ  
方法デアリマス、是等ニ付キマシテハ、今  
迄相當質問應答ガアリマシタガ、此點ハ頗  
ル重要ナル事デアリマスカラ、此場合は等  
ノ方法ヲ探ラズ、今回ノ法案見タヤウナ方  
法ヲ探ラレタコトヲ、吾々ガ能ク理解シ得  
ルヤウニ此際改メテ御答辯ヲ願ヒタイト思  
ヒマス

**○中島國務大臣** 過日田尻君ノ御質問ニ對  
シマシテ、私共ガ此案ヲ完成スルニ至リマ  
シタル色々ノ案ニ付テノ、研究ノ過程ヲ申  
上ゲタノデアリマスガ、結局茲ニ至リマシ  
タ所以ノモノハ、現狀ニ於テハドウシテモ  
製鐵ノ合同ト云フコトニ依ラナケレバナラ  
ヌ、而シテ製鐵業ノ合同ヲ必要ト致シマス  
ル事由ガ既ニ確然ト致シマシタ以上ハ、此  
合同實現ノ爲ニハ、畢竟八幡製鐵所ヲ中心  
ト致シマスル組織ニ依ルニアラザレバ成就  
出來難イ次第デゴザイマシテ、民間ノ事業

者ニノミ委シテ置イテ合同實現ハ殆ンド仕  
難イノデゴザイマスカラ、茲ニ官民一致ノ  
努力ニ依ッテ、斯業ノ合同ヲ期スベク本案ヲ  
提出スルニ至ツタ次第デゴザイマス

**○宮脇委員** 今迄ノ御答ニ依ッテ、八幡製鐵  
所ガ中心ニナラナケレバイカスト云フコト  
ハ分リマシタガ、其外ニ色々ナ方式ガア  
ル、私ガ今御問申シタ事ヲ逐一、他ノ方式  
ハイカスト云フコトヲ、吾々ガ常識的ニ考  
ヘテ了解スルヤウニ御答辯ヲ願ヒタイ

**○中島國務大臣** 官營ヲ現在ノ儘ニ致シマ  
スル點ニ付キマシテハ、其豐富ナル資金ノ  
背景ヲ得マスル關係ニ於テ、又生産費ノ切  
下ヲ期シマスル上ニ於テ、將來ノ設備擴張  
乃至新規ノ施設ヲ致シテ參リマスル上ニ於  
テ、茲ニ多大ノ支障ガアルコトヲ認メテ居  
リマスルノデ、官營事業ヲ現在ノ儘ニ致ス  
コトノ案ハ、先ヅ私共ニ於テ抛チ去リマシ  
タ、茲ニ第二ニハ民業ダケノ合同ヲ考ヘマ  
シタノデアリマスルケレドモ、是亦只今申  
上ゲマスルヤウナ事情デ、民間ノ事業家ニ  
ノミ委セマシテ、斯業ノ民間事業ダケノ合  
同ヲ致シマスルト云フコトモ不可能ナ事情  
ガゴザイマス、ソコデ第三ニハ之ヲ官營事  
業タル製鐵所ヲ基礎ト致シマシテ、民間ノ  
事業ヲ買收スルト云フコトモ考ヘタノデア

リマスルガ、是ハ今日ノ財政ノ現狀ニ於キマシテ、是ガ爲ニ多額ノ交付公債ヲ發行致シマスルト云フコトモ、洵ニ困難ナ事情ガアリマスノデ、結局今回御審議ヲ煩シマシタ案ニ到達致シマシタ次第ゴザイマス

○宮脇委員 私共素人トシマシテハ、官業ガ宜イカ、民業ガ宜イカハ實際分リマセヌガ、他ノ事業ハ別トシテ、製鐵事業ニ關スル限り、兎ニモ角ニモ色々曲折ハアッタガ、現在マデノ經過ヲ見レバ、官業ハ相當成功シテ居ル、然ルニ民業ノ方ハ製鋼ハ別トシテ、製鐵ノ方面ハ大體ニ於テ不成績デア、現在偶々順調ニ在ルノハ、是ハ特殊ノ事情デア、言換ヘレバ製鐵事業ハ官營ニ於テ成功シ、民營ニ於テ失敗デアルト云フヤウナコトヲ私共ハ頭ニ有ッテ居ル、併ナガラ之ニ關シテハ色々私共素人ニ分ラヌ事情モアルト思ヒマス、何カ官營ハ成功シ、民營ハ不成功ニ終ッタト云フコトデ、過日來當委員會デ質問應答サレタ以外ニ於テノ理由ヲ伺ヒタイ、即チ此間ノ質問應答デハ民業ノ振ハナカッタト云フコトハ、主トシテ投資ノ時期ニアル、或ハ其後ノ經營ノ不十分ニ歸シテ居ル、其外ニ何カ理由ガアリマセウカ、言換ヘレバ吾々素人ヲシテ、製鐵事業ハ官業必シモ適當ナラズ、民業必シモ不適

當ナラズト云フコトヲ納得出來ルヤウ御答辯ヲ願ヒタイ、斯ウ思ヒマス

○中島國務大臣 今日民業ガ不成功ニ終ッテ居リマスル特殊ノ理由ト致シマシテハ、何分今日現存致シテ居リマスル民間ノ製鐵事業ハ、歐洲大戰ノ際ニ我國ニ於ケル鐵鋼需給ノ急要ニ驅ラレマシテ、一時ニ資本ノ投下ヲ圖リ、設備ヲ成就致シマシタ關係カラ、如何ニモ其結果ト致シマシテ、投下資本ガ多キニ過ギテ居リマスル嫌ガアルノデアリマス、又歐洲大戰中ノコトデモアリ、又戰後ノ急ニ迫ラレマシテ、外間カラ相當多額ノ負債ヲ負ウテ居リマス、且ツ其設備自體モ、其處ニ異常ナル過不及ガ生ジテ居リマシテ、且ツ先程申シマシタ通りニ、戰時戰後ニ掛ケテ一時勃興致シマシタ企業ノ間ニ、何等ノ連絡ガ付イテ居リマセヌト云フヤウナ爲ニ、結局官營事業ニ對シマシテ、事業經營上ニ遜色アルコトヲ免レヌヤウニ至ッタモノト思ヒマス

○宮脇委員 サウシマス將來ニ適當ナ方法ヲ講ズレバ民營ノ方ガ官營ニ優ル、斯ウ斷定スルノデアリマスカ

○中島國務大臣 ソコデ此度ノ案ニ伴ヒマシテ、是等ノ會社ガ純正、公平ナル評價ノ下ニ、其設備上ノ不合理ナ點ヲ除カレマシ

テ、其稼力、若クハ復成式ノ評價法ニ依リマシテ、綺麗ナル個體トナッテ合同ニ參加致シマスレバ、茲ニ只今申上ゲマシタ、從來ソレ等ノ事業ニ於ケル弊ト認ムベキモノガ除カレマシテ、且ツ官營トノ合同ニ依ッテ作業ガ合理化サレテ參リマスカラ、此處デ始メテ日本全體ノ製鐵事業ノ主要ナルモノガ、全體トシテノ統一的發展ヲ期スルコトガ出來ルヤウニ相成リマスと思ヒマス

○宮脇委員 サウシマスルト云フト、斯ウ云フコトガ言ヘマスカ、製鐵事業ハ官營トシテモ相當成功シタガ、併ナガラ遣リ惡イ點モアル、民營ニシテモ中々遣リ惡イ、ソコデ大體民營ニスル、ソコデ本法案ニ依レバ半分以上ノ株ヲ政府ガ握ル、サウシテヤレバ兩者ノ弊ガ除カレル、斯ウ云フヤウニ言フノデアリマスカ

○中島國務大臣 其通りデアリマス、私ガ申上ゲマシタノモ全く御尋ノ通りデアリマ

○宮脇委員 ソレデハ私ハ多年官營ヲ扱ッタ長イ經驗ヲ有ッテ居ル中、井長官ニ對シテ伺ヒタイノデアリマスガ、實際ニ於テアナタ見タヤウナ人ガヤッテモ官營ハイケマセヌカ

○中井政府委員 私ノ十年近クニナリマス

體驗カラ申シマシテ、必シモイケナイトハ思ヒマセヌ、思ヒマセヌガ、斯様ナ形態ノ下ニ於ケル民營ナラバ更ニ今日以上ニ行ケルト思ヒマス

○宮脇委員 私ハ實ハ前申シタヤウニ、此案ガ善イナラバ早く通過サセテ貴族院ヘ早ク廻シテ、サウシテ成立サセタイ、惡イナラバ惡イデ處置シナケレバナラスト云フノデ、極メテ率直ニ聽クノデアリマスガ、吾等ノ頭デハドウモ製鐵業ニ關スル限り、何トナク官營ノ方ガ宜クハナイカト思ヒマス、此頭ガ即チ只今私ノ質問ニ對スル御答ト、兩者ノ頭ニ差ガアルノデアリマスガ、何トカ吾々ノヤウニ特別ニ專門デナイ者ニ對シテモ分リ易ク、常識ヲ以テ説明シテ納得セシムルヤウナ方法ハアリマセヌカ、ドナタデモ宜シウゴザイマス、是ガ私ハ根本デアルト思ヒマス

○中井政府委員 其點ニ付キマシテハ、先日モ鈴木君カラ幾ツカノ項目ニ分ケラレマシテ御尋ガアリマシタガ、其項目ニ分ケテ簡單ニ申上ゲレバ御諒解ガ行クカト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ事業ハ技術ガ主ニナルノデアリマスガ、技術上ノ點カラ云ッテ寧ロ官營ノ方ガ宜イデヤナイカト云フヤウナコトデアリマシタカラ、官營ノ下ニ於テモ

相當ニ技術ハ伸シ得ルノデアリマスカラ、更ニ之ヲ斯ウ云フ形ノ民營ニ致シマスレバ、技術官ノ優遇モ今日以上ニ出來ルト思ヒマス、例ヘバ官吏デアリマスレバ、色々ナ階級ガ設ケラレテアリマス、而モソレハ定員ガアルトカ、或ハ俸給ガドウデアルトカ、色々ナ事情ガアッテ、必シモ製鐵所バカリデナクシテ、一般ノ方式ニ準ジテ取扱フノデアリマスカラ、却テ民營ニナリマススト技術官ノ優遇モヨリ以上ニ出來マシテ、十分ニ其機能ヲ發揮サセルコトガ出來ルト思ヒマス、又原料獲得ノ點ニ於テモ日本ノ製鐵業ノ創設時代ト、又今日迄ノ相當年處ノ經過時代ニハ、寧ロ官業ノ方ガ有利デアッタト思ヒマスガ、モウ既ニ日本ノ製鐵業ハ、經濟的ニモ相當發展シ得ルト云フコトガ分リマシタ今日ニ於テハ、將來此原料ヲ殖シテ行ク上ニ於テモ、寧ロ斯ウ云フヤウナ形態ニ於テ民業トシテ經營スルコトガ、從來以上ニヨリ有利ニ得ラレト思ヒマス、尙ホ軍事上ノ點デゴザイマスガ、是ハ此法律ニモ色々規定ガアリマスルシ、今日マデト少シモ變ラズ行クト思ヒマス、尙ホ此從業員ノ勤務ト云フヤウナ、詰リ全部ヲ緊張サセテ働イテ貰フト云フヤウナコトカラ行キマシテモ、先般來申述ベテ居リマス通り、民

業ニナリマシテモ何等ノ不安ガナイト云フコトヲ全部除イテシマヒマシテ、而シテ將來ハ此事業ノ發展ト共ニ、總テノモノト並行シテ、總テノ從業員ニ對スル待遇モ善クナッテ行クト云フコトガ、更ニ今マデヨリモヨリ以上ニ出來ルト思ヒマス、隨テ是モ寧ロ今日マデヨリモ斯ウ云フ方法テ、民業デ經營シテ行ク方ガ更ニヨリ以上ニ緊張セシメ得ルト思ヒマス、ソレカラ尙ホ改良擴張スルニ付テドウカト云フヤウナ御質問モアリマシタガ、是モ御承知ノ通り政府事業トシテヤリマスレバ、自然必要ナ資金ハ公債ニ依ラナケレバナラス、其公債ハ必ズ製鐵事業ノ爲ニ必要デアルト云フ見地ノミヨリ政府トシテハ考ヘラレマセヌデ、一般財政ノ都合、其時々ノ事情ニ依ッテ公債ノ發行額ハ一般會計、特別會計ヲ通ジテドノ程度ガ今日ノ事情ニ於テ適當デアルカ、或ハ一時公債ノ發行ヲ見合セルト云フヤウナコトデ、中々思フヤウニ行カヌノガ、斯様ナ形態ノ下ニ民業トシテ經營致シマスレバ、其時ノ事情ニ應ジテ製鐵事業ト云フモノノミノ見地カラ資金ヲ得易クナルト思ヒマス、總テノ點カラ申シマシテ、私ノ體驗ヨリ致シマスレバ、今マデノ官營必シモイケンナイトハ思ヒマセヌ、唯斯様ナ形デ進ミマスレバ、

更ニヨリ以上ニ經濟的ニ伸シ得ルト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、其點ハ先日來商工大臣ノ答辯モ同様趣旨ニ出タノデアリマスルガ、其點ハ私ノ考ト又商工大臣ノ考ヲ敷衍シテ御答申上ゲテ置キマス

○宮脇委員 御意見ハ能ク分リマシタガ、吾々ノ考デハ此製鐵事業其モノ、本質カラ考ヘレバ是ハ民營ガ宜イ、併ナガラ最初ニ申シタヤウニ、我國ノ製鐵事業ハ大ニ伸ル餘地ガアル、又伸サナケレバナラス、サウシテ國富増進ノ一助ニシナケレバナラスト云フ見地カラ考ヘテ見マス、又過去ノ例カラ行クト、尙ホ當分ノ内官業デヤッテ、其官業以外ノ民間ノ製鐵業者ハ之ヲ助成シテ行ッテ、サウシテ暫クノ間之ヲ培養シテ置イテ、適當ノ時機ガ來タナラバ此法案ノヤウナ方法ヲ採ルト云フノガ宜イデハナイカト云フヤウナコトモ頭ニ浮ブ、私ハ將來合同ハ當然デアルケレドモ、今直チニ本案ノヤウナ方法ヲ採ッテ、サウシテ民業ニ移スト云フ點ニ付テ時期尙早デハナイカト云フ頭ヲ有ッテ居リマス、之ヲ一ツ申上ゲテ置キマス

○中井政府委員 私ノ答辯デ宜シウゴザイマス、——丁度官脇サンノ今ノ御話ニナリマシタノト同ジ頭デ私共ハ今日ガモウ既ニ最モ適當ナル時機ダト思ヒマス、何故サ

ウ申スカト云フト、簡單ニ申シマスレバ、斯様ナ工業ハ民業トシテ起リ、民業トシテ進ムノガ當然ダト考ヘマス、又諸外國皆然リデアルト考ヘテ居リマス、但シ日本ノ事情トシテハ、初ハ官業トシテ出發シナケレバ中々出來ナカッタノデ、今日ニ至ッタノデアリマス、然ルニ丁度昨年ノ需要供給ノ關係ヲ見マスレバ、丁度今ハ昨年ノ需要ガ減ッタカラデハアリマスケレドモ、全體ヲ通ジマシテ、自給自足ノ域ニ達シテ來タノデアリマス、而シテ今日爲替安ノ關係ヲ以チマシテ、今後ハ東洋、南洋方面ニ相當發展シナケレバナラス、日本ノモノト歐羅巴ノモノト對抗シ、或ハ亞米利加ノモノト對抗シテ、進ンデ輸出シナケレバナラス時代ニナリマシテ、既ニモウ昨年アタリカラソロソロ輸出ヲ始メテ居ルノデアリマス、茲ニ國內ヲ整ヘテ、海外ニ伸ビルト云フ時機ニ今日既ニ到達致シテ居ルノデアリマス、ソレデモウ既ニ培養ノ時機ヲ過ギマシテ、今後ニ於テハ段々政府ノ保護モ薄クシテ行ッテ、サウシテ海外ニ大ニ伸バサナケレバナラス、ソレニハドウシテモ斯ウ云フヤウナ國內ノ強力ノ機關ヲ作り、大ニ伸ビヤウト云フノガ既ニ今御話ノ時機ニ達シテ居リ、今日ハ絶好ノ機會デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ

居リマス

○宮脇委員 今ノ御意見ハ能ク承ッテ置キマス、尙ホ次ニ御伺シタイコトハ、御配付

ニナリマシタ日本製鐵株式會社設立計畫要綱ノ第一、日本製鐵株式會社設立ノ趣旨ノ中ニ「唯最近爲替相場ノ關係、鐵鋼需要ノ増進等ニ因リ稍好調ヲ呈シ居レリト雖斯業ノ將來ハ必シモ樂觀ヲ許サザルモノアリ今後諸物價ノ昂騰ニ伴ヒ生産費ノ騰貴シタル場合ハ再ビ外國品ノ壓迫ヲ受クル」ト、斯ウ書イテアル、サウシマス此將來ノ壓迫ハ過去ノ經驗カラ申シマスレバ、官業ヨリ民業ノ方ガ更ニ一層酷イ、即チ民業ノ方ハ從來非常ニ困ッテ居リ、悲況ニアッタ、偶、爲替安トカ、或ハ需要ノ關係ト云フノデ以テ一時好況ニナッタ、併シ此好況ハ又下ッテ行ク必要ガアル、下ッテ行ク心配ノアル民業ヲ現在ノ儘ニ置クナラバ官業ヨリ一層惡クナルト思ヒマスガ之ニ付テ別ニ御考ハアリマセヌカ、如何デスカ

○中井政府委員 只今御話ノ通り、今ノ儘デ置キマスレバ、將來又海外ノ事情ガ變リマシテ、壓迫ヲ受ケル時代ニハ困ルト思ヒマス、今ノ儘デ置キマスレバ、長イ間ニハ又段々困ル時ガ出テ來ルト、斯ウ考ヘマス、御話ノ通りデアリマス

○宮脇委員 サウシマス私ハ茲デ合同ノ

評價問題ニ付テ御伺致シマス、其事ヲ頭ニ置キマス、現在ノ狀況デアレバ合同サレル民間會社側ハ今ガ絶好ノ機會デアル、サウ言ヘル、ソコデ私ハ此間商工大臣ガ本會議デ御説明ニナッタ所ノモノヲ見マス、田尻君ノ質問ニ對スル商工大臣ノ御答辯デアリマス「評價審査委員會ヲ設ケマシテ、主トシテ關係官廳ノ高等官及學識經驗ノアル者カラ其委員ノ人選ヲ行ヒ、當業者ハ其委員ノ中ニ加ヘザル方針デゴザイマス」一方又設立委員ノ任命、之ニ櫻井君ノ質問ニ對シテ商工大臣ノ御答辯ハ、設立委員、其ノ組織ハ大體關係官廳ノ高等官實業界及金融界ノ人々ヲ以テ致シタイト云フヤウニアリマス、ソコデ一方設立計畫要綱ヲ見マスト、三ノ出資財産ノ評價方法ニ斯ウアリマス、合同ニ參加スベキ各製鐵業者ノ出資財産ハ日本製鐵株式會社設立ノ際ハ設立委員ニ於テ、會社設立後ハ日本製鐵株式會社ニ於テ評價シタルモノニ對シ、主務大臣ハ製鐵事業評價審査委員會ノ議ヲ經テ」ト書イデアリマス、サウシマス實際ニ於キマシテ實業家云々ト云フコトハ、事實ニ於テ合同スベキ會社ノ人ハ入リマセヌ、サウシマス第一回合同ノ場合ニハ、合同スル會社

ノ人モ入ッテ評價ヲスル、サウシテ會社ガ出來タ後ニハ、其會社ノ者ガ先ヅ評價ヲスル、斯ウナリマス、時期カラ申シマシテモ、第一回ノ參加者ガ非常ニ有利デアル、又評價審査ヲスベキ組織カラ言ッテモ、相當有利デアル、第二回、第三回ト遅レテ行ク程損デアリマス、斯ウ云フ結果ニナルヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマスカ、大臣ニ御伺致シマス

○中島國務大臣 昨日モ申上ゲマシタヤウ

ニ、只今モ御尋ガゴザイマシタガ、ソコニ合同實現ノ妙ガアルト思フノデアリマスルガ、合同ニ參加致シマスル爲ニハ、非合同會社ニ於テハ、成ベク早キ機會ヲ捉ヘルコトガ利益ダト思フノデアリマス、ソレハ評價標準ニ依リマシテモ、自然稼高式ノ評價法ニ重キヲ置クヤウニ相成ラウト思フノデアリマシテ、其稼高力ガ相當ニゴザイマスル間ニ、評價ノ粗ノ上ニ乗ルコトガ五大會社トシテハ有利デアラウト思ヒマス、只今一寸御尋ノゴザイマシタ通りニ私モ考ヘテ居リマシテ、茲ニ合同促進ノ妙ガアラウト思ッテ居リマス

○宮脇委員 ソレナラバ私ガ御伺致シタイノハ、今迄ニ質問應答ガアッタカ知レマセヌガ、十六社ニ對シテ初カラ皆合同ヲ勸メ

ルガ宜イト思フ、此間ノ質問應答ニ依レバ、十一社ノ中先ヅ先ニ五社位ニ交渉スルト云フヤウニ聞キマシタ、サウスルト後ニナル程損ニナル、合同ニ加ッテ來ルカ來ナイカハ別トシマシテ、先ヅ政府トシテハ全部ニ合同ヲ勸誘スルト云フコトガ公平ダト思フガ、今ハ謂ハハ政府ノ方デ選リ喰ヲシテ居ル、サウシテ數社ヲ後ニ廻シテ居ルガ、後ニ廻サレタラ損ダト云フ以上ハ、是ハ全部ニ向ッテ交渉スルカ、或ハ政府ガ大體考ヘテ居ル可能性ノアルモノニ交渉スベキデアルト思フガ、其點ヲ一ツ御伺致シマス

○中島國務大臣 吾々ノ目標ト致シテ居リ

マス所ハ、製鐵所及十一社デゴザイマシテ、其十一社ニ對シマシテハ、最初一時ニ合同參加ノ勸誘ヲ致スコトニナッテ居リマス、既ニ最初カラ十一社ヲ目標ト致シマシテ、參加ノ勸誘ヲ致スコトニ相成ッテ居リマスノデ、唯茲ニ五社、十一社ト云フ風ニ分ケマシテ申上ゲマスル所以ノモノハ、其場合ニ於テ、所謂五社ノ方ガ評價ノ決定ニ從ヒ易イ事情ガゴザイマスルカラ、實現ガ早カラウト思ウテ居ルニ過ギナイノデアリマシテ、合同參加ニ對スル勸誘ハ、十一社一時ニ之ヲ發スルヤウニ考ヘテ居リマス

○宮脇委員 十一社ヲ除ケマシテ——今配

付ヲ願ヒマシタ要綱ニ書イテアル、所謂十一社ト云フモノヲ除キマシタアノ順ニ、即チ、輪西、釜石、東洋製鐵、九州製鋼、三菱製鋼、日本鋼管、富士製鋼、淺野造船所、大阪製鐵、小倉製鋼、東海鋼業、此十一社デアリマス、其後ノ住友製鋼、住友伸鋼、神戸製鋼、川崎造船、徳山鐵板、日本鋼業、此六社ハドウナルノデアリマスカ

○中島國務大臣 是等ヲ計畫ニ入レルコトガ出來マスナラバ、洵ニ結構デゴザイマスルガ、此計畫ニ入レル理由ト致シマシテハ、只今仰セノ住友、川崎、神戸製鋼ノ如キハ、詰リ他ニ兼業ガゴザイマシテ、其製鐵部ダケヲ除キマシテ評價ニ付スルト云フコトニハ非常ニ困難ガアラウト思フノデアリマス、即チ全體トシテノ企業組織ノ中ノ一部デゴザイマスカラ、ソコニ評價ノ上ニモ困難ガアリマスシ、實際參加ノ上ニモ困難ガ伴ヒマセウト思ヒマス、隨テ私共ト致シマシテハ、先ヅ此計畫ニ之ヲ入レナカッタノデゴザイマス

○宮脇委員 入レナイ六社ニ付テモ將來ハ結局入ラナケレバナラヌヤウナ立場ニナルト思ヒマス、或ハ入レルヤウニナリハシマセヌカ、サウシマスト當分ノ間、是等ノ入ラヌ場合ニ於テ、入ラヌ所ノ各會社ハ合同

ニ依ッテ一方ニ壓迫サレルト云フコトハアリマセヌカ、是ハ此間カラ相當質問ガアリマシタガ、モウ一遍伺ヒタイ、若シ壓迫シナイトスレバ、其手段方法ヲ伺ヒタイ

○中島商工大臣 茲ニ強力ナル合同機體ガ出來マスレバ、自然此住友ナリ、川崎ナリ、神戸ナリニ致シマシテモ、矢張此合同會社ノ旗風ニ從ヒマスルコトガ各自ノ利益デアルト云フコトヲ直キニ認識サレヨウト思ヒマス、隨テ是等ノ事業トノ間ニ生産販賣上ノ統制ヲ付ケマスコトモ、必シモ困難デナイト認メテ居リマス

○宮脇委員 私ガ此間ヲ發スル所以ノモノハ、世間デハ大體斯ウ云フヤウニ解スル者ガアル、製鐵合同ト云フコトハ美名デアलग、事實ニ於テサウ多クノ會社ハ合同出來マイ、先ヅ此最初ノ五位ノモノデアアル、ソコデ五トシマシテ、東洋トカ、九州ハ既ニ是ハ八幡ノ委任經營ニシテ居ル、サウスルト五ト云ヒナガラ事實ニ於テ輪西ト釜石ト三菱デアアル、私共ハ信ジマセヌガ、世間動モスレバ輪西、釜石、三菱、之ヲ合同シテ、救ハンガ爲メノ法案デアルト云フヤウニ相當誤解シテ居ル者ガアル、私ハ此誤解ヲ此機會ニ十分解イテ置カスト云フト、製鐵合同ニ依ッテ製鐵事業ハ發達シマセウガ、思想

上ニ於テ洵ニ憂フベキ現象ガ起ル、動モスレバ當事者ハ當事者方面ニノミ没頭シマセウ、併ナガラ吾々ハ全般カラ見テ行カナケレバナラヌ、製鐵合同ニ對シテハ利益ガアッテモ、國民思想上ニ惡影響ガナイカト云フコトモ考ヘルノデアリマス、固ヨリ當局ニ於テハサウ云フ御考ハアリマスマイ、又アッテハナラヌ、併ナガラ國民中ニサウ云フ誤解ヲ有ッテ居ル者ガアレバ、私ハ此機會ニ於テ十分解クヤウニ致シタイ、其爲ニ私ハ第一回ニ來タモノニ對シテ利益ヲ圖リ、サウシテ二回、三回ノ諸會社ニ對シテハ段々不利ニナルト云フコトハ如何カト思ヒマス、私ハ此見地カラ今回此合同ニ加ハラナカッタ其諸會社ニ對シテ、之ヲ壓迫セズニ相當保護シテ戴キタイ、私ハ此數點ニ付テ一ツ大臣ニ御伺致シタイ

○中島國務大臣 此度ノ評價法ニ依リマスレバ、評價基準ガ最初ニ定マルノデゴザイマシテ、總テハ此評價基準ノ下ニ企業資産ノ評價ガ行ハレマシテ、其評價額ニ相當スル株式ノ分配ヲ受ケルト云フコトニ相成ッテ居リマスルカラ、苟モ此基準ヲ一樣ニ取計ヒマスル限リニ於テハ、一部會社ノ救済ト云フヤウナ意味ハ生ジナイカト思ヒマス、唯銘々ノ立場々々ニ於テ只今申上ゲマ

シタ通りニ、勢ヒ早ク合同ニ參加致シマスルコトヲ利益ト認メマスル事情ハアラウト思ヒマスケレドモ、苟モ評價ニ關スル限リハ、官營製鐵所自體ガ同一ノ基準ノ下ニ評價ヲ受ケルノデゴザイマシテ、此間ニ不公平ハナイ筈ダト思ヒマス、唯此參加ニ漏レマスル同業ノアルコトハ、只今申上ゲマシタ通りニソレハアルノデゴザイマスケレドモ、是等トノ間ニハ自然合同會社ヲ中心トシタル生産販賣ノ統制ガ行ハレマセウト思ヒマスシ、殊ニ半作品ヲ合同會社カラ受ケテ營業ヲ持續致スベキ展延工場等ニ於テハ、ソレ自體ノ存在ノ理由モアルノデゴザイマシテ、必シモ合同會社ノ實現ニ依ッテ其營業ガ奪ハレ去ルモノデモゴザイマセヌ、相當ニ此間ニ處シテ自家ノ營業ヲ繼續シ得ル可能性モアルノデゴザイマスカラ、是ガ爲ニ所謂局外ニ立チマスル者ガ、即チソレ等ノ事業者ガ此合同會社トノ提携ノ下ニ各自銘々ノ立場ヲ維持シテ參ルコトハ決シテ困難デナイト存ジテ居ルヤウナ譯デアリマス

○宮脇委員 實際ハ斯ウナリハシマセヌカ、政府トシマシテモ合同ハ出來ルモノト云フノデ以テ、此法案ガ通過シマスレバ、面目ニ掛ケテモ、或ハ又言責上カラ言ッテモ、何トカシテ此合同ヲ實現シタイト云フ

コトハ、是ハ人情デアリマス、是ハ相當響ク、サウナッテ來レバ、最初ニ此五社ガ有利ナ條件デモ合同セスト云フ立場ニナッテモ、何トカシテ合同サセタイト云フ見地カラ、第一回ノ場合ハ稍、民間ノ方デモ異議ガナイ、斯ウ云フコトハ實ハ有リ得ルコトデア、其他ニ今マデ屢、申シマシタヤウナ關係カラ、又商工大臣モ御認メニナッタヤウナ關係カラ、第一回ニ入ル方ガ得デアル、斯ウナッテ來ルノデアリマス、ドノ點カラ言ッテモ第一回ガ得デアル、サウシテ第一回ニ入ル會社ガ世間周知ノヤウニ大資本ノ會社デア、サウシテ第二回、第三回ノモノハ民間ノ小會社、サウトモ限リマセヌガ、サウ云フモノニハ比較的薄イ、是ハ左様ニハ壓迫ハシマスマイガ、事實上ハ壓迫デア、即チ小會社ハ已ムヲ得ズ合同セラレネバナラス、其場合ニ又評價スベキモノハ既設合同會社ガヤル、斯ウナッテ來ルトドウシテモ後ニ廻ル方ガ損デア、サウシテ後ニ廻ル方ガ大資本ノ會社ナラバ、別ニ思想上モドウ斯ウ言ハナイガ、有利ノ方ニ向フノガ偶、大資本家ノ經營會社デアルト云フコトハ、商工大臣ハサウ云フコトハ御考ニナリマスマイガ、斯ウ云フ問題ハ動モスレバ、思想上ニ惡影響ヲ及ボス、私ハ何トカシ

テ此場合合同ヲヤルナラバヤルトシテモ、斯ウ云フ思想上ニ惡イ影響ヲ及ボシテマデモヤル必要ガアルカ、尙ホ之ヲ監督スベキ方法トシテハ第二、第三ニ合同スベキモノニ付テモ尙ホ御考慮ニナッテ居ルカ、又殘ッテ獨立シテ居ル、合同ニ加ラズシテ會社ヲ經營スル諸會社ニ對シテモ事實上ノ壓迫ヲ加ヘズ、是等ガ合同ノ爲ニ其御蔭ヲ蒙ッテ以前ヨリ發展シテ行クト云フ方法ハナイカ、其一例トシマシテハ壓延作業ノ會社ト合同會社ト、生産ニ付キマシテ今カラ話ヲ決メル、即チ或ル一定ノコトニ付テソレ以上ハヤラス、或ハ原料ニ付テハ相當何カ有利ナ方法ヲ圖ッテヤッテ置カスト云フト、動モスレバ別ニ惡意モナク、會社其モノガ自體ノ便利ヲ圖ル爲ニ結局壓迫ニナリハセヌカ、斯ウ云フコトヲ懸念スルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、如何様ニ御考ニナリマスカ、モウ一度御伺致シマス

○中島國務大臣 御注意ノ段ハ吾々ニ取テ洵ニ有難ク拜聴致シマシタ、唯繰返シテ申上ゲマスヤウデアリマスガ、最初ニ私共ノ目標ト致シテ居リマスル十一社ニ向ッテ一樣ニ合同參加ノ勸誘ヲ致シマスノデゴザイマシテ、必シモ政府ト致シマシテハ續イテ來ルベキ會社ニ對シテ、殊更ニ不利ナ「チヤンス」ヲ與ヘルノデハゴザイマセヌ、唯十一社ト致シマシテハ、各々參加ノシ易イ事情ノ下ニアリマスルモノト、稍、參加ヲ致シマスル迄ニ相當ノ曲折ヲ閱セナケレバナラヌ會社ガアルガ爲ニ、銘々ノ會社ノ事情ニ立脚致シマシテ、其處ニ多少ノ遲速ガアラウト思フノデアリマスガ、政府ト致シマシテハ固ヨリ當初既ニ十一社ニ對シマシテ勸誘ヲ發シマスノデゴザイマスカラ、故ラニ各個ノ會社ノ間ニ不利ナ「チヤンス」ヲ設ケシムル意味デハゴザイマセヌ、尙ホ結局合同ヲ離レテハ存在シ得ザル中小ノ展延工場ニ對シマシテハ、只今御注意モゴザイマシタガ、是モ勿論半作品ノ供給トカ、其他生産販賣上ニソレ等ノ仕事ガ立行キマスルヤウニ彼此レ相俟ッテ利益ヲ得マスルヤウニ致サナケレバナラスト思ヒマシテ、其點ニ付テモ十分ニ考慮ヲ致ス積リデゴザイマス

○宮脇委員 私共ハ相當ナ理會ヲ持ッテ居ルノデアリマス、例ヘバ輪西ニシマシテモ、釜石ニシマシテモ、三菱ノ兼二浦ニ致シマシテモ、是等ハ實際カラ言ヘバ製鐵事業トシテ國家ニ貢獻シテ居ルト云フコトハ認メテ居リマスルガ、併ナガラ世間ト云フモノハサウハ見ナイ、又知ッテ、サウシテ尙且ツ衆愚ヲ騙シ、或ハ煽動スル者ノアルト云フコトモ考ヘナケレバナラス、故ニ世間カラ動モスレバ誤解ヲ受ケ易イモノニ對シテハ、私ハ特ニ深甚ナル注意ヲシテ戴キタイト云フ爲ニ申シタノデアリマス、ソレカラ私共ノ考デハ製鐵所々々ト言ヒマスガ、ソレヲ何處デ切ルカ問題デ、私共ハ之ヲ見マシテモ何モ三萬五千噸以上ノモノヲ全部合同サセルコトハシナイデモ、壓延作業ノ如キ是ハ相當ノ會社ニヤラシテモ宜イデヤナイカ、其方ガ互ニ切磋琢磨シテ、サウシテ外國ニ發展シ得ル、詰リ製鐵方面カラ國家ニ御奉公ガ出來ル、大本ヲ決メテ置イテ、サウシテ他ノ會社モ痛ケレバ入レト云フノデ、已ムヲ得ズ合同ヲスルヤウニナッテ行クノデナシニ、他ノ壓延作業ノ會社ノ如キハ相當立ッテ行クヤウニ、國家本位カラ之ヲ保護シテヤル、培養シテヤルト云フヤウナ頭デ進ム方ガ製鐵合同ト云フ根本ノ趣旨ニ合致シハシナイカ、製鐵合同ト云フ名ノ下ニ全部集メルト云フノデハイケマイ、私ハ其點カラ致シマシテハ、商工省ガ他ノ六社ノ合同ハ今急ガスト云フコトハ御尤デアル、御尤デア、是ハ行クハ合同サスト云フノデナシニ、相當ナ壓延作業ヲ行ッテ居ル會社ノ如キハ、寧ロ保護シテヤル、

培養シテヤルト云フコトニ依ッテ、製鐵合同

ト云フ大目的ヲ達シタイ、國內ニ於ケル需

要ヲ充スノミナラズ、綿絲綿布ガ海外ニ發

展シテ行クヤウニ、此製鐵事業ガ發達シテ

海外ニ向ッテ國威ヲ増シテ行クヤウナ方策

ヲ立テル必要ガアリハシナイカ、私ハ日本

ノ國ガ進メバ進ム程、是カラハ製鋼事業ト

云フモノハ發達スル、隨テ私ハ小サイ會社

モ出來ヨウト思フ、是等ニ對シテハ原料モ

相當ニ出スヤウニシ、又ソレヲ壓迫セヌヤ

ウニ合同會社ガ生産費ナドニモ制限ヲ加ヘ

テ、サウシテ之ヲ引張ッテ行クト云フ御考

ハナイカ、之ヲ御伺シタイ

○中井政府委員 只今ノ御尋ニ付テ私ヨリ

御答致シマスガ、先刻商工大臣カラ御答ガ

アリマシタガ、丁度今御話ノ十一社以外ノ

六社ト云フ中デ、徳山鐵板、日本鋼業及其

ノ他ト云フノガ隨分澤山マリマスガ、是ハ

丁度御話ノヤウナ趣旨ニ考ヘテ居リマス、

ソレデ現ニ徳山鐵板ト日本鋼業ト云フノ

ハ、全部半作品ヲ只今ニ於キマシテハ製鐵

所デ受ケテ、之ヲ壓延シテ居ル、ソレデ其

他ニモサウ云フノガ澤山アルノデゴザイマ

ス、唯茲デハ相當大規模ナモノヲ竝ベマシ

タダケデ、斯様ナモノハ強イテ合同スル必

要モナイシ、又却テ合同シナイ方ガ宜イノ

デヤナイカ、ソレデハ是ハドウシテ行クカ

ト申シマスレバ、是ハ今日マデ全部原料ヲ

供給シテ居ルカラ、今後ニ於テモ依然トシ

テ供給シテ行キマス、其原料ヲ供給スルコ

トニ依ッテ、決シテ無理ヲシナイデ、十分ニ

合同會社ノ下ニ生産ナリ、販賣ナリノコト

ガ能ク統制ガ取レテ行クト信ジテ居リマス

カラ、其方ハ入レル必要ハナイ、斯ウ云フ

考デ居リマス

○宮脇委員 能ク分リマシタ、ソレデハ此

合同ガ成立シタ曉ニ於キマシテモ、是等ノ

壓延作業ヲスル所ニハ、鉄鐵ナリ、或ハ鋼

板ヲ相當安ク供給シテヤル、サウシテ一方

ニハ合同會社ガ是等ノヤッテ居ル所ノ製品

ヲ取ツテヤルト云フコトニ爲サルト云フノ

デアリマスカ

○中井政府委員 ソレハ御話ノ通りデアリ

マシテ、唯故ラニ安クスルノデハナシニ、

十分成立ッテ行クヤウニスル、サウデアッデ、

初メテ日本全體ノ製鐵業ト云フモノガ立派

ニ足竝ヲ揃エテ國內ニモ安イモノガ供給出

來、海外ニモ伸ビテ行ケルト云フコトニナ

ルノデ、サウ云フモノモ十分ニヤッテ宜カ

ラウト云フノデアリマス

○宮脇委員 其點ハ分リマシタ、尙ホ一寸

御伺シタイノハ、此法案ガ成立シマスレバ

豫算ニ關係ガアリマセウガ、豫算關係ハド

ウナリマスカ

○福田政府委員 差當リ一般會計ニ於テ追

加豫算トシテ考ヘテ居リマス、豫算ノ内容

ハ、設立委員ノ費用トカ、其他評價ニ加ハ

ル委員ノ費用、評價竝ニ設立ノ委員ニ付隨

致シマスル職員ニ關スル費用、大體其三項

目位ヲ只今大藏當局ト折衝中デアリマスカ

ラ、數日中ニソレヲ提出スル運ビニ至ルモ

ノト思ヒマス

○宮脇委員 私ノ質問ハ大體是デ終リマシ

タガ、尙ホ陸軍大臣、海軍大臣ノ御臨席ノ

上デ、國防ノ見地カラ見タル點ニ付テ二、

三御尋致シタイト思ヒマス、尙ホ滿洲ノ製

鋼所ノ事ニ關シテ陸海軍大臣、殊ニ陸軍大

臣竝ニ商工大臣ニ御伺シタイノデアリマ

ス、之ヲ保留シテ私ノ質問ハ一時打切りマ

ス

○若宮委員長 一寸申上ゲマスガ、先程ノ

御要求デ陸海軍大臣ノ出席ヲ求メタノデア

リマス、初メノ答ニ依リマス、午前中ハ

ソレノ差支ガアル爲ニ——樞密院ノ會議

ガアルサウデアリマシテ出ラレナイガ、午

後ハ恐クハ出ラレヤウト云フ答ニ接シタノ

デ、午後ハ適當ナ時ニ出席シテ貰ヒタイト

云フコトヲ改メテ要求シテ置イタノデアリ

マス、所ガ只今又通知ニ依リマス、出ラ

レサウナ見込ダト云フコトデアリマシタカ

ラ、丁度アナタノ御質問中ニ間ニ合ハバ大

變都合ガ好イト思ヒマシタノデ、今見テ貰

ヒニ行ッテ居ルノデアリマスガ、ドウ致シマ

セウ

〔休憩々々ト呼フ者アリ〕

○若宮委員長 ソレデハ政府ノ御方ニ御氣

ノ毒デスガ、午後一時半ニ出席サレルヤウ

ニモウ一邊御使ヲ願ヒマス——ソレデハ左

様致シマシテ、是デ休憩ヲ致シマシテ、午

後ハ一時半カラ再開致シマス

午後零時十二分休憩

午後一時五十分開議

○若宮委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開

キマス——田島君

○田島委員 大分質問應答ガ重ネラレマシ

テ、種々ノ點ニ於テ非常ニ法案ノ精神及內

容ガ明白ニナッタヤウデアリマスガ、尙ホ

繰返シテモ——疑問ガ續出シ、且ツ承服ノ

出來ナイヤウナ問題ガ起ッテ來ルノハ、此官

營民營論ノ議論デアリマス、ソレデ午前中

宮脇委員ノ質問ニ商工大臣ガ答ヘラレマシ

タ所及ビ中井政府委員ノ答ヘラレマシタ所

ニ依リマシテ、餘程今マデヨリモ民營ヲ必

要トスル理由ガ明ニナッテ來タヤウニ思ヒマス、併ナガラ尙ホ私トシテハ承服出來ナイ點ガ多アルヤウニ思ヒマスカラ、甚ダ蒸返シテ御氣ノ毒ト存ジマスケレドモ、此問題ニ付テ更ニ二三ノ質問ヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

先ヅ第一ニ甚ダ餘談ニ互ルヤウデアリマスケレドモ、製鐵民營ニ對スル、主トシテ八幡方面ノ従業員等ノ頭ノ中ニアル反對ノ一ツト致シマシテ、資金ヲ得ル點ニ付テ官營ノ方ガ宜シイノデハナイカト云フヤウナ考ヲ有ッテ居ル様子ガ見エルノデアリマシテ、私先般八幡ノ労働者ノ代表者百三十何名ノ集合セル所ニ於キマシテ、田尻代議士ト一緒ニ應答ヲ重ネマシタ際ノ議論ノ中ニモ、ソレガ屢々繰返サレテ居リマシタ、ソレ

デ先ヅ世間ニサウ云フヤウナ考ヲ懷イテ居ル者ガ非常ニ製鐵關係ノ者ノ中ニ多數アルト云フコトヲ、御含ミテ願ヒタイト思フノデアリマスガ、其中ノ一ツトシテ、資金ヲ得ル關係ガ民營ノ方ガ都合ガ宜シイト云フ理由ノ一ツトシテ、商工大臣ノ述べラレタ所ニ依リマスト田尻委員ノ質問ニ對シテ特別會計ノ問題ヲ屢々繰返サレマシタ、其御答辯ノ要旨ノ中ニ、特別會計ノ下ニ於テ現状ヲ持

續シテ行クト云フコトガドウモ困難ノヤウニ思ハレルヤウニナッタ、其一ツトシテハ、今度通信事業ノ特別會計ガ出テ、兎ニ角八千二百萬圓ト云フモノヲ國庫ニ納メナクチャナラヌヤウニナッテ居ル、ソレデスノ如ク一般會計ニ納付金ヲ徴セラル、コトガ目捷ノ間ニ迫ッテ居ルノデ、製鐵所ガ其特別會計ノ下ニ於テ、比較的順調ナ自由ナ働キヲシテ居ッタト云フコトガモウ出來サウニナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ、マア是ハ要旨デアリマスガ、商工大臣ガ述べテ居ラレマス、ソレデ是ハ資金問題ニ付テノ御答辯トシテハドウカト私頻リニ疑フ者デアリマス

〔委員長退席、鈴木委員長代理著席〕

通信事業特別會計ノ問題ハ、此度始メテ起ッタ問題デアリマシテ、而モ從來此通信事業ヨリ生ズル所ノ國庫收入ト云フモノハ歳入ノ中ノ餘程主ナルモノヲ成シテ居リマシテ、サウシテ其主ナ歳入ニナッテ居ル所ノ通信事業ガ特別會計ニナルト云フコトニ付キマシテハ、從來ノ歳入ニ對シテ非常ナル缺陷ヲ生ズル虞ガアル、ソレガ詰リ八千二百萬圓ト云フヤウナ問題ガ起キタ所以デアリマセウ、ソレデ之ヲ遠慮ナク申シマシタナラバ、私ノ如キ者ハ、通信事業ノ特別會計ト云フヤウナモノハ、此際考ヘルベキモ

ノデハナイノデハナイカト云フヤウナ疑ヲ有ッテ居ル位デアリマス、サウ云フヤウナ都合デ、今マデ既ニ全部ガ國庫ノ收入ニナッテ居ッタモノヲ、一部分デモ其事業其モノ、爲ニ使ハウト云フノデアリマスカラシテ、此特別會計法ガ生マレテ來タノデアリマス、之ヲ製鐵所ノ是カラ先益金ヲ得ラルベキモノヲ豫想致シマシテ、サウシテ通信事業同様ニ政府ニ納金ヲ迫ラレルコトガアルカモ知ラヌト云フコトガ、此民營トシテ製鐵所ヲ經營スル一ツノ理由デアルト致シマスストシマスレバ、實ニ驚キ入ッタ話ト謂ハザルヲ得ヌノデアリマス、此製鐵所特別會計ノ純益金ヲ特別會計其モノニ使ハナクテ政府ニ收入スルト云フ爲ニハ、法律ノ改正ヲ要シ、サウシテ議會ヲ協賛ヲ經ナクチャナラヌ問題デアル、其以前ニ於テ少クトモ大藏省商工省ニ於テ非常ナ折衝ヲ要スベキ問題デアアルノデアリマス、ソレデ其局ニ當ラレル商工大臣ガサウ云フヤウナ主義方針ヲ以テ堂々ト一貫セラレルニ於キマシテハ、此製鐵所特別會計ヨリ生ズル所ノ純益ヲ以テ、歳入ニ全部取ラレルト云フヤウナコトノナイヤウニサレルコトハ易々タルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレデサウ云フ點カラ考ヘマシテ、通信事業問題

ハ、商工大臣ガ例ニ御引キニナッタノデアリマスケレドモ、恐ラクハ是ハ疑心暗鬼デアッテ、斯ウ云フコトハ唯單ニ此場合思付デ御吐出シニナッタコトデアッテ、實際製鐵所特別會計ノ精神ヲ能ク御存込ミニナッテ、之ヲ維持サレルニ於キマシテハ、サウ云フ御心配ハ毛頭ナカラウト思フノデアリマシタガ、此點ニ付キマシテ商工大臣ノ御答ヲ求メル譯デハアリマセヌケレドモ、此製鐵民營ニ對シテ反對スル者ハ、斯ウ云フ問題ニ付テハ其反對ヲ引込メルダケノ氣ニナラナイダラウト思フノデアリマス、其點ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思フ

次ニ擴張改良ニ付テハ官營デアレバ非常ニ資本ヲ得ル點ニ於テ不便デアル、斯ウ云フヤウナコトヲ仰セラレルノデアリマスケレドモ、從來製鐵所ハ非常ニ擴張ヲシ、改良ヲ致シテ參リマシタ事蹟ハ天下ノ認メル所デアリマシテ、其爲ニ製鐵所ノ事業ハ、民間同業者ノ模範トシテ日本ノ製鐵業界ニ闊步シテ居ルト云フヤウナ有様デアアルノデアリマスカラ、從來ノ經歷カラ考ヘテ見テモ、擴張改良ニ何等ノ不自由ヲ——何等トハ申シマセヌガ、相當ニ擴張改良ガ出來テ居ルト云フ事實ヲ茲ニ示シテ居ルノデアリマス、ソレデ其點ニ付キマシテモ、商工大

次ニ擴張改良ニ付テハ官營デアレバ非常ニ資本ヲ得ル點ニ於テ不便デアル、斯ウ云フヤウナコトヲ仰セラレルノデアリマスケレドモ、從來製鐵所ハ非常ニ擴張ヲシ、改良ヲ致シテ參リマシタ事蹟ハ天下ノ認メル所デアリマシテ、其爲ニ製鐵所ノ事業ハ、民間同業者ノ模範トシテ日本ノ製鐵業界ニ闊步シテ居ルト云フヤウナ有様デアアルノデアリマスカラ、從來ノ經歷カラ考ヘテ見テモ、擴張改良ニ何等ノ不自由ヲ——何等トハ申シマセヌガ、相當ニ擴張改良ガ出來テ居ルト云フ事實ヲ茲ニ示シテ居ルノデアリマス、ソレデ其點ニ付キマシテモ、商工大

臣ノ擴張改良ニ對シテ不便デアルカラ、民營ニスルコトガ宜シイト仰シヤル理由ガ、ドウモ大部分事實其モノデ打消サレルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレデ此點ニ對シマシテ、商工大臣ノ尙ホ一層明確ナル御答辯ヲ煩シテ、從來製鐵所ガ擴張改良ヲヤツテ居ルケレドモ、民營ニナレバ尙ホ一層ノ擴張改良ガ出來ルノデアルト云フ事實ヲ明示セラレマシタナラバ、此問題ニ對スル反對論ノ參考ニナルデアラウト思フノデアリマスガ、從來官營ノ場合ニ於キマシテ、製鐵所ハ特別會計法ノ支配ノ下ニアルノデアリマスケレドモ、固定資本ノ維持補充ト云フ點ニ於キマシテ、豫算ヲ議會ノ協贊ヲ經ズシテ益金ノ範圍内ニ於テ相當擴張改良ヲ致シテ居ッタデアリマス、私ノ記憶スル所ニ依リマス、最モ其程度ノ高イノハ、新シイ熔鑛爐一本ヲ擴張改良ト、固定資本ノ維持補充ト云フ名ノ下ニ拵ヘタコトガアルカノヤウニ聽イテ居リマスガ、兎モ角モ固定資本ノ維持補充ト云フヤウナ方法ノ下ニ益金ノ範圍内ニ於キマシテモ、相當ニ擴張改良ガ出來ルト云フヤウナコトガアルヤウデアリマス、サウ云フ都合デアリマシテ、法規ノ上カラ申シマシテモ擴張改良ニハ大シテ不自由ナク今日マデ行ハレテ居

ルヤウニ思フ、況ンヤ資本ヲ得ル上ニ於キマシテハ、現在ノ製鐵所ノ經營狀態ハ極メテ最近ニ於テ良好ニナリマシテ、先達カラノ質疑應答ニ依リマス、純益三千萬圓ニモ達セントスルト云フ御話ヲ承ッテ居ルノデアリマスガ、是ガ特別會計ノ下ニ於キマシテハ、全部擴張改良ニ用ヒマシテ宜シイノデアリマス、例ヲ取りマス、帝國鐵道ガ從來カラ喧シク改主建從主義トカ云フコトデ、改良事業ノ爲ニ帝國鐵道ハ非常ニ益金ヲ使ッテ居ルコトハ明カナコトデアリマシテ、官業デヤツテ行ケバコソ、斯ウ云フ擴張改良ニ對シテ其益金ヲ使フコトガ出來ルモノデハナイカト思フノデアリマス、ソレデ製鐵所ガ此際相當ノ益金ヲ舉グルヤウナ立場ニナリマシタト云フコトハ、即チ擴張改良ニ不便デアルト云フコトヲ除イタコトニ、結果ガナルヤウニ考ヘラレルノデアリマシテ、斯ウ云フ點ニ付テ商工大臣ヨリ尙ホ民營ガ宜シイト云フコトニ付テノ明カナル御説明ヲ御願致シタイト思フノデアリマス

餘計拂ヘナイ、ソレデ民營ノ方ガ宜シイノデアル、從業員ニ對シテモ、事業ノ發達ト竝行シテ待遇ヲ好クスルコトガ出來ルカラ、ソレデ從業員ニ對シテモ民營ノ方ガ宜シイノデアル、況ンヤ現在ノ待遇ニ付テハ、民營ニナリマシテモ少シモ變化ノナイヤウニ保障シテ居ルノデアルカラ、好クナルダケハ從業員ノ得デアル、ソレデ民營ノ方ガ宜シイト云フヤウナ意味ノ御話ガアリマシタ、私ハ是ガ八幡ノ從業員ノ非常ニ危惧スル所以デアルト思フノデアリマス、民營ヲ危惧スル所以デアル、何トナレバ、成程役人ハ官吏ノ俸給令ニ支配サレマシテ、或ル程度ノ俸給以上ノモノハ受ケルコトハ出來マセヌガ、一面ニ於テハ其爲ニ身分ノ保障ガアルノデアリマス、勝手ニ之ヲ罷メサセル譯ニイカヌヤウニナッテ居ルノデアリマス、其點ニ於テ既ニ不安ノ念ガ起ッテ來ルノデアリマシテ、優遇サレル者ハ宜シウゴザイマセウケレドモ、優遇サレナイデ罷メサセラレルヤウナコトヲ考ヘマス、官吏ノ身分保障ノ下ニ在ル從業員ト、然ラザル從業員トハ大變ナ差ガソコニ生ズルト云フヤウナコトガ起ッテ參リマス、殊ニ職工其他從業員ガ作業ノ狀況ニ竝行シテ優遇サレルカラト云フ長官ノ御説明ハ、之ヲ反對ニ考ヘマス

ト、作業ノ狀況ニ竝行シテ惡イ待遇ヲ受ケルト云フコトガ起リ得ルノデアリマス、現在ノヤウナ景氣ガ續イテ行ケバ結構デアリマスケレドモ、現在ノ狀況ガ續カナクテ、幾ラカ製鐵業ガ不景氣ニナルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、結局事業其モノガ儲カラナイノデアリマスカラ、ソレト竝行シテ從業員ノ待遇ト云フモノハ惡クナル虞ガアル、ソレハ惡クナラナイヤウニ保障シテ居ルカラ安心シテ宜シイト云フ御話ガ、一面ニ於テキツアリマセウ、併ナガラサウ云フ話ガゴザイマシテモ、是ハ無イ袖ハ振レナイト云フヤウナ譯デアリマシテ、會社其モノ、營業狀態ガ惡クナリマスレバ、其場合ニ於テハ從業員ノ待遇ハ勢ヒ變化ヲ受ケザルヲ得ナイノデヤナイカト思フノデアリマス、是ハ先刻事業ノ狀況ニ竝行シテ長官ガ仰ッシャッタコトヲ、揚足ヲ取ルヤウナ意味ニ於テ申スノデアリマセヌ、竝行スルコトハ當然ナコトダト思フノデアリマスカラ、サウ云フ危惧ノ念ヲ從業員ガ懷クト私ハ考ヘルノデアリマス、現在製鐵所關係ノ方々ハ、御存知ノ通りニ製鐵所ノ從業員ノ間ニ、通俗ノ言葉デ親方日ノ丸ト申シテ居ル、是ハ自分達ノ親方ハ日本政府デアルト云フ意味デアリマシテ、ソレガ八幡從業

員ノ誇デアルト同時ニ、少々位不景氣ガ  
アツテモサウ云フコトノ影響ヲ受ケナイト  
云フコトヲ意味シテ、自ラ安ンジ、自ラ誇  
トシテ居ル、其親方日ノ丸ト云フコトガ除  
カレテ會社ニナルノデアリマスカラ、會社  
ノ榮枯盛衰ニ竝行シテ待遇ガ變ルト云フヤ  
ウナ虞ガアル、サウ云フヤウナコトニ對シ  
テ虞ノナイト云フコトヲ保障サレルニ付テ  
ハ如何ナル根據ヲ以チ、如何ナル方法ヲ以  
テ保障サレルノデアアルカト云フコトヲ御伺  
シテ置キタイ、先ヅ問ガ長クナリマスカラ  
ソレダケニ付テ一應御答辯ヲ伺ヒマシテ、  
次ニ移リマス

○中島國務大臣 私ガ先程來製鐵所ノ特別  
會計ニ付テ申シマシタノハ、要スルニ現在  
ノ利益ヲ製鐵所ガ繼續致シテ居リマス限  
リ、今度ノ通信特別會計法ノ例ニ依リマシ  
テモ、其利益ノ幾分ヲ一般會計ニ納付シナ  
ケレバナラスコトニ相成ルデアラウ、是ハ  
私ノ杞憂ニ止ツテ居ルノデハゴザイマセ  
ヌ、其際私ガ大藏省ノ要求ニ對シテ頑張レ  
バ宜イデヤナйкаト云フ御話モゴザイマス  
ケレドモ、帝國財政ノ現狀ト將來ニ鑑ミマ  
シテ、獨リ製鐵所ガ特別會計ノ下ニ其利益  
ヲ壟斷致シテ參ルコトガ出來ルカドウカ、  
大體ノ上カラ言ッテ甚ダ懸念ニ堪ヘヌノデ

アリマシテ、サウ云フコトヲ申シマシタニ  
過ギマセヌ、強テ私ノ答辯ヲ御求メヲ戴イ  
タノデハアリマセヌガ、私ノ考ヘマシタ所  
ハサウ云フ點ニアッタノデアアルト云フコト  
ヲ申上ゲテ置キタイ、大體ニ於キマシテ製  
鐵所ノ民營化ニ依リ資金調達ノ便ト云フコ  
トニ付テ、アリマスガ、簡單ニ申上ゲテ見  
タイト思ヒマス、假ニ製鐵所ガ此際合同ニ  
入リマセヌデ、現狀ヲ以テ進ムト致シマシ  
テ、即チ此儘自營ヲ今後ニ繼續スルト致シ  
マシテ、其中外ノ事態ニ鑑ミマシテ、設備  
ノ改善擴張ノ爲ニ、新規施設ノ爲ニ、數千萬  
圓ノ巨額ニ上ル纏ッタ繼續事業費ヲ要スル  
ノデゴザイマス、ノミナラズ一旦其計畫ニ  
著手致シマシタト相成リマスルト、計畫ノ  
進行ニ伴ヒマシテ間斷ナキ資金ノ供給ガ行  
ハレルコトヲ絕對ニ必要ト致シマスノデゴ  
ザイマス、此點ニ思至リマスル時ニ、官營  
事業ト致シマシテ、現在、將來ノ我國財政ノ  
狀態ニ鑑ミマシテ、公債支辨ノ事業トシテ  
其時々々ノ財政上ノ都合ヲ得、議會ノ協贊  
ヲ經マシテ、之ニ對スル經費ノ支出ヲ受ク  
ルト云フ方法ヨリモ、寧ロ合同ニ依ル企業  
合理化ニ對シマスル信用ノ下ニ、豐富ナル  
民間ノ資金ヲ背景ト致シマシテ、或ハ長期  
ノ借入金ナリ、或ハ社債ナリニ依リマシ

テ、圓滿ナル資金ノ調達ヲ受クルト云フ方  
法ノ方ガ遙ニ安全デアルト思フノデアリマ  
ス、サウ云フ意味ノ考ヲ以チマシテ御答  
ヲ申シ來ッタノデアリマス、午前ニ長官カラ  
技術官竝ニ從業員ノ優遇ノ點ニ關シマシ  
テ、宮脇君ノ御質疑ニ御答シタ意味ハ、兎  
ニ角此會社ハ此合同ノ形式ニ於テ相當ノ業  
績ヲ擧ゲ得ル、製鐵所自體ト致シマシテ  
モ、其企業合理化ノ結果ト致シマシテ今日  
以上ノ業績ヲ上ゲ得ルコトヲ信ジテ居ルヤ  
ウナ譯デアリマスノデ、隨テ從業員竝ニ技  
官等ニ對シマスル待遇、其他ノ勞働條件ニ  
對シマシテ、自然會社ノ業績ニ依ル方法ガ  
考ヘラレルノデアリマスガ爲ニ、一面ニ於  
テハ技術官竝ニ從業員ノ能率ヲ増進セシメ  
マスルト同時ニ、一方ニ於テ之ニ對スル待  
遇ヲ向上致サシメ得ルコトガ出來ルト、斯  
ウ云フ相當確信ノ下ニ御答申シタノデア  
ルト思ヒマス、私モ全ク其長官ノ考ニハ贊同  
致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○田島委員 御答辯デゴザイマスガ、私ノ  
御尋申上ゲマシタ各問題ノ中デ、最後ノ技  
術員、是ハ技術員ト必ズシモ限ッタコトデ  
ハアリマセヌ、從業員全部デアリマス、職  
員、職工ヲ通ジテノ話デアリマスガ、唯昨日  
ノ長官ノ答辯ニ技術官云々ト云フ言葉ガ

使ッデアリマシタノデ、ソレニ從、タダケノ  
コトデアリマシテ、技術官ニ限ッタコトハア  
リマセヌ、總テノ從業員ニ對スル優遇ノ御  
趣旨ト考ヘテ、御話ヲ申上ゲルノデアリマ  
ス、此從業員ノ職員職工全部ヲ通ジテノ優  
遇、殊ニ職員ニ相當シタ官吏ノ待遇ヲ受ケ  
ル者ニ付キマシテハ、身分保障ガナクナル  
ノデアリマシテ、其身分保障ガナクナッた結  
果不安ノ念ヲ有ツト云フコトガ、現在從業  
職員ノ不安ニ感ジテ居ル根本理由ノ一ツデ  
アルト思フノデアリマス、ソレカラ職工ノ  
方ノ側ニ致シマス、是ハ先刻申上ゲマシ  
タ通りニ、作業ノ狀況ニ竝行シテ、サウシ  
テ待遇ヲ進メテ行クト云フヤウナ話ガアリ  
マシタノト同様ニ、其作業ノ狀況ガ惡クナ  
場合ニハ、ソレニ竝行シテ待遇ガ惡クナラ  
ザルヲ得ナイノデハナйкаト思フノデアリ  
マスノデ、今大臣ノ仰セラレマシタヤウ  
ニ、サウ云フ確信ヲ御持チニナッテ居ル、待遇  
ハ決シテ惡クシナイト云フ確信ヲ有ッテ居  
ラレルト云フコトデアリマスナラバ、其具  
體的ノ基礎ヲ御示シテ願ヒタイ、例ヘバ現  
在デハ製鐵業ハ、先ヅ米國ノ經濟狀態ノ影  
響モアリマセウガ、其結果ハ之ヲ姑ク措キ  
マシテ、現在マデノ所デハ大變宜シイ、ソ  
レダ先ヅ現在ノ狀況デハ、軍需工業ノ活潑

ニ行ハレテ居リマス間ハ、少クモ景氣ハ宜カラウト考ヘラレルノデアリマス、ソレデサウ云フヤウナ狀況デアレバ非常ニ結構デアリマスケレドモ、是ガ必シモサウ云フコトバカリデナク景氣ガ惡クナツテ、非常ニ作業上引合ハナイヤウナ狀況ニ立至ル場合モナイトハ限ラナイノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於テ尙ホ又今ノ御話ノヤウナ待遇ニ變化ノナイヤウニスル爲ニハ、相當ノソコニ確乎タル事實上ノ基礎ガナケレバйкаスト思ヒマスノデ、例ヘバサウ云フ方面ニ關スル所ノ社内保留ヲドウサレルノデアルカ、詰リ相當ニ儲カッタ場合ニ於テ幾分カノソコニ保留ヲシテ置イテ、サウシテ將來ノ不況ノ場合ニ對策ヲ講ズルト云フヤウナ、何カサウ云フヤウナ具體的ノ根據ヲ御示シテ願ハナケレバ、唯サウ云フ確信ヲ御持チニナツテ居ルダケデハ、吾々ハ御答辯トシテ承服スルコトガ出來ナイヤウニ考ヘマスガ、何等カノ御考ガアリマスレバ伺ッテ置キタイト思ヒマス

モ此會社設立後ハ政府ノ株ガ一番多イ、又八幡ノ製鐵所ガ働ク割合ガ多イノデアリマスガ、過去ノ實績カラ見マシテ、昭和五年、六年ト云フ年ハ不況ノ時デアリマシテ、ソレデモ之ヲ普通ノ事業會社ノ例デ考ヘマスレバ、其時ニ於テモ事業其物ハ十分ニ經營シテ居ルノデアリマス、而シテ其時ニ於テハドウデアッタカト申シマス、國內ノ官民ノ製鐵業者ノ間ニ於テ非常ナ競争ガアリマシテ、不當ニ値ガ下ッタノデアリマス、外國ヨリ入ッテ來ル其價格ヨリモズツト下ニ賣ラレテ居ッタノデアリマス、ソレハ手持品ノ多イノニ苦シムトカ、色々ノ事情ニ制セラレマシテ、御互ニ下ニタタト追ッテ行ッテ、餘程苦シダノデアリマスガ、其結果デモ尙ホ製鐵所ハドウニカ經營シテ來タノデアリマス、ソレデ此會社ガ出來マスレバ、サウ云フヤウナ國內ノ無用ノ競争ハ全然避ケサシテ、十分ノ統制ヲ取ッテ、而シテ合理的ニ經營シテ行カウト云フコトニナリマス、其間ニ一ツノ大ナル差ガアリマス、ソレカラ又其當時ノ日本ノ財政、外國ニ對スル經濟狀態ト云フモノト、今後相當不況ニナル場合ノ比較ヲ考ヘテ見マシテモ、其處ニ相當ノ開キガ出テ來ルト思ヒマス、尙ホ又先日來商工大臣カラモ御話ガアリ、私モ敷衍

シテ申上ゲテ居リマスヤウニ、將來相當ニ利益金ノ處分、配當ノ制限ヲ致シマシテ、社内ノ保留ヲ致スベキ會社ノ經營方針デナケレバナラス、但シ是ハ商工大臣ニ於カレマシテモ、私ト致シマシテモ是カラ何年先カノ會社ノ經營ニ付テ、今ヨリ如何ナル場合ニ於テハ、如何ナル程度ノ配當ニシテ制限スルト云フコトハ、今カラ數字のニ申サレマセヌガ、觀念ト致シマシテハ、今申上ゲルヤウナコトニ依ッテ事業界ノ振不振ニ拘ラズ、安心シテ行ケルト思ヒマス、又多少ノ利益ガアル場合ニ之ヲ無理ニ配當センガ爲ニ職員職工ノ待遇ヲ低下シテマデヤルヤウナ事態ハ、私ハ全然起リ得ナイト私ノ考デハ考ヘテ居リマス、恐ラク其考ハ將來ノ政府ニ於テモ、又將來此會社ノ局ニ當ル人ノ考モ同様デナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○田島委員 御答辯ハ一應御尤ニ拜承致シマス、併シ今ノ御答辯ハ一應ノ御答辯デハゴザイマセウガ——強テ議論ヲ申上ゲルヤウニ聞エルカモ知レマセヌケレドモ、無條件ニ拜承致シテ置ク譯ニハ行カナイト思ヒマス、ソレト申シマスノハ、現ニ私精確ナ日々ノ報道ヲ得テ居ルノデアリマセヌカラ、多少ノ誤リガアルカモ知レナイト思ヒマスケレドモ、亞米利加ニ於ケル製鐵業ノ狀況デアリマスガ、是ハ御存知ノ通り日本ヨリモ非常ニ「マーケット」ガ廣イ、資本モ非常ニ多イ、非常ニ合理化モシテ居ル、又思切ッタ英斷ノアル營業ノ方法ヲ採ッテ居ルト云フヤウナ「ユー・エス・ディー」會社ノ如キニ致シマシテモ、現在ノ亞米利加ノ不況ニ打克テナクテ配當ハ無シ、マダ其考課狀ヲ精密ニ研究シテ居リマセヌケレドモ、非常ナ悲況ニ沈淪シテ居ル狀況デアルヤウニ思ヒマス、ソレデ今ノ御話ノ、成程去ヌル昭和五六年頃ノ不景氣ノ時デモ經營シテ居ッタト云フコトヲ仰シヤイマスケレドモ、是ハ成程經營シテ居リマシタデアリマセウガ、昭和五六年以上ノ不景氣ノ場合モ起リマスシ、又方法ノ如何ニ依リマシテハ將來澤山金モ出ル、昭和五六年ノ狀況ノ場合ニ於テモ、必シモ經營シテ居ッタト云フヤウナ算盤ニナラナイヤウナ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ恐レルノデアリマス、是ハ民業トナツタ場合ニ、殊ニサウ云フヤウナ場合ガ起ランコトヲ恐レルノデアリマス、ソレデ以前ニ松本委員カラ御指摘ニナツカト思ヒマスガ、民業トナリマスレバ會社ノ重役ノ報酬ノ如キモノモ、現在ノ製鐵所長官、若クハ部長アタリノ給料デ

ハ此處大ナル會社ノ經營ニ當ル人ハ居ラス  
ノデアリマスカラ、重役ノ報酬ニ於テモ非  
常ニ違ヒマス、ソレカラ取敢ズノ間ハ税ノ  
免除ガアリマスケレドモ、何レ近キ將來ニ  
此税ノ免除ハ全ク取去ラナクチャナラヌモ  
ノデアリ、自然ニナクナルモノデアリマス  
カラ、此方カラ考ヘマシテモ、種々ノ税ニ於  
テ數百萬圓ノ負擔ヲシナクチャナラヌモノ  
ト考ヘラレルノデアリマシテ、民營ニナル  
ガ爲ニ成程得ル所モ多少アリマセウ、取敢  
ズ得ル所モ多少アリマセウガ、非常ニ支出  
ノ増加スル部分モアルノデアリマスカラ、  
昭和五六年ノヤウナ場合ニ於テ赤字ガ出ナ  
イトハ必シモ保證ガ出來マセヌ、ソレデ私  
ノ質問ノ範圍ハ、製鐵所ノ經營ニ關係シタ  
コトヲ今申上ゲテ居ルノデアリマセヌ、  
唯單ニ從業職員職工ノ收入ノ保障ト云フ點  
ニ付テ御伺ヲシテ居ルノデアリマスカラ、  
サウ廣範圍ニ互ッテ論議スル必要ハアリマ  
セヌケレドモ、兎ニ角製鐵業ニ榮枯盛衰ノ  
アルコトハ亞米利加邊リノ狀況ニ徴シテモ  
明カデアリマスカラ、日本ノ製鐵業モ合同  
シタカラト云ッテ必シモ安心スベキ狀況ニ  
直チニ立到ルモノトハ言ヘナイ、否寧ロ合同  
スルコトニ依ッテ、一時ハ非常ナ經營上ノ苦  
シイ目ニ遭ハナクチャナラヌノデアナイイカ

ト思ヒマス、先日來續々合同後非常ニ經營  
ガ樂ニ行キ、合同サヘスレバ生産費モ非常  
ニ減ズルカノヤウナ御話ガゴザイマシタケ  
レドモ、サウ云フ議論ハ後廻シニ致シマシ  
テ、兎ニ角相當ニ苦シイ場合モ起リ得ル、  
サウ云フ場合ニ對シテ此從業員ニ對シテノ  
待遇ヲ今日ヨリ以上ニ落サナイト云フ既ニ  
御聲明ガアリ——尤モ是ハ會社ニナルノデ  
アリマスカラ商工大臣ガサウ云フ聲明ヲサ  
レテモ、將來監督官廳トシテ命令致シマシテ  
モ、會社其ノモノガ儲カラナケレバ仕方ガ  
ナイ、斯ウ云フコトニナレバ暖簾ニ腕押デ  
喧嘩ノシヨウモアリマセヌガ、兎ニ角待遇  
ガ變ラナイヤウニスルト云フ御精神ダケ  
ハ、誠心誠意御持チニナッテ居ラシヤル譯  
デアリマスカラ、ソレニ對シテ確實ナ安心  
ノ出來ルヤウナ實行方法トシテ社内保留ヲ  
サセル、斯ウ云フ場合ニ對スル準備トシテ  
相當ノ保留ヲシテ、少々ノ經濟的ノ變動ニ  
モ對抗シ得ルト云フヤウナ社内保留ヲ致シ  
テ置クト云フヤウナ、御考デ御遣リニナル  
トスレバ、私ノ心配ハ大體ニ於キマシテ除  
カレ得ルモノト思ヒマスガ、先刻ノ社内保  
留ノ問題ニ付テ尙ホモウ一應詳シイ御意見  
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○中島國務大臣 只今長官カラ御答申上ゲ  
マシタ通りニ、會社ガ利益ノアリマス場合  
ニ於テ、此職員及從業員ニ對スル恩給其他  
ノ積立金ハ當然致スベキモノト思ヒマス  
○田尻委員 只今ノ田尻委員ノ御質問ニ關  
聯シテ私一言御尋シテ置キタイト思ヒマ  
ス、此從業員ノ待遇ニ關シマシテ、民業ニ  
ナッタ曉ニ此會社ノ成績ニ並行シテ從業員  
ノ待遇ガ善クモナリ惡クモナル、善クナル  
場合ハ結構デアアルガ、惡クナル場合ノコト  
モ考ヘナケレバナラヌカラ、社内保留ト云  
フコトヲドウ云フ風ニ確實ニスルカト云フ  
御質問デ、ソレニ對スル御答辯モ承リマシ  
タノデアリマスガ、大體從業員ノ待遇ハ、  
只今マデ製鐵所ガ官業トシテ經營サレマシ  
テ、從業員ハ比較的優良ナル待遇ヲ受ケテ  
居ルノデアリマス、是ハ民間ノ多クノ會社  
ニ比較致シマシテモ、又同ジ官業内ニ於キ  
マシテモ、比較的有利ナ待遇ヲ受ケテ居ル  
ノデアリマスルガ、私ノ考ト致シマシテ  
ハ、官業デアアルガ爲ニ、或ル程度以下ニハ  
下リ難イカモ知レマセヌガ、非常ニ優レタ  
待遇ヲスルト云フコトハ、是ハ官業ノ附物  
デハナイト思フノデアリマス、利益ガアツタ  
カラ、必ズ待遇ノ良クナルト云フ筈ノモノ  
デハナイト思フノデアリマス、其證據ニハ  
製鐵所ト致シマシテ、大正四年度カラ五

年、六年、七年ト段々調ベテ見マシテ、四  
年度ノ如キハ一千三百五十萬圓、五年度ハ  
三千萬圓、六年度ハ四千五百萬圓、七年度  
ハ五千七百萬圓、八年度ハ五百萬圓、斯ウ  
云フ利益ヲ擧ゲテ居リマシタケレドモ、職  
工ノ待遇ハ非常ニ惡カッタ、其爲ニア、云フ  
「ストライキ」モ起ッテ居ルト思フノデアリ  
マス、然ルニ其後、九年度ニハ僅カ一萬四  
千圓、十年度ニハ九千圓、十一年度ニハ一  
萬三千圓、十二年度ニハ四十三萬八千圓、  
十三年度ニハ八十六萬六千圓、十四年度ニ  
ハ百三十五萬圓、斯ウ云フ輕微ナ利益ヲ擧  
ゲナガラ、尙ホ且段々待遇ガ改善セラレテ  
參リマシテ、今日デハ從業員ノ待遇ト云フ  
モノハ、優遇ヲ受ケルト云フコトハ官業ニ  
附物デアアルカノ如キ印象ヲ與ヘテ居ル位デ  
アリマス、是ハ無論無イ袖ハ振レマセヌケ  
レドモ、人ノ考方ニ依ッテハ、アル袖デモ振  
ラナイト云フ場合モアルノデアリマシテ、  
私ハ從業員ノ待遇ト云フコトヲ考ヘル場合  
ニハ、此社内保留ト云フコトハ、無論最モ  
必要ナ財源ガナケレバナラヌ譯デゴザイマ  
スカラ、必要デアリマセウケレドモ、經營  
者ニ其人ヲ得ルト云フコトガ、更ニ根本ノ  
問題デハナイイカト思フノデアリマス、長官  
ヲ前ニ控ヘマシテ、甚ダ變ナコトヲ申サヤ

ウデアリマスガ、今日製鐵所ノ従業員ノ待遇ガ改善サレテ、従業員ニ只今ノ如ク官業ニ優遇ハ附物デアアルカノヤウニ考ヘラレルヤウニナツタコトハ、大正十三年末ニ長官ガ御赴任ニナツテ以來ノコトデアリマシテ、ソレ以前ニハソレ程巨額ノ益金ヲ擧ゲナガラ、「ストライキ」ヲ起サナケレバナラヌヤウナ狀況ニナツテ居タノデアリマス、是ハ今後民業ニ御移シニナツタ場合ニモ、此點ニ付テハ、社内保留ト云フコトハ無論必要デアリマスケレドモ、經營者ニ其人ヲ得ル、即チ十分ニ勞働者ニ對シテ理會ヲ持チ、同情ヲ有ツ人ヲ其經營ノ任ニ當ラセルト云フコトガ、更ニ此従業員ノ優遇問題ト云フ意味カラ言ヘバ、非常ニ重要ナ關係ヲ有ツノデハナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマ

スガ、ソレニ對シテ商工大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○中島國務大臣 御尤ト思ヒマス、私ハ更ニソレニ加ヘテ、理事者ニ人ヲ得ル以外ニ、更ニ此種ノ國家的事業ニ於ケル勞資ノ關係ニ付テハ、出來得ル限り従業員ニ對スル待遇ヲ厚ク致シマシテ、其能率ヲ増進セシメツ、一方ニハ社内ノ保留、即チ利益ノ十分ナル部分ヲ配當スルコトナシニ、事業ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フヤウナ意味

デ以テ、常ニ社内保留ヲ怠ラズ、即チ斯ル國家事業ニ於ケル基本觀念ト致シマシテ、勞資ノ間ノ協調ヲ保ツテ參ルト云フコトノ基本觀念ヲ必要トスルト思ヒマス、此際此委員會ニ於テ斯ノ如キ論議ト申シマスカ、質問應答ヲ反復致シマスルコトモ、必シモ徒ノコトデナイト思ヒマス

○田島委員 田尻君及商工大臣ノ勞資協調論ハ、洵ニ敬服ノ至リデアリマス、ドウカ其方針ヲ以テ經營サレンコトヲ望ミマス、尙ホ細カナコトヲ製鐵所ノ經營ニ付テ御話モアリマシタガ、ソレハ問題外デアリマスカラ、此際後ニ廻シマシテ、本論ヲ更ニ繼續致シマス、問題ガ従業員ノ關係ニ今移ッタノデアリマスカラ、此際商工大臣ニ對シマシテ、甚ダ改ツタ御尋ノヤウデアリマスケレドモ、問題ヲ正確ニ致シマス爲ニ、御尋ヲ申上ゲテ置カナクチャナラヌノデアリマ

スガ、先般商工大臣ハ八幡製鐵所従業員代表ニ對シテ、商工大臣トシテ聲明見タヤウナ御談話ガアッタヤウニ伺ヒマスガ、其要領トシテノ刷物ヲ吾々委員會ノ參考資料トシテ御提出ニナツテ居ルノヲ此處ニ頂戴致シテ居リマス、此要領ハ、印刷サレテ配付サレデアリマス通りニ無論御聲明ニナツタモノト考ヘルノデアリマスガ、甚ダ駄目ヲ押

スヤウデアリマスケレドモ、此際更ニ改メテ御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス

○中島國務大臣 是ハ其通りデゴザイマス、私ハ國務大臣タル責任ニ於テ、ソレヲ表明致シタノデゴザイマス

○田島委員 ソレデハ此際時間ヲ省キマス爲ニ、此談話ノ要領ヲ朗讀ハ致シマセヌガ、之ヲ商工大臣カラ朗讀ガアッタモノトシテ、委員會ノ速記録ニ御登載ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○鈴木委員長代理 宜シウゴザイマス

○田島委員 ソレデハ速記録ニ此商工大臣ノ談話ノ要領ヲ登載願ヒマシテ、次ノ問題ニ移リマス

先刻官營、民營論ノ中ニ述ベテ居タノデアリマスガ、製鐵所ノ從來ノ遣方ト致シマシテ、設備ノ改良ニ關スル費用ガ、非常ニ豊富ニ使ハレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレデ例ヘバ製鋼工場ノ如キ、或ハ熔鑪ノ如キ、殆ド十年位ノ間ニハ全ク別個ノモノガ新シク出來ルヤウニ、設備ノ改良ニ付テノ所謂改良費ト云フモノヲ使ッテ居ラレルノデアリマス、是ハ私ガ申スマデモナク、委員諸君ノ中カラ今日マデサウ云フ御意見ノ御發表ガアッタヤウニ記憶致シテ居リマスガ、此設備改良ニ對スル從來ノ製

鐵所ノ遣方デ、果シテ將來維持シテ行クコトガ出來ルノデアアルカドウカ、民營ニナリマシテソレヲ維持スルコトガ出來ルノデアアルカドウカ、折角官營トシテ苦心慘澹、斯ノ如キ立派ナモノヲ拵ヘ上ゲタト、従業員諸君ガ、上長官ヨリ下職夫ノ末ニ至ルマデ考ヘテ居ラレルコト、思フ、ソレヲ今度民營ニ移シマシテ、從來通りノ立派サノ程度ニ於テ保持シテ行クコトガ出來ルカ、此點ニ付テ私ハ多少ノ疑ヲ有ツ者デアリマス、是ガ即チ製鐵民營ニ對スル實ハ反對ノ一ツノ重大ナル要點ナノデアリマス、八幡ノ従業員ハ皆サウ云フ考ヲ有ッデ居ル、是ガ果シテ此通りヤレルカドウカト云フコトニ付キマシテ、今日マデノ質疑應答ニ付テ考ヘテ見マスト、商工大臣ガ先日田尻委員ノ質問ニ對シテ御答ニナリマシタ中ニ、其會社ノ擧

ゲ得ベキ利益ノ中カラ、穩健ナル配當ヲ政府ニ致ス云々ト云フコトガ言明サレテ居リマス、ソレデ既ニ配當ヲスルト云フコト其モノガ今ノ特別會計ヨリ以上ノ負擔ヲ製鐵所ニ齎ラスモノデアリマス、詰リ製鐵所ノ設備改良ト云フコトニ對シテノ費用ガ、ソレダケハ食ハレル譯デアリマシテ、民營ニシナケレバ何モ穩健モ非穩健モナイ、兎ニ角配當ト云フモノハ必要ガナイノデアリマ

ス、ソレデ先刻商工大臣ノ御答ノ中ニ通信特別會計ノ問題ニ付テノ御辯明ガアリマシタ、御尤ト考ヘマシテ、其點ニ付テハ別段御尋ヲ申上ゲマセヌガ、兎ニ角特別會計デアッテ、幾ラカ政府ニ利益金ヲ納メナクテハナラヌト云フ場合ニ於テ、特別會計法ノ修正ヲ議會ニ協賛ヲ求メラル、ニ當ッテ、穩健ナラザル國庫ニ對スル納付金ヲ御提案ニナル理窟ハナイ、是ハ寧ロ普通ノ公債利息以下ノ歩合ノモノヲ政府ニ納メラレルコトニ決マッテ居ルノデアリマス、苟モ穩健ナル負擔ト云フノハ、公債利息以上、若クハ公債ノ利息ニ相當スル程度ノ配當ト云フモノハ、既ニヤラナクテハナラヌノデアリマスカラ、其點ニ於テ、モウ既ニ官營ヨリモ素質ニ於テ惡クナル譯デアリマス、隨デ設備ノ改良ガ不十分ニナリハシナイカト云フ虞ガアルト云フコトガ、其點カラノミデモ考ヘラレルノデアリマス、ソレデ先刻官協委員ノ質問ガアリマシテ、其中ニ製鐵業ト云フモノハ、性質ハ民營ガ宜シイト自分ハ思フ、併ナガラ取敢ズ官營デアルト云フコトガ、此場合適當デハナイカ、ドウモ早ク言ヘバ、之ヲ民營ニ移スノニ付テ、少シク心配ガアルト云フヤウナ風ノ意味ノ御質問ガアリマシタ、ソレハ斯ウ云フ點ヲ意味スルモ

ノダラウト私ハ考ヘマス、ソコデ製鐵業ノ過去ヲ回想致シテ見マス、歐羅巴大戰以前ヨリ經營サレテ居リマシタ會社ハ、日本鋼管會社デアリマス、是ハ一會社ノ例ヲ玆ニ取りマシテ彼此レ申シマスノハ甚ダ紳士的デナイカモ知レマセヌケレドモ、事實デアリマスカラソレヲ申スノデアリマシマスガ、是ハ歐羅巴大戰前カラ創立サレテ、大戰ノ始マル前位ニ漸ク技術的ニ成功シテ、一人前デ行ケルヤウナ作業狀態ニナッタト云フ話ヲ、私等モ聞イテ居ッタノデアリマシマス、其後歐羅巴大戰ニ際シマシテ非常ニ儲カッタ、非常ニ儲カッタケレドモ、此設備ノ改良ヤ、資本ノ償却ヲスルコトヲ怠ッタ、是ハ民營ノ特徵デアリマセウガ、サウ云フヤウナコトノ爲ニ、最近ノ日本鋼管會社ノ狀態ハ存ジマセヌガ、少クトモ歐羅巴大戰後ニ於ケル狀態ハ、餘リ感服ノ出來ナイ狀態デアッタノデアリマス、是ハ一ツノ例デアリマス、設備ノ改良ニ對スル所ノ遺方ガ、民營ト官營トハ截然タル區別ガアル、ソレデ斯ウ云フヤウナ實例ヲ吾々ガ見セラレテ居ルモノデアリマスカラ、ドウモ今マデ此設備改良ニ付テ、非常ニ力ヲ注イデ居リマシタ所ノ製鐵所ガ、民營ニナリマシテ、色々配當ニ苦シイトカ、各方面ニ於テ苦勞ヲス

ル結果、所謂設備ノ改良、資産ノ償却ヲ怠ルト云フヤウナコトガ、アリハセヌカト云フコトヲ憂慮致シマシテ、民營ニスルコトヲ躊躇スル氣分ガ濃厚ニ起ッテ來ルノデアリマス、ソレデ之ヲ民營ニスルト云フコトハ、政府ノ國策上必要デアルト假ニ致シマシテ、無論國策上非常ニ必要デアルカラ、此際斯ウ云フ御提案ニナッテ居ルノデアルト思ヒマスガ、ソレナラバ其目的ノ爲ニ民營ニヤラレルト云フコトデアリマス以上ハ、斯ノ如キ民間ノ憂慮モ、單ニハ幡製鐵所ノ従業員ダケニ限りマセヌ、民間ノ人ヤ吾々委員トシテモ、サウ云フ憂慮ヲ有ッテ居ルノデアリマス、ソレデ此設備改良、資本ノ償却ト云フコトニ付テ、無論監督權ヲ行使シテ、相當ノコトヲヤルノデアルト云フ御答辯ガアリマセウガ、ドウ云フヤウナ事柄ヲ御實行ニナルノデアルカ、其點ニ付テ商工大臣ノ御抱負ヲ伺ッテ置キタイ

又先刻配當ノ制限ノ御話モアリマシタ、配當ノ制限ト云フコトハ、無論ヤル積リデアル、ソレハ當然サウダラウト思ヒマシマスガ、此法律ノ中ニ配當ノ制限ニ關スル條文ヲ掲ゲラレナカッタ理由ハ、何處ニアルノデアリマスカ、配當ノ制限ニ關スル條文ヲ御揭ゲニナッテ置クト云フコトハ、當然ノコトト私ハ考ヘマス、ソレヲ此中ニ省カレタト云フコトハ、察スル所、配當ニ付テ一々法律ノ改正ヲスルト云フヤウナコトガアッテハ困ル、ソレダカラ成ベク自由ニ都合好ク行ケルヤウニ、御除キニナッタノデハナイカト思フ、ソレデアルトスレバ、甚ダ以テ不都合千萬ト考ヘザルヲ得ナイ、ソレデ何故ニ配當ノ制限ヲ此法律ノ中ニ御加ヘニナラナカッタカ、其理由ヲ伺ヒタイ、此二ツニ付テノ御説明ヲ御願致シマス

○中島國務大臣 配當ノ制限ニ付テハ、特ニ此法案ノ定ムル所ニハナッテ居リマセヌケレドモ、其利益金ノ處分ニ對シマシテハ、主務大臣ノ認可ヲ經ルコトニナッテ居リマス、ソコデ利益金ノ處分ヲ致シマス場合ニ於テ、只今御質疑ノゴザイマシタヤウナ懸念ヲ一掃スル爲メノ處置ハ、政府トシテ執レル譯ト思ヒマス、勿論此設備改善擴張ニ付キマシテハ、此間中申上ゲマスルヤウナ譯デ、或ハ是ハ私ノ考ト御承知戴イテモ差支ゴザイマセヌガ、寧ロ此合同ノ結果ト致シマシテ、一層其設備ノ改善、擴張ノ爲ニ、更ニ進ンデハ新規施設ノ爲ニ、可ナリ纏ッタ企業費ヲ必要トスルコトニ相成ラウト思ヒマス、無論從來ヨリ一步進ミマシ

タ施設ヲ必要トスルニ至ルト考ヘテ居リマス

**○田島委員** 只今ノ御答辯ハ今日ノ商工大臣ノ御立場トシテハ、已ムヲ得ナイ御答辯カト思ヒマス、併ナガラズノ如キ重大ナル國家的ノ事業ヲ經營シ、且ツ又斯ノ如キ從業者ニ於キマシテモ、或ハ吾々議員間ニ於キマシテモ、將來ノ製鐵會社ノ設備改良ト云フヤウナ點ニ付テノ遺口ニ、危惧ノ念ヲ懷イテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、此事業ノ重大性ニ鑑ミテ、少クトモ私ハ利益金ノ何分ノ幾ツニ相當スルモノハ、此設備改良ニ使ヒ、若クハ資本ノ償却ニ充ツベキモノデアルト云フヤウナ大體方針位ハ、無論御決メニナッテ居リ、又之ヲ吾々ニ御示シナルコトガ民營ヲ主張サレル當然ノ必要ナ條件デハナイカト思フノデアリマス、設備ノ改良ニ付テ努力ヲシナイト云フヤウナ御言明ノアラウ筈ガナイ、ソレハ設備ノ改良ハ大ニヤッテ行クト云フ御答辯ハ、當然ノコトデアリマスガ、ヤハリ民營ニ移スニ付テ、安心スルカ否カト云フ、サウ云フ具體的ノコトヲ伺フコトガ、ソレガ安心ヲ致シマス所以ノ因ニナルノデアリマス、ソレカラ又配當ニ付キマシテハ、成程法律ニ、御話ノ通りニ利益金ノ處分ニ付テ、政府ノ

認可ヲ受クルコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、亂暴ナ配當ハ出來マスマイ、出來マスマイガ、併ナガラハ配當ノ制限ヲ六分ナラ六分、五分ナラ五分ト云フ、當リ前ノ配當ノ制限ノ規定ガアリマスノト、一々ノ場合ニ於テ、利益金ノ處分ハ政府ガ認可ヲ與ヘルト云フ方法ニ依ッテ、配當ヲ制限スルノトハ、非常ナ其間ニ輕重難易ノ差ガ起ッテ來ルノデアリマス、最近ノ實例ヲ考ヘマスト、臺灣銀行ノ利益金處分ニ付テ、非常ニ大藏當局ト銀行當局トノ間ニ、折衝ガアッタト云フヤウナコトヲ伺ッテ居リマサガ、詰リ是ハ利益金ノ處分ニ付テノ問題デアリマスカラ、利益金ノ處分ハ大體ニ於テ、其事業ノ經營者ガ全權ヲ持ツノガ當然デアリマシテ、ソレニ對シテ政府ガ認可ヲ與ヘルニ致シマシテモ、其原案ヲ改正スルノニハ、政府ニソレダケノ正當ノ根據ガナケレバ、出來ナイノデアリマス、ソレデ本當ニ配當ノ制限ヲスル政府ニ御意思ガアルナラバ、此會社法案ノ中ニ、配當制限ニ付テノ規定ヲ設ケラレルノガ當然デハナイカト思フノデアリマス、其點ニ付テノ御所見ヲ更ニ伺ヒタイ

**○中島國務大臣** 配當ノ率ト云フモノハ、時ノ金利ニモ左右サレルコトデアリマス、

一概ニ幾ラヲ以テ妥當トスルト云フコトニハ、參リマスマイト思ヒマスガ、要スルニ此間申上ゲマシタ通りニ、是モ私ダケノ考デアレバ、頼リニナラヌト仰セニナルカモ知レマセヌガ、稍公債ノ利廻ニ幾分ノ率ノ高イモノ位ニスルノガ、當然ダト思ヒマサルガ、大體ハ此利益金ノ處分ハ、政府ノ認可ヲ經テ決定致シマスト云フコトニ依ッテ、ソレ等ノ運用ノ出來ルモノト認メテ居リマス

**○田島委員** 設備改良ノコトヲモウ一遍……

**○中井政府委員** 先刻設備改良擴張ニ付テ御話ノアリマシタ中ニ、償却ト云フヤウナコトニ觸レテノ御話デアリマシタガ、先達御配付致シマシタ、今政府ノ考ヘテ居ル會社ノ將來ノ事業目論見書ノ中ニ、減價償却九百七十二萬三千圓ト擧ゲデアリマスノハ、此程度ノ減價償却ハ爲スベキモノデアハ、是ハ政府ガ監督シテ嚴重ニ行ハシムベキモノデアルト云フヤウナ考デアリマス、ソレカラ尙ホ先達申シマシタ會社設立後、設備ノ改良擴張ヲスルト云フ三千八百萬圓ト云フ中ニハ、今吾々考ヘテ居リマスダケデモ、既ニ官業トシテ計畫シテ居ル以上ニ、改良擴張ヲスル必要ガアル、北九州ニ於

テ既ニサウデアリマス、其他ノ參加スル各工場ニ於テモ、今以上ニ改良擴張スル必要ガアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、其資金ハ一面ニ於テ減價償却ノ積立モアリマスシ、又社内留保モアリマスシ、更ニ進ンデ増資或ハ社債ノ募集ニ依ッテ、其資金ヲ得得ルト云フヤウニ考ヘマシテ、先日來申シテ居リマスヤウニ、今日ノ程度デ満足スルノデハナイ、更ニ是以上ニ改良擴張ヲ實行シテ、サウシテ出來ルダケ生産費ヲ安クシ、又海外ニ輸出スルヤウニショウ、斯ウ云フヤウナ計畫ノ根本義ガ、ソコニナッテ居ルノデアリマスカラ、只今御話ニナルヤウナ御懸念ハナイト思ヒマスシ、又從業員諸君モ、段々其趣旨ヲ了解致シマスト同時ニ、御話ノヤウナ不安ナク、喜ンデ職務ニ從事スルコト、私ハ信ジテ疑ハナイノデアリマス

**○田島委員** 私ハ此事業ノ重大性ニ鑑ミマシテ、屢々商工大臣及政府委員ノ方デ御答辯ハゴザイマスガ、併シ先ヅ利益アラバ一番最初ニ、此事業ノ改良及減價償却ニ付テノ或一定ノ率ヲ、ソレニ充ツベキモノデアリ、又利益金ノ或一定ノ率ヲ、從業員ノ待遇維持ノ爲ニ留保スベキモノデアリ、此重大ナル國家事業ヲ經營スルノニ付テハ、普通ノ方法デナク、ソレ位ノ親切叮嚀ナル計

畫ハ爲サルベキモノデアルト思フノデアリマス、商工大臣ハ利益ノ配當ニ付テ、公債ノ利子ニ少シ位色ヲ著ケタ位ノ程度ノモノデ、收マルベキモノデアルト仰セラレル、是ハ商工大臣ノ御辯明トシテ私共諒承スル所デアリマスガ、併シ成程金利ト云フモノハ始終變動スルモノデアリマスカラシテ、一概ニ法律ノ中ニ決メルコトハ出來ナイト云フヤウナ意味ガ、配當制限ノ規定ノ缺ケタ一ツノ理由デアルト思フノデアリマスケレドモ、併シソレハ普通ノ場合デアッデ、斯ノ如キ重大ナル事業ニ對シテハ、初メカラ國家ノ意思ニ於テ配當ハ七朱以上ハスルコトハ出來ナイ、或ハ六朱五厘ニ止ムベキモノデアルト云フコトヲ、決メテ置クベキモノデアルト思フノデアリマス、併ナガラ是以上應答ヲ重ネマシテモ、意見ノ相違ト云フヤウナコトデ、窮極スル所ヲ知ラヌヤウデアリマスカラ、商工大臣及中井政府委員ニ於テ、今マデ言明セラレマシタ所ヲ、速記ノ上ニ留メテ置イデアルノデアリマスカラ、ソレニ譲リマシテ、アトノ問題ハ更ニ後日ヲ期スルコトニ致サウト思ヒマス

次ニ私ノ御尋致シタイト思ヒマスコトハ、今回ノ製鐵合同ニ限ラズ、此前ノ製鐵合同モ、一面カラ言ヘバボロ會社ノ救済デ

アル、斯ウ云フヤウナ問題ガ始終アルノデアリマス、ソレデ今回ノ狀態ハ、此前ノ濱口内閣時代ノ計畫ト違ヒマシテ、濱口内閣時代ニ於キマシテハ、民間製鐵業界ハ儲ケドコロデハナイ、非常ニ損ヲシテ氣息奄々トシテ殆ド潰レンバカリノ狀態デアッタノデアリマスカラ、ソレヲ合同スルトカ云フノデ、ボロ會社救済ト云フ聲ガ頻ニ起ッタノハ、當然デアアルカモ知レマセヌ、今回ハ政府當局ノ御立場カラスレバ、幸ニサウ云フ問題ハ新聞紙上ニモ一向散見シナイヤウデアリマス、併ナガラボロ會社救済ト云フ、ボロト云フト惡イカモ知レマセヌガ、民間會社ノ救済ト云フヤウナ精神ガ、多少アルノデハナイカト云フコトハ、能ク八幡ノ従業員諸氏ノ中ニモ其議論ガアッタノハ、先般申上ゲタ職工ノ總代諸君ト出會ッタ時ニモ、其話ガアッタノデアリマシテ、又今日マデ此委員會ノ席上ニ於テノ質疑應答ノ中ニモ、其コトガ散見致シテ居リマス、ソレデ其點ニ付テ、少シ問題ヲ明カニシテ置キタイト私ハ思フ、先ヅ先刻官協委員ノ質問、ソレニ對スル政府ノ應答等ニ依リマシテ、稼高ノ計算ニ依ル評價、是ハドウモ今ノヤウナ時期ニ、稼高ニ依ッテ評價ヲスルノハ、非常ニ會社ガ有利デヤナイカト云フコトヲ官

協君ガ言ハレマシタガ、私モ其通りデアルト思フ、併ナガラ是ハ又考ヘテ見マサルト、製鐵所ノ方カラ申シマシテモ、同様ニ有利ナ狀態ニナルノデアリマスカラ、是ハ比例ヲ變更サレテ居ナイト云フコトニナルト、一向差支ナイコトニナルト思フノデアリマス、ソレデ結局ノ所、此評價ニ依ッテ資産ガ著シク過大ニ膨脹サヘシナケレバ、政府ノ製鐵所ノ評價ト、民間ノ會社ノ評價トガ比例サヘ失ハナケレバ、別ニ差支ハナイ、評價ノ膨大ヲ防ギサヘスレバ宜シイト云フコトニナルドラウト思フノデアリマス、ソレデ此點ハ問題ニナラヌノデアリマスガ、問題ニナルノハ複成價額ト云フ方ノ側ノ問題デアリマス、是ハ嚴正公平ニ評價ヲスルカラ、決シテ差支ハナイ、複成價額ノ形式ニ依ッテ、評價ヲスルト云フコトハ、是ハ最も公平ナ評價ノ仕方デアルト云フヤウナ風ノ、政府ノ御説明ガアルノデアリマシテ、成程嚴正公平デハアリマセウガ、假令嚴正公平ノ評價ヲヤリマシテモ、嚴正公平ノ評價ヲシテ古物ヲ買フヨリモ、新シク造ッタ方ガ宜イデヤナイカト云フ、議論ガアルノデアリマス、此古物ヲ買ッテ新シク造ラナイト云フコトガ、民間會社ノ救済ニナルノデハナイカ、製鐵所ノ設備ハ日進月歩、非常

ニ新シイ設備ヲ有ッテ居ル、民間ノ會社ハ今マデ儲カラナカッタノデアリマスカラ、設備ノ改良ト云フコトヲヤッテ居ラヌノデアリカラ、成程複成價額ノ値段其モノハ安イノデアリマセウガ、併ナガラ其複成價額ノ見積ニ依ル値段ヲ出スヨリモ、新シク造ッタガ宜イデヤナイカト云フヤウナ議論ガ、起リサウニアルノデアリマス、サウ云フ議論ハ又屢々聞ク所デアリマシテ、ソレガ製鐵所民營ニ對スル反對ノ氣分ノ、一ツノ理由ト思フノデアリマス、此點ニ付テモ一ツ政府當局ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○中井政府委員 今ノ御尋ノ中デ、近キ將來ニ經濟的ニ動ケナイモノハ、形ハアリマシテモ、是ハ複成式價額ノ計算ヲ致シマス際ニモ、全部切捨テルコトニナッテ居リマス、ソレカラ動キマスモノハ、今動イテ居ルノデアリマスガ、是ハモウ能ク御存ジノヤウニ、最新式ノモノダケヲ認メテ、餘ノモノヲ認メナイト云フコトニナリマスト、例ヘバ製鐵所ノ熔鑪爐ガ八基アリマシテ、其中ノ二ツガ最新式デアッデ、六基ハ、最モ古イノハ明治三十二年ニ出來マシテ、段々時ヲ經テ居ルノデアリマスカラ、ソレハモウ製鐵所内部ニ於テ、既ニ設備ニ新舊ハアルノデアリマス、ソレデ民間ニアリマス

モノモ、是ト同ジヤウナモノガアルノデア  
リマスカラ、其間ニ少シモ差ハナイト、斯  
ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○田島委員 今ノ問題ハ尙ホ立入ッテ御尋  
ヲ致シマス、少シ問題カ細カクナリマシ  
テ、時間ヲ取ルヤウデアリマスカラ、是位ニ  
止メテ置キマスガ、要スルニ、複成式價額ト  
云フモノニ於テ、今中井政府委員ノ御答辯  
ニナリマシタ中ニアリマシタヤウニ、今日  
利用ガ出来ナイモノハ、全ク之ヲ考慮ニ入  
レナイト云フヤウナコトハ、是ハ非常ニ結  
構ナコトデアルト思ヒマス、ソレカラ利用  
ノ出来ルモノニシテモ、古イモノニ付テ  
ハ、勿論古イモノダケノ値段シカシナイノ  
デアリマスガ、問題ハ其利用ノ出来ルモノ  
デ、已ムヲ得ズ利用スルト云フ程度ノモノ  
ニ付テノ話デアルト思フノデアリマスカ  
ラ、其點ニ付テ篤ト評價委員會ニ於テ、原  
案ヲ作成サレル場合ニ於テノ御注意ヲ、御  
願スル位ニ止メマシテ、細カク議論ハ此際  
省キマス

次ニ問題トシテ伺ヒタイノハ、合同ノ範  
圍デアリマスガ、私ガ本會議ニ於テ御尋ヲ  
致シマシタ質疑ノ中ニ、此日本製鐵株式會  
社ノ傘下ニ集リマス會社ガ、製鐵所及製鐵  
所關係ノ現在委任經理ヲ受ケテ居リマス東

洋製鐵、九州製鋼、此二社ヲ除ケバ外ニ果シ  
テ幾ラアルカト云フコトニ付テ、御伺ヲ致  
シタノデアリマスガ、其時ニ御答辯モアッ  
タノデアリマスケレドモ、更ニ能ク了解出  
來マセヌノデ、御伺ヲスルヤウナ次第デア  
リマスガ、此會ニ於キマシテモ、屢其點ニ  
付テハ質疑應答ガ重ネラレテ居リマシテ、  
非常ニ重複スルヤウナ感ジガアルノデアリ  
マスケレドモ、ドウモ非常ナ重大ナ問題デ  
アリマスカラ、私ノ見ル所ヲ以テ政府ニ伺  
ヒヲシナイ譯ニハ行キマセヌノデ、煩ヲ厭  
ハズ申上ゲル次第デアリマスガ、製鐵所ガ  
民營ニ移ルト云フコトニ付テ、國策ノ實行  
上必要デアレバ已ムヲ得ナイカモ知レヌト  
云フコトハ、是ハ從業員諸君ノ頭ニモ能ク  
アルコト、思フノデアリマスケレドモ、今  
日マデ苦心經營シテ育テ上ゲタモノガ、唯  
單ニ製鐵所其モノガ民業ニナッタケデ、他  
ニ何等參加スルモノガナイト云フヤウナコ  
トデアリマシタナラバ、是ハ實ニ酷イ形容  
デアルカモ知レマセヌガ、日本製鐵株式會  
社法案ト云フモノハ、羊頭狗肉ノモノデア  
ルト云フヤウナコトニナラザルヲ得ナイノ  
デアリマス、ソレデ今日マデ色々御答辯ア  
リマシタ此問題ニ付テ、或ハ鉄鐵五社ガ第  
一ニ併合スル、其次ニ製鋼關係ノ各社、全

體ヲ以テ十一社デスガ合併ノ目的ノ範圍内  
デアルト云フヤウナコトヲ、屢、明言サレテ  
居リマスケレドモ、此點ニ付キマシテ、政  
府ノ御答辯ノ中ニ、中井政府委員ノ御答辯  
デアリマスガ、此法律案ヲ政府ガ提出サレ  
ルニ付キマシテハ、何レノ會社トモ何等ノ  
相談ガナイノデアリマス、政府ノ最も適當  
ト信ズル計畫ヲ立テマシテ、之ヲ遂行シテ  
行ク、其上デ相談ヲスル、斯ウ云フ風ナコ  
トヲ申サレマシテ、大部分ノモノガ參加サ  
レルト思ヒマスケレドモ、ソレハ愈、話ヲシ  
テ見ネバ、分ラヌノデアリマス、斯ウ云フ  
ヤウナ御答辯ニナッテ居ルノデアリマス、是  
ハ責任ヲ重ンゼラレル政府ノ官吏ノ立場ト  
シテハ、御尤ナ御答辯デアルカモ知レマセ  
ヌ、例ヘバ民間ノ會社ニ凡ソ當ッテ居ラレ  
マシテモ、是ハ自分ハ當ッテ居ラス、是ハ嘘  
ヲ言フノデハナイ、ソレガ官吏トシテノ當  
然ナ仕事デアアルノデアリマスカラ、私モ役  
人ノ飯ヲ食ッタ經驗上、御同情ハ申上ゲルノ  
デアリマス、併シ此問題ハ茲ニ會社ガ來ル  
カ來ナイカト云フコトガ、非常ナ重大問題  
デ、日本製鐵株式會社法案ト云フモノヲ出  
サレタ趣旨ガ、製鐵所ダケヲ民業ニスルト  
云フ積リデナイ、日本ノ製鐵所ヲ合同スル  
爲ニヤルノデアルト云フ趣旨トシマスカラ

バ、此會社ガ來ルト云フコトニ付テ相當ノ  
確信ガナケレバ、此案ノ提出モ出来ルモノ  
デモナシ、又此案ヲ國策トシテ各種ノ方  
面ノ不滿不平ヲ押ヘ付ケテ、サウシテ實行  
スルト云フ値打ガナイカト私ハ思フノデア  
リマス、ソレデ私ハ此際ニ於テ是非トモ政  
府ノ本當ノ肚ヲ伺ヒタイ、相談シテ見ネバ  
分ラヌノデアル、斯ウ云フヤウナコトデ  
ハ、ドウモ吾々モ賛成シテ宜イカ反對シテ  
宜イカ分ラヌノデアルト云フコトニナルト  
思ヒマス、ソレデ結局ノ所、商工大臣ノ御  
責任ニ於テ、一體製鐵所及其關係ノ東洋製  
鐵及九州製鋼ハ勿論デアリマセウガ、其以  
外ニ於テドノ位ノ會社ヲ合併サレルコトガ  
出来ルト云フ御確信ガオアリニナルカ、其  
確信ノ程度ヲ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマ  
ス

○中島國務大臣 多少ノ曲折モゴザイマセ  
ウシ、多少ノ月日ヲ費ストハ思ヒマスルケ  
レドモ、私ハ大體今日吾々共ガ目標ト致シ  
テ居リマスル製鐵所、竝ニ他ノ十一社トノ  
合同ガ出来ルト信ジテ居リマス

○田島委員 先ヅ今日ト致シマシテハ、商  
工大臣ノ確信ノ程度ヲ伺上ゲテ置キマシ  
テ、ソレデ先ヅ事ノ經過ヲ拜見スル外ハ致  
方ナイト思フノデアリマシテ、是レ以上ニ

駄目ヲ押シマスコトハ、控ヘル次第デアリマスガ、併シ茲ニ最後ニ申上ゲテ置キタイノハ、果シテ事志ト違フデ——是ハ想像デアリマスカラ、想像ニ對シテ答辯ヲスル限リデハナイト仰シヤレバ、ソレデ致方ゴザイマセヌケレドモ、假ニ事志ト違フデ、評價委員ノ評價ハ嚴正デアリ、非常ニ辛イ評價ニナツテ來ルト云フコトデ、民間ノ會社ハ一モ之ニ參加スルモノガナイ、製鐵所ダケデ民業ニナツタト云フヤウナ結果ヲ假ニ見タト致シマシタナラバ、如何ナモノデゴザイマセウ、政府ハ其儘ソレヲ御續ケニナリ、サウシテ事業ヲ經營シテ行カレル積リデアリマスカ、ドウデアリマスカ、其點ヲ御伺ヲ致シテ見タイト思ヒマス

○中島國務大臣 ソレハ洵ニ已ムヲ得ナイト思ヒマス、唯只今申上ゲマス通りニ、相應ナ信念ヲ以テ此案ヲ提出致シマシタ以上、極力當初ノ目的ヲ達成スル爲ニ、盡力ヲ致サウト思ヒマスルガ、事志ト違フ場合ニ於テハ、又暫ク時ノ經過ヲ待タナケレバナラヌカモ知レマセヌト思ヒマス

○田島委員 甚ダ諄イヤウデアリマスケレドモ、更ニ其問題ニ付テ、御尋ヲ致シタイト思ヒマス、先刻來ノ宮脇君ノ質問ニ對スル御答ノ中ニ、多少片鱗ヲ窺フコトガ出來

ルト思フノデアリマスガ、民業ノ關係會社ノ壓迫ハ毫モヤラナイ、假ニ此合同會社ノ大キナモノガ出來上ツタトシテ、其合同會社ニ關係ノアル各種ノ會社ノ壓迫ハ毫モヤラヌ、能ク之ヲ保護シ、是ト聯絡ヲ取ツテ仕事ヲシテ行クト云フ、洵ニ結構ナル聖人君子ノ御答辯ガアッタノデアリマスガ、左様ナ聖人君子ノ行動ヲ、此製鐵所一ツガ民營會社ニナツタ場合ニ、執リ得ラレルデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、ソコデ私ノ御尋スル要點ハ、製鐵所ノ設備ハ、日本ニ於ケル製鐵會社ノ中デ最モ進歩シタルモノデアッデ、其進歩セル設備ヲ「フル」ニ働カシタナラバ、民間ノソレト同種類ノ仕事ヲシテ居ル會社ハ參ッデシマウ、ツマリ店ヲ縮メテシマウ、工場ヲ縮メテシマウヨリ外ニ、仕方ガナイト云フヤウナ進歩シタル裝置ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ此生産制限、或ハ販賣上ノ制限トカ云フヤウナコトニ累ハサレテ、其新シキ工場ヲ「フル」ニ働カセルコトガ出來ナイデ、結局品物ノ値段ヲ下ルコトモ出來ズ、民間ノ經營困難ナル會社ヲ持續セシムル爲ニ、工場其モノガ働カズニ居ルト云フヤウナコトモアルカノヤウニ伺ッテ居リマス、私ハ此製鐵所ガ今大巨ノ折角ノ御熱心ナル御希望ト相反シテ、

合同ガ出來ナイ場合ニ於キマシテ、製鐵所ガ一ノ會社トシテ立ツモ已ムヲ得ナイト仰シヤル、是ハ私モサウ思ヒマス、是ハ事志ト違フ場合ニハ、致方ナイノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テ、堂々ト此製鐵所ヲ基礎トシテ、日本ノ製鐵業ヲカノ上カラ統一シテ、會社ハ合併致サナクテモ宜シイ、來ナケレバ來ナイデモ宜シイ、生産費ヲ飽マデモ減ジテ、吾々ハ關稅改正ニ於テ、關稅ノ増率ヲスル際ニ、生産費ヲ低減スルト云フコトガ主眼デアルト云フコトヲ申上ダタ其趣旨ニ呼應サレテ、新會社ヲ活動セシメテ、安イ製品ヲ市場ニ出スト云フ御勇氣ガオアリニナルカドウカ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○中島國務大臣 私ハ若シ各社ガ假ニ絕對ニ合同ニ參加致シマセヌ場合ヲ想像致シマシテ、而シテ此案ヲ提出致シマシタ趣旨ニ願ミテ見マスル時ニハ、勢ヒ只今田島君ガ仰セニナリマシタ手段ニ出ヅル外ハナイト思ヒマス、併シ其事ハ直チニ合同ヲ促進シ得ル一ノ要素ニナルト信ジテ居リマス

○田島委員 其御決心ヲ伺ヒマシテ、少クトモ合同會社ノ範圍ニ付テ憂慮ヲ抱イテ居ル人々ノ、一部ノ安心ヲ買ヒ得ルト考ヘマスカラ、其點ハ大ニ感謝ヲ致シマシテ、ド

ウカ其決心ヲ持タレマシテ、製鐵業ノ最後ノ完成ニ御猛進アランコトヲ願フ次第デアリマス、斯ク申上ゲルト、根本カラ合同ニ贊成ヲシテ、申シテ居ルヤウニ聞エマスケレドモ、私ハサウ云フ意味ヂヤアリマセヌ、ソレハ會社其モノガ成立ツタ場合ノ御決心ヲ伺ッテ置キマセヌト、此會社ニナルコトヲ嫌ッテ居ル人ノ、反對理由ニ對シテ大臣ノ御答辯ヲ得タイト思フ點カラ、斯ウ云フ質問ヲ申上ゲテ居ル次第デアリマスカラ、先ヅ今ノヤウナ御答辯ニ依リマシテ、此意味カラ反對シテ居ル人ノ御考ニ、多少大臣ノ御趣旨ヲ傳ヘルコトガ出來ルト思ヒマスカラ、私ハ取次グト云フヤウナ意味ニ於テ、御尋ヲシテ居ルノデアリマス、次ニ御尋ヲ致シタイト思フノハ、此合同サレマス所ノ事業ノ範圍ハドウデアアルカ、斯ウ云フコトニ移リタイト思ヒマス、此問題ハ日本製鐵株式會社法案ノ中ノ、第十一條ニ關係ヲ有タ問題デアリマス、此十一條ニ「主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ製鐵事業ヲ讓受クルコトヲ得ズ」ト云フコトガ、規定シテアリマシテ、第二項ニ「前項ノ製鐵事業ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトガアリマス、此製鐵事業ノ範圍ニ關シマシテ、政府ノ懷カレテ居ル所ノ範圍ノ概要ヲ、

伺ッテ置キタイト思ヒマス

○福田政府委員 第十一條ノ第二項ニ關スル御尋デゴザイマスガ、是ハ勅令デ大體規定致シタイト思ッテ居リマス、其内容ハ大體製鐵業獎勵法施行令ノ第一條ニ掲ゲテアリマスヤウナ範圍ト致シタイト思ッテ居リマス、即チ内容ヲ申上ゲマスレバ「銑鐵、鋼鐵、壓延鋼材、鍛鋼製品若クハ鑄鋼製品ノ素材又ハ商工大臣ノ指定シタル副生物ノ製造」斯ウ云フ事業ヲ、大體製鐵事業ノ範圍ト指定致シタイト考ヘテ居リマス

○田島委員 今ノ御答辯ノ中ノ銑鐵、鋼鐵、ソレハ能ク分リマスガ、壓延鋼材ト云フノハ非常ニ廣イヤウデアリマスガ、壓延鋼材ト云フ中ニ含ツタモノハ、全部含メルノデアリマスカ、其點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○福田政府委員 左様ニ考ヘテ居リマス

○田島委員 私ハソレヲ伺フト、洵ニ範圍ガ廣イノニ驚クノデアリマスガ、尙ホ更ニ續イテ伺ッテ置キタイノハ、銑鐵ト云フ言葉ノ中ニ、是ハ如何ナル方法ヲ以デシテモ、兎モ角モ銑鐵ガ出來サヘスレバ、其事業ハ包含サセル積リデ御出デニナルノデスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○福田政府委員 此合同會社ニ參加シ得ル

事業ノ範圍ニ關シマシテ、大體ノ標準ハ先般來他ノ政府委員カラ御説明ニナッテ居リマス通り、大體普通ノ銑鐵鋼材ヲ作ル會社ヲ主ニシテ、ヤル積リデゴザイマス、隨テ此銑鐵ノ範圍モ自ラ普通ノ銑鐵ニナルノデゴザイマスガ、併シ此製鐵事業ハ、一ツノ手段トシテ行ハレテ居ル場合ニ於キマシテ、或ル工場ガ一部特殊ノ銑鐵ヲ造ッテ居ルト云フヤウナ場合ニ、其設備ダケ引離シテ讓受ケルコトガ適當デナイヤウナ場合ニハ、或ハ特殊銑ト云フヤウナモノモソレニ附帶シテ、入ッテ來ルヤウナ場合モアルト考ヘマスガ、大體ニ於テ普通ノ銑鐵製造設備ト云フモノヲ目標ニ致シテ居リマス

○田島委員 普通ノ銑鐵製造ヲ目標トスルト云フ御話デアッテ、特殊ノ銑鐵ハ外ノ事業ト切離シテ出來ナイ場合ニハ、或ハ入ルカモ知レスト云フヤウナ御説明ニ依リマス

ト、詰リ特殊銑ヲ製造スルモノ、サウ云フモノ、ミノ會社ガアルカドウカ知りマセヌガ、特殊銑ヲ製造スル會社ハ、包含シナイト云フコトニ心得テ宜シウゴザイマスカ、ソレトモウ一ツハ是ハ「スクラップ」原料トシテ、銑鐵ヲ製造スルト云フコトモ出來得ルノデアリマスガ、ソレハ普通ノ銑鐵製造デナイノデアルカラシテ、此中ニ

ハ包含シナイト云フ御趣旨デアリマスカ、其二點ヲ伺ヒタイ

○福田政府委員 大體ノ目標ト致シマシテ、先程申上ゲマシタ通り相當ノ設備、即チ三萬五千匁位ノ少クトモ年産能力ヲ有ッテ居ルヤウナ、生産設備ト云フモノヲ目標ニ致シテ居ルノデゴザイマス

○田島委員 更ニ御伺ヒシタイノハ、壓延鋼材ノ問題デゴザイマス、壓延鋼材ト云フノガ先刻ノ御答辯ノヤウデアリマシテ、是ガ無制限ニ擴ガルト云フコトニナルト、能ク普通鐵屑ヲ使デ居リマス仲鐵業者ト云フノガアリマシテ、屑鋼ヨリ普通ノ鋼材ヲ製造シテ居ルノガアリマス、是ハ無論含マナイモノダト思ヒマスガ、其點ハドウデアルカ、ソレカラ又生子鉄ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、各所ニ製造會社ガ澤山アリマス、生子鉄ノミヲ製造スルヤウナモノモ含マセルト云フコトニナルト、非常ニ是ハ廣キ範圍ニ涉ラウト思フノデアリマスガ、一體サウ云フ點ニ付テノ、何ト言ヒマスカ根本ヲ一貫シタ精神、製鐵獎勵法ノヤウナ精神ヲ以テ、此製鐵事業ト云フモノヲ律セラレルツモリデアアルカドウカ、其點ヲ御伺ヒシタイ

○福田政府委員 仲鐵業ノ如キ特殊ノ業態

ノモノハ、全然考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ生子鉄ト云フヤウナモノモ、只今ノ所考ヘテ居リマセヌ

○田島委員 大體私ノ考ヘテ居リマス所デハ、政府ガ日本製鐵株式會社トシテ製鐵合同ヲ實行サレル精神ハ、銑鐵一貫作業ヲ獎勵スルト言ヘバ、言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、銑鐵一貫作業ノ精神ニ依ッテ、仕事ヲ營ムト云フコトガ經濟的デアル、製鐵ヲ合理化スル所以ノ途デアルト云フヤウナ精神ニ立脚シテ、オヤリニナルモノデアルト考ヘルノデアリマスカラ、サウ云フ精神ノ下ニ此讓受ケル事業ノ範圍ヲ、御決定ニナルベギ筋合ノモノデアルト思フ、サウスルト先刻何カノ場合ニ問題ニナッタヤウニ思ヒマスガ、徳山鐵鉄ト云フヤウナモノハドウナルカ、斯ンナーツノ會社ヲ例ニスルコトハ穩當デナイカモ知レマセヌガ、斯ウ云フヤウナモノハ其中ニハ含マナイト云フコトニナル、サウスルトヤハリ其處ニ會社ガ一ツアリマス以上ハ、之ニ對シテ半作品ノ供給ヲ製鐵所ガヤラナクテハナラヌ、日本製鐵株式會社ノ半作品ノ供給ヲヤッテ、守リ立テ、行クト云フコトニナリマスレバ、結局日本製鐵株式會社ノ合理化トカ云フヤウナモノハ、全ク没却サレテ、小サナ會社ヲ守

リ立テ、行ッテ、サウシテ小サナ會社ノ營業  
ガ出來ルヤウナ方法ニ於テ、營業サレルト  
云フヤウナ結果ニナルト思ヒマスガ、其點  
ハ如何ニ御考ヘニナッテ居リマスカ

○中井政府委員 大抵御分リダト思ヒマス

ガ、豫テ御考モアリマスシ、又先日來ノ質  
問應答ニ依ッテ御諒解ニナッテ居ルト思ヒマ  
スガ、矢張鉄鋼一貫ト云フコトガ、將來ノ此  
會社ノ事業ノ骨子デアリマシテ、サウ云フ  
コトカラ申シマス、大體ニ於テ會社ノ範  
圍ハ平爐ヲ持ッテ居ルヨリ以上ノモノガ主  
デアル筈デアリマス、併シ何モサウ窮屈ニ  
考ヘル必要ガナイカラ、壓延シテ居ルモノ  
ダケデモ三萬五千噸年產額ガアルモノ位  
ニ擴ゲテモ、好クハナイカト云フノデ、結  
局法律ノ第何條カノ解釋トシテノ範圍ト、  
ソレカラ此事業計畫ヲスル上ニ於テ参加ス  
ルト云フコトヲ目標ニシテ居ルモノトノ範  
圍ハ、法律ノ解釋ト實行ト多少開キガアル  
ヤウニ御聽キニナツタカモ分リマセヌ、ソレ  
デ今御話ノヤウナ半製品ヲ受ケテ壓延ヲ致  
シテ居リマスルダケノモノハ、是ハ此會社  
ノ將來カラ申シマシテモ、又昭和製鐵所ノ  
半製品ヲ供給スルヤウナ趣意カラ申シマシ  
テモ、幾ラカアリマシテ、又アツタ方ガ或ル  
程度マデ宜イト思ヒマス、半製品ノ供給ニ

依ッテ、十分ニ生産販賣ノ統制ハ付キ得ルノ  
デアリマス、是ハ過去ノ數年ノ經驗ニ依ッ  
テ明瞭デアリマシテ、少シモ其點ニ懸念ハ  
ナイト思ヒマス、サウ云フヤウナ趣意デゴ  
ザイマス

○田島委員 其御趣旨ハ能ク分ッテ居ルノ

デアリマシテ、強ヒテ説ヲ成シテ質疑應答  
ヲ重ネヨウト云フ意味デハアリマセヌガ、  
兎ニ角ソコガ此半製品ヲ供給サレテ、サウ  
シテ製鐵所デ以テ作ッテ居ラレルノト同ジ  
ヤウナ程度ノ、半作品ヲ供給シテ作ラセル  
ト云フコトハ、是ハ無論チットモ製鐵所ノ事  
業ノ存立ニモ妨ゲハナイシ、又販賣ノ實行  
上ニ付テモ、今マデ立派ニ統制ガ取レテ居  
ルカラト云フヤウナ御話デアリマシテ、其  
點ハ現狀ニ付テハ私ハ諒トシマスケレド  
モ、日本製鐵株式會社ガ成立致シマシテ、  
サウシテ本當ニ合理化ヲ以テ總テノ設備ヲ  
「フル」ニ働カシテ、仕事ヲスルト云フコ  
トニナリマスレバ、勢ヒ此日本製鐵株式會  
社ノ製造シマス所ノ製品ニ屬スル範圍内ニ  
於テハ、民間ノ小サナ會社ノ製品ヨリモ安  
ク出來上ルト云フコトハ、當然ノコトデア  
ルト思ヒマス、ソレデ結局斯ウ云フ小サナ  
半作品ノ供給ヲ受ケテ、製品ヲ出ス會社ガ  
存立シテ居ルト云フコトハ、合理化ノ精神

ニ反スルノデハアリマセヌカト云フコト  
ヲ、伺フ譯デアリマス

○中井政府委員 分リマシタ、丁度今御話

ノヤウナ趣意ニ合フヤウニ、是ハ御承知ノ  
通り鉄鋼一貫デアル、大工場デハ出來ルダ  
ケ多量生産デ行ケル種類、形狀、寸法ノモ  
ノヲ作りマシテ、ソレヲ内地ニ供給スルト

同時ニ海外ニモ出シ、ソレカラ各方面ノ小  
サナ壓延工場ニ於テハ、其規模ニ應ズルヤ  
ウナ種類、寸法、形狀ノモノヲ、此工場ノ生  
産ノ分野ト致シマシテ、其兩者ノ間ニ適當  
ナ按配ヲスルコトガ出來ルト思ヒマスシ、  
又壓延カラ先ハ、其生産ノ分野サヘハッキ  
リ致シマスレバ、必ズシモ大工場ノモノガ  
安ク出來テ、小サナ工場ノモノガ高ク掛ル  
ト云フコトニハナラヌノデゴザイマス、ソ  
レデ都會地ノ近クニ小サナ壓延工場ガアッ  
テ、ソレハ大キナ會社トノ間ニ、スル仕事ノ  
範圍ガハッキリ決ッテ、原料ハ安心シテ受ケ  
ラレルト云フコトデ、立派ニヤッテ行ケル爲  
ニ、今日幾多ノ壓延工場ガ出來テ居ル、是  
ハ我國バカリデハアリマセヌデ、歐羅巴等  
ニモ相當サウ云フヤウナ仕組ノ工場ハアル  
ノデアリマス、其間無統制ニ行ケバ困リマ  
スケレドモ、相當原料ノ供給ト云フ關係ヲ  
以テ得マスレバ、統制ガ付キ得ルト私共

ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、結局田島君  
ノ御懸念ノアルヤウナコトナシニ、寧ロ田  
島君ノ御考ニナッテ居ルヤウニ、サウ云フ今  
後ノ事業ノ進行ニナルト私共ハ考ヘテ居ル  
次第デアリマス

○田島委員 餘リ細カクナリマスカラ、ソ

レ以上伺ヒマセヌ、其次ニ商工大臣ニ御伺  
致シタイト思フノデアリマスガ、日本製鐵  
株式會社ガ斯ノ如クニシテ成立ツモノト致  
シマスレバ、其成立チマシタ後ノ生産及販  
賣ノ統制ニ關スル御方針ヲ、實ハ本會議デ  
伺ッタノデアリマススケレドモ、細カナ御答  
ヲ得ルコトガ出來ナカッタノデアリマスカ  
ラ、更ニ此際御尋ヲ申上ゲルノデアリマス  
ガ、ドウモ簡單ニ商工大臣ノ御計畫通りニ  
日本製鐵株式會社ガ十一社ヲ基礎トシテ完  
全ニ出來上ルト致シマスレバ、ソレガ即チ  
日本ノ鐵鋼一貫作業ニ於ケル分野ヲ獨占ス  
ルノミナラズ、又更ニ進ンデ鋼材生産ニ於  
キマシテモ、日本ノ殆下主要ナル數量ヲ生  
産スルコトニナリマシテ、謂ハハ獨占ノ  
立場ニ立ツ會社ガ、茲ニ出來上ル譯デアリ  
マス、併ナガラ此會社ニ一ツデモ加入ヲシ  
ナイ會社ガ出來、或ハ假ニサウ云フ會社ガ  
ナイニ致シマシタ所デ、製鐵業ノ非常ニ盛  
盛ナル場合ニ於キマシテハ、此日本製鐵會

社ノ營業範圍ニ屬スル仕事ヲ、新ニ開始スルト云フコトハ、必シモ困難デナイノデアリマス、僅カナ資本ヲ投ズレバ、少クトモ製鋼事業ヨリ始メテ、歴延作業ニ移ルダケノ仕事ヲ始メルコトハ、譯ナク出來ルノデアリマスカラ、詰リ生産ニ關係シテ漁夫ノ利ヲ占メンガ爲ニ、小サナ會社ガ起リ得ル場合モアル、是ガ日本製鐵會社ノ營業ヲ妨害スルノミナラズ、日本ニ於ケル製鐵工業ノ根本基礎ヲ危クスルヤウナコトニナリハセヌカ、又販賣ニ關係致シマシテ、サウ云フ會社ガ無暗ニ「ダンピング」ヲヤル、サウ云フコトガアレバ忽ニ統制ガ破レテ、非常ナル損害ヲ各方面、詰リ製鐵株式會社ノ營業狀態ニ及ボスノデアリマシテ、此事業ヲ御始メニナツタ精神ニ反スルヤウニナル、是ハ統制ノ上ニ付テ、販賣統制ガ非常ニ困難デアルト云フコトハ、最近ノ實情ガ能ク之ヲ證明致シテ居リマス、斯ル場合ニ於ケル政府ノ對策ハドウデアルカ、詰リ斯ノ如キ製鐵會社ニ對シテ、免許主義デモ御採リニナル積リデアルカ、或ハ販賣統制ニ關係シテ、更ニ新シク産業統制ニ關スル法律ヲ改正擴充サレヤウナ御考ガオアリデアリマス、其點ノ御方針ヲ御同致シタイノデアリマス

### ○中島國務大臣 製鐵合同ガ出來上リマシ

タ曉ニ於テ、國內ニ於ケル生産販賣ノ統制ガ出來得ルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、過日來既ニ色々御尋モアリ、之ニ御答致シタコトモアリマシテ、略、此生産及販賣ガ採リ得ルニ至ルデアラウト云フ見込、竝ニ其見込ヲ確實ニスベキ事情ヲ申上ダタノデアリマスカラ、此際之ヲ反覆致シマセヌ、唯所在ニ小サイ企業ガ自由ニ又起ルデハナйка、ソレニ對シテ許可主義、認可主義ノ考ヲ有テ居ルヤ否ヤト云フコトデゴザイマスガ、是ハ只今ノ所デハ、サウ云フ考ヲ有テ居リマセヌ、偶、許可主義、認可主義ヲ此際ニ樹立致シマスル結果ハ、却テ一般ノ統制ヲ妨ゲマスル結果ニ相成ル虞モアルノデアリマシテ、此際ハ斯ノ如キ考ハ持ッテ居リマセヌノデアリマス、併シ此重要ナル國家事業ガ、將來國家的意義ニ於テ存立致シマシタ場合ニ於テ、之ヲ中心ト致シマシテ、企業ノ統制ガ執レナイ、ソレガ爲ニ又ゾロ資本ノ重複加重、一面ニハ設備ノ加重等ガ起リマシテ、再ビ業界ガ非常ニ不合理ナモノニナルト云フヤウナ場合ニ至リマシテハ、或ハ重要産業ノ統制法等ニ依リマシテ、多少ノ手段ヲ考ヘマスル場合ガアルカトモ存ジマスルガ、ソレハ其時ニ

之ニ對處スベキ方法ヲ考ヘマシテモ、未ダ遅キニアラズト思ヒマス

〔鈴木委員長代理退席、委員長著席〕

### ○田島委員 私ノ質問ハ、段々税ノ關係ニ

移ルノデアリマスガ、大藏省ノ主稅當局ノ出席ヲ要求致シマス

### ○若宮委員長 田島サン先刻カラ……

○田島委員 能ク存ジテ居リマスケレドモ、ツイ質問ノ途中デアリマスカラ——ソレデハ税ノ關係ヲ是カラ御同致シマス、一寸石渡君ニ御同致シマスガ、關稅課ノ人ハドウシテモ御出席ガ出來マセヌカ

### ○石渡政府委員 關稅課ノ方ハ只今關稅定

率法ノ委員會ガ開會セラレテ居リマスルカラ、其方ニ皆行ッテ居リマスモノデスカラ、今日此處ニ出席致シマスコトハムヅカシイカト思ヒマス

### ○田島委員 關稅課長デモ宜シイノデスガ

——ソレデハ私ノ質問ヲ續行致シマス、先ヅ第一番ニ此日本製鐵株式會社法ノ第十八條ノ税ノ問題デアリマス、此條文ニ付キマシテハ屢、政府當局ノ御説明ガアリマシテ能ク分ッテ居ルノデアリマスガ、ドウモ其説明ヲ伺ッテ尙ホ腑ニ落チナイ點ガアルノデアリマス、第一此十八條ノ精神ハ普通ノ會社ノ合同ノ場合ニ準ジテ、斯ウ云フ規定ヲ

置カレタト云フコトデアリマスガ、普通ノ會社ノ合同ノ場合ニ準ジテ置カレタト云フコトハ、私ニハドウシテモ分ラナイノデアリマス、成程普通ノ會社ノ合同ト云フコトニ對シテ、斯ウ云フ税ヲ課シテ居ルカラ、此條文ヲ拵ヘタラ宜カラウト云フコトハ、是ハ通り一遍ノ遣方デアリマシテ、私モ此間マデ官僚デアッタノデアリマスガ、官僚式ノ遣方トデモ申スノデアリマセウ、兎ニ角一ツ斯ウ云フ例ガアルカラ、是デ宜シイト云フコトハ、甚ダ不親切極ッタ話ダト思ヒマス、此製鐵事業ト云フモノハ、商工大臣カラ縷々御話ガアリマシタ通りニ、日本ノ國家ノ立場カラ斯ウ云フ立法ガ必要デアルト云フヤウナコトデ、製鐵業ノ發達ノ爲ニ全力ヲ注イデ、其結果ヲ見ンガ爲ニ、斯ノ如キ立法ヲ企圖サレタノデアリマスガ、其精神カラ考ヘマスト、何故ニ此登録税ヲ御取リニナルノデアリマスカ、是ハ當然事業ノ性質上、斯ノ如キ重大ナル國家事業ノ伸展ヲ圖ル爲メノ今日ノ場合デアリマスカラシテ、全部免稅ニサレルト云フコトヲ何故ニ御考ニナラナカッタノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、尙ホソレニ附加ヘマシテ、斯ノ如キ税ヲ御取リニナルモノトスレバ、ソレヲ國家ガ收入スルコトハ、私

ハ甚ダ其意ヲ得ヌト思フ、會社ノ合併ノ例ニ依ッテ斯ノ如クシタノデアルト云フコトデアレバ、ソレマデアリマスケレドモ、ソレハ唯單ニ問ニ對スルニ問ヲ以テ答ヘタノデアリマシテ、苟モ親切ナ御考ガアッテ、國家政策ノ立場カラ御考ニナリマス、政府ハ昨年以來——昨昭和七年ノ六十三議會ノ實際ハドウデアリマセウ、アレハ時局匡救ノ爲ニ、地方ノ救済ノ爲ニ、アレダケノ金ヲ使ヒ、アレダケノ立法ヲヤリ、アレダケノ開

議會議ヲ召集シテ、朝野ヲ舉ゲテ非常ニ勞苦ヲ重ネタコトハ、政府當局モ御存ジノ通りデアリマス、ソレニ斯ノ如キ稅ヲ政府ガ唯取ッテ、而モ第二項ニ於テハ地方ノ自治團體ニ對シテ、斯ウ云フモノハ取ッテハナラヌゾト云フ規定ガアル、實ニ私ハ怪シカラヌト思フ、ソレダケノ金ヲ御取リニナルダケ

ノ製鐵會社ニ對シテ負擔ヲ命ズル餘地ガアレバ、先ヅ國家ハ御辭退ニナッテ、地方團體ニ其稅ヲ取ラセルト云フコトガ當然ノコトデハナイカト思フ、此二點ニ付テ一ツ主稅當局及ビ商工當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

場合ニ於テハ不動産ノ取得稅ヲ徵收シテ居リマセヌノデ、國稅ニ於キマシテ、登錄稅ガ不動産ノ取得其他ニ關シマシテ法人合併ノ場合ニ準ジマシテ、不動産ノ取得稅ヲ徵收サナイ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ル譯デゴザイマス

○石渡政府委員 御答辯ヲ申上ゲマス、此第十八條ノ規定ハ、當然斯ウナルト申シマスルコトヲ規定致シタモノデゴザイマセヌ

ノデアリマシテ、此稅率ハ法人ガ合併致シマス時ニ拂ヒマス時ノ登錄稅デアリマス、此日本製鐵株式會社ノ設立ニ當リマシテハ、他ノ五會社ナリ、十一會社ト云フモノハ、其會社ヲ舉ゲマシテ此會社ニ合併スルモノデゴザイマセヌノデ、本來ノ稅率カラ言ヒマスレバ、設立其他ノ場合ニ於キマシテハ千分ノ五、不動産又ハ船舶ノ價格ノ千分ノ三十三、又ハ二十三ト申シマスル登錄稅ヲ納メルコトニ相成ル譯デゴザイマスルガ、此製鐵株式會社ト申シマスルモノハ、國家的ノ企業トシテ成立致シマスルト云フ關係、ソレト此實質ニ於キマシテ合併ト申シテ差支ナイノデハナカラウカト云フ程度ヨリ考ヘマシテ、斯ノ如ク稅率ヲ輕減致シタモノデゴザイマス、何故免除ヲ致サナイカト云フ御尋デアリマスルガ、株式會社ト云フモノ、合併設立等ニ當リマシテ、登錄稅ヲ免除致シマスル前例モゴザイマセズ、又其性質カラ言ッテ見マシテモ、免除致スベキ性質ノモノデハナカラウカト、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙ホモウ一點御尋ノゴザイマシタ地方稅ニ依ッテ徵收サセテハ如何カ、國稅ヲ免除シテ寧ロ地方稅ヲ徵收シタナラバドウカ、斯ウ云フ御尋ト思フノデゴザイマスガ、地方稅ハ法人ノ合併ノ

場合ニ於テハ不動産ノ取得稅ヲ徵收シテ居リマセヌノデ、國稅ニ於キマシテ、登錄稅ガ不動産ノ取得其他ニ關シマシテ法人合併ノ場合ニ準ジマシテ、不動産ノ取得稅ヲ徵收サナイ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ル譯デゴザイマス

○田島委員 大體ノ御説明ハサウデアラウト思フノデアリマス、是ハ政府當局トシテ、殊ニ稅務當局トシテハサウ仰ッシャルノガ當然ノコトデアルト思フノデアリマスガ、併シハ普通ノ會社ノ合併ト、大體ニ於テ法律上ハ異ッテ居ルケレドモ、實際ニ於テハ同ジモノデアルカラシテ、ソレデ普通ノ會社ノ合併法規ヲ適用シタ、斯ウ云フヤウナ趣旨デアリマスナラバ、此普通ノ會社ノ合併ト同様ニ此製鐵業ノ合併ヲ御覽ニナッタト云フコトガ寧ロ私ハ不都合デヤナイカト思フ、其點ヲ伺フノデアリマス、サウ云フ例ハナイト仰ッシャイマスガ、サウ云フ例ガ非常ニアルト思ヒマス、製鐵業獎勵法ト云フモノハソレナンドス、製鐵業獎勵法ト云フモノハ、詰リ製鐵業ニ關シテ國稅ヲ免除シテ居ル規定ガ中心トナッテ出來テ居ル法律デアルト思ヒマス、ソレデ國家ハサウ云フ風ニ製鐵業ヲ保護シテ居ル、ソレノ會社ノ合同デアル、ソレニ普通ノ會社ノ合同ト同ジヤ

ウナ稅ヲ御取リニナル、ドウモ私ハ其理窟ガ一貫セヌト思フノデアリマス、モウ一度御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 御考樣ニ依ッテハサウナルカトモ思フノデアリマスガ、實ハ此場合ニ於キマシテハ、合併デハナイノデゴザイマス、合併デナイモノヲ法律ヲ以チマシテ、法人ノ合併ノ場合ト之ヲ同一視致シマシタ所ニ、租稅法上ノ恩典ガ餘程加ヘラレテ居ルト思フノデゴザイマス、國家的見地ヨリ致シマシテ、合併ヲ獎勵致スト云フコトヨリ致シマシテ、合併ノ場合ニ於キマシテ、登錄稅輕減ト云フコトハ行ハレテ居ルト思フノデゴザイマスガ、例ヘバ銀行合併等ノ場合ニ於キマシテモ、是モ國家的ノ必要ヨリ致シマシテ、隨分合併致シマス場合ガアリマス、是等ノ場合ニ於キマシテモ何レモ免除致シテ居ラスノデゴザイマス、只今製鐵業獎勵法ノ趣旨ト云フ御話モゴザイマシタガ、成程製鐵業獎勵法ニ於キマシテハ十年ノ免稅期間ヲ十五年ニ延長致シマシテ、之ヲ施行致シテ居リマスガ、普通ノ產業ニ於キマシテモ、重要產業ト目サルベキモノニ付キマシテハ、相當ノ免稅期間ヲ置イテ居ルノデゴザイマシテ、製鐵業ハ特別ノ重要產業デアッテ、中々其投下シタル資本ヲ償

ハ如何カ、國稅ヲ免除シテ寧ロ地方稅ヲ徵收シタナラバドウカ、斯ウ云フ御尋ト思フノデゴザイマスガ、地方稅ハ法人ノ合併ノ

場合ニ於テハ不動産ノ取得稅ヲ徵收シテ居リマセヌノデ、國稅ニ於キマシテ、登錄稅ガ不動産ノ取得其他ニ關シマシテ法人合併ノ場合ニ準ジマシテ、不動産ノ取得稅ヲ徵收サナイ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ル譯デゴザイマス

○田島委員 大體ノ御説明ハサウデアラウト思フノデアリマス、是ハ政府當局トシテ、殊ニ稅務當局トシテハサウ仰ッシャルノガ當然ノコトデアルト思フノデアリマスガ、併シハ普通ノ會社ノ合併ト、大體ニ於テ法律上ハ異ッテ居ルケレドモ、實際ニ於テハ同ジモノデアルカラシテ、ソレデ普通ノ會社ノ合併法規ヲ適用シタ、斯ウ云フヤウナ趣旨デアリマスナラバ、此普通ノ會社ノ合併ト同様ニ此製鐵業ノ合併ヲ御覽ニナッタト云フコトガ寧ロ私ハ不都合デヤナイカト思フ、其點ヲ伺フノデアリマス、サウ云フ例ハナイト仰ッシャイマスガ、サウ云フ例ガ非常ニアルト思ヒマス、製鐵業獎勵法ト云フモノハソレナンドス、製鐵業獎勵法ト云フモノハ、詰リ製鐵業ニ關シテ國稅ヲ免除シテ居ル規定ガ中心トナッテ出來テ居ル法律デアルト思ヒマス、ソレデ國家ハサウ云フ風ニ製鐵業ヲ保護シテ居ル、ソレノ會社ノ合同デアル、ソレニ普通ノ會社ノ合同ト同ジヤ

ウナ稅ヲ御取リニナル、ドウモ私ハ其理窟ガ一貫セヌト思フノデアリマス、モウ一度御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 御考樣ニ依ッテハサウナルカトモ思フノデアリマスガ、實ハ此場合ニ於キマシテハ、合併デハナイノデゴザイマス、合併デナイモノヲ法律ヲ以チマシテ、法人ノ合併ノ場合ト之ヲ同一視致シマシタ所ニ、租稅法上ノ恩典ガ餘程加ヘラレテ居ルト思フノデゴザイマス、國家的見地ヨリ致シマシテ、合併ヲ獎勵致スト云フコトヨリ致シマシテ、合併ノ場合ニ於キマシテ、登錄稅輕減ト云フコトハ行ハレテ居ルト思フノデゴザイマスガ、例ヘバ銀行合併等ノ場合ニ於キマシテモ、是モ國家的ノ必要ヨリ致シマシテ、隨分合併致シマス場合ガアリマス、是等ノ場合ニ於キマシテモ何レモ免除致シテ居ラスノデゴザイマス、只今製鐵業獎勵法ノ趣旨ト云フ御話モゴザイマシタガ、成程製鐵業獎勵法ニ於キマシテハ十年ノ免稅期間ヲ十五年ニ延長致シマシテ、之ヲ施行致シテ居リマスガ、普通ノ產業ニ於キマシテモ、重要產業ト目サルベキモノニ付キマシテハ、相當ノ免稅期間ヲ置イテ居ルノデゴザイマシテ、製鐵業ハ特別ノ重要產業デアッテ、中々其投下シタル資本ヲ償

場合ニ於テハ不動産ノ取得稅ヲ徵收シテ居リマセヌノデ、國稅ニ於キマシテ、登錄稅ガ不動産ノ取得其他ニ關シマシテ法人合併ノ場合ニ準ジマシテ、不動産ノ取得稅ヲ徵收サナイ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ル譯デゴザイマス

○田島委員 大體ノ御説明ハサウデアラウト思フノデアリマス、是ハ政府當局トシテ、殊ニ稅務當局トシテハサウ仰ッシャルノガ當然ノコトデアルト思フノデアリマスガ、併シハ普通ノ會社ノ合併ト、大體ニ於テ法律上ハ異ッテ居ルケレドモ、實際ニ於テハ同ジモノデアルカラシテ、ソレデ普通ノ會社ノ合併法規ヲ適用シタ、斯ウ云フヤウナ趣旨デアリマスナラバ、此普通ノ會社ノ合併ト同様ニ此製鐵業ノ合併ヲ御覽ニナッタト云フコトガ寧ロ私ハ不都合デヤナイカト思フ、其點ヲ伺フノデアリマス、サウ云フ例ハナイト仰ッシャイマスガ、サウ云フ例ガ非常ニアルト思ヒマス、製鐵業獎勵法ト云フモノハソレナンドス、製鐵業獎勵法ト云フモノハ、詰リ製鐵業ニ關シテ國稅ヲ免除シテ居ル規定ガ中心トナッテ出來テ居ル法律デアルト思ヒマス、ソレデ國家ハサウ云フ風ニ製鐵業ヲ保護シテ居ル、ソレノ會社ノ合同デアル、ソレニ普通ノ會社ノ合同ト同ジヤ

ウナ稅ヲ御取リニナル、ドウモ私ハ其理窟ガ一貫セヌト思フノデアリマス、モウ一度御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 御答辯ヲ申上ゲマス、此第十八條ノ規定ハ、當然斯ウナルト申シマスルコトヲ規定致シタモノデゴザイマセヌ

ノデアリマシテ、此稅率ハ法人ガ合併致シマス時ニ拂ヒマス時ノ登錄稅デアリマス、此日本製鐵株式會社ノ設立ニ當リマシテハ、他ノ五會社ナリ、十一會社ト云フモノハ、其會社ヲ舉ゲマシテ此會社ニ合併スルモノデゴザイマセヌノデ、本來ノ稅率カラ言ヒマスレバ、設立其他ノ場合ニ於キマシテハ千分ノ五、不動産又ハ船舶ノ價格ノ千分ノ三十三、又ハ二十三ト申シマスル登錄稅ヲ納メルコトニ相成ル譯デゴザイマスルガ、此製鐵株式會社ト申シマスルモノハ、國家的ノ企業トシテ成立致シマスルト云フ關係、ソレト此實質ニ於キマシテ合併ト申シテ差支ナイノデハナカラウカト云フ程度ヨリ考ヘマシテ、斯ノ如ク稅率ヲ輕減致シタモノデゴザイマス、何故免除ヲ致サナイカト云フ御尋デアリマスルガ、株式會社ト云フモノ、合併設立等ニ當リマシテ、登錄稅ヲ免除致シマスル前例モゴザイマセズ、又其性質カラ言ッテ見マシテモ、免除致スベキ性質ノモノデハナカラウカト、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙ホモウ一點御尋ノゴザイマシタ地方稅ニ依ッテ徵收サセテハ如何カ、國稅ヲ免除シテ寧ロ地方稅ヲ徵收シタナラバドウカ、斯ウ云フ御尋ト思フノデゴザイマスガ、地方稅ハ法人ノ合併ノ

場合ニ於テハ不動産ノ取得稅ヲ徵收シテ居リマセヌノデ、國稅ニ於キマシテ、登錄稅ガ不動産ノ取得其他ニ關シマシテ法人合併ノ場合ニ準ジマシテ、不動産ノ取得稅ヲ徵收サナイ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ル譯デゴザイマス

○田島委員 大體ノ御説明ハサウデアラウト思フノデアリマス、是ハ政府當局トシテ、殊ニ稅務當局トシテハサウ仰ッシャルノガ當然ノコトデアルト思フノデアリマスガ、併シハ普通ノ會社ノ合併ト、大體ニ於テ法律上ハ異ッテ居ルケレドモ、實際ニ於テハ同ジモノデアルカラシテ、ソレデ普通ノ會社ノ合併法規ヲ適用シタ、斯ウ云フヤウナ趣旨デアリマスナラバ、此普通ノ會社ノ合併ト同様ニ此製鐵業ノ合併ヲ御覽ニナッタト云フコトガ寧ロ私ハ不都合デヤナイカト思フ、其點ヲ伺フノデアリマス、サウ云フ例ハナイト仰ッシャイマスガ、サウ云フ例ガ非常ニアルト思ヒマス、製鐵業獎勵法ト云フモノハソレナンドス、製鐵業獎勵法ト云フモノハ、詰リ製鐵業ニ關シテ國稅ヲ免除シテ居ル規定ガ中心トナッテ出來テ居ル法律デアルト思ヒマス、ソレデ國家ハサウ云フ風ニ製鐵業ヲ保護シテ居ル、ソレノ會社ノ合同デアル、ソレニ普通ノ會社ノ合同ト同ジヤ

ハ如何カ、國稅ヲ免除シテ寧ロ地方稅ヲ徵收シタナラバドウカ、斯ウ云フ御尋ト思フノデゴザイマスガ、地方稅ハ法人ノ合併ノ

場合ニ於テハ不動産ノ取得稅ヲ徵收シテ居リマセヌノデ、國稅ニ於キマシテ、登錄稅ガ不動産ノ取得其他ニ關シマシテ法人合併ノ場合ニ準ジマシテ、不動産ノ取得稅ヲ徵收サナイ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ル譯デゴザイマス

○田島委員 大體ノ御説明ハサウデアラウト思フノデアリマス、是ハ政府當局トシテ、殊ニ稅務當局トシテハサウ仰ッシャルノガ當然ノコトデアルト思フノデアリマスガ、併シハ普通ノ會社ノ合併ト、大體ニ於テ法律上ハ異ッテ居ルケレドモ、實際ニ於テハ同ジモノデアルカラシテ、ソレデ普通ノ會社ノ合併法規ヲ適用シタ、斯ウ云フヤウナ趣旨デアリマスナラバ、此普通ノ會社ノ合併ト同様ニ此製鐵業ノ合併ヲ御覽ニナッタト云フコトガ寧ロ私ハ不都合デヤナイカト思フ、其點ヲ伺フノデアリマス、サウ云フ例ハナイト仰ッシャイマスガ、サウ云フ例ガ非常ニアルト思ヒマス、製鐵業獎勵法ト云フモノハソレナンドス、製鐵業獎勵法ト云フモノハ、詰リ製鐵業ニ關シテ國稅ヲ免除シテ居ル規定ガ中心トナッテ出來テ居ル法律デアルト思ヒマス、ソレデ國家ハサウ云フ風ニ製鐵業ヲ保護シテ居ル、ソレノ會社ノ合同デアル、ソレニ普通ノ會社ノ合同ト同ジヤ

ウナ稅ヲ御取リニナル、ドウモ私ハ其理窟ガ一貫セヌト思フノデアリマス、モウ一度御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

却致セナイト云フコトヲ以チマシテ、其年限ガ十五年ニ延長サレテ居ルノデゴザイマスガ、決シテ此合同ノ場合ニ於キマシテモ、稅務當局ハ唯之ヲ普通ノ會社ト見テ居ル譯デハアリマセヌノデ、特ニ合併ノ稅率ヲ適用致スト云フコト其事方餘程ノ輕減ニ相成ルコト、思フノデゴザイマス

○田島委員 收稅吏ト申シマス、ドウモ甚ダ石渡君ニ對シテ相濟ミマセヌガ、收稅吏(ミツギトリ)ノ精神ガチヤントクッ付イテ居ルト思フノデアリマス、此日本製鐵株式會社ニ合併サレル會社ト云フモノハ、是ハ合併デハナイ、合併トハ違ッタモノデアルト仰ッシャル、是ハ法律上サウデアアルカモ知レナイ、併ナガラ法律上サウデナイモノヲ合併ト同様ニ見ラレルト云フノハ甚ダ不都合デアッテ、其不都合ヲ敢テサレルト云フコトハ、其實ヲ裏カラ申シマシテ、是ハ合併ト同一ノモノデアアル、或ハ合併以上ノモノデアルト云フコトヲ御考ニナッタ結果、斯ウナッデ居ルモノト思フノデアリマス、是ハ舊會社ガ新會社ニ現物出資ヲシテシマヒマスレバ、後ニ殘ッタモノハ「マイナス」ダケデアアル、ソレデ普通ノ立派ナニツノ會社ガ合併シテ一ツノ新會社ニナルト云フノト別ニ理窟ニ於テ變ラナイ結果ヲ持

來スノデアリマスカラ、事實上合併同様デアアル、屁理窟トハ申シマセヌガ、法律上ノ理窟ハ姑ク之ヲ措イテ、是ハ合併ト同一ノモノデアアルカラ、斯ウスル、斯ウ云フ御精神デ此條文ヲ御作成ニナッタノニ非ザレバ、收稅ノ立場ニ居ラレル人トシテハ甚ダ不都合デアルト思フ、私ハサウ云フ趣旨ノ下ニ之ニ贊成ヲ表シテ、斯ウ云フ立法ヲサレタ上ニ於テハ何カ製鐵業ノ重大性ヲ認メテ、製鐵會社ノ合併ノ場合ニ普通ノ會社ノ合併ト同一ノ取扱ヲサレタノデアアルカ、斯ウ云フコトヲ御尋申上ゲル譯デアアルノデアリマス、同ジコトヲ繰返シテ御答辯ニナルコトト思ヒマスカラ、別ニ追窮ハ致シマセヌケレドモ、此精神ニ於キマシテ此合併ヲ認メテ、サウシテ之ヲ考ヘラレル以上ハ製鐵業ノ重大性ト云フコトヲ考ヘテ、製鐵業獎勵法ノ精神カラ推シテモ、此登錄稅ト云フヤウナモノハ免除サレテ然ルベキモノデアアル、斯ウ云フ大キナ會社ガ出來マス以上ハ、民間ノ普通ノ言葉デ言ヘバ、政府トシテ相當ノ御祝儀位御出シニナッテモ宜イ、ソレヲ反對ニ金ヲ御取リニナルト云フコトハ、甚ダ不都合デアルト云フ感ジヲ懷カザルヲ得ナイ、政府ガ取ルナラバ、政府ガ取ル前ニ地方自治團體ニ取ラセルト云フコト

ガ親トシテノ情デアアル、ソレヲ地方自治團體ノ方ハ斯ウ云フモノハ免除サレテ居ッテ、取ルヤウニナッテ居ラヌカラ取ラセナイ、俺ノ方ダケ取ルノダト仰ッシャルノハ、ドウモ是ハ租稅ノ理論ニハ合スルカモ知レマセヌガ、製鐵業獎勵ノ精神ニ鑑ミ、又政府ガ各方面ニ對シテ時局匡救ニ付テ非常ニ努力ヲシテ居ルト云フ實情ニ鑑ミマシテ、此立法ハ非常ニ當ラ得ナイヤウニ思ヒマスケレドモ、是ハ意見デアリマシテ、石渡君ノ意見ヲ論駁スル譯ニ參ラヌノデアリマスカラ、之ヲ二讀會ニ讓ルコトニ致シマシテ、私ノ質問ハ是デ打切りマス、併シ精神ダケハドウゾ政府當局トシテ明ニ御諒解願ッテ置キタイト思ヒマス

○松本委員 一寸稅ノコトニ關聯シテ大藏當局ニ伺ヒタイト思ヒマス

○若宮委員長 一寸御待チ下サイ、田島君ノ後ハ林君ノ通告ガアリマスシ、或ハ大藏省ヘ御纏メ下サルコトモ一ツノ整理ノ仕方デスシ、或ハヤハリ一人々々質問シテ一巡シテ行クコトモ整理ノ仕方デスガ、宜シク理事諸公ニ於テ、其邊最モ時ヲ得ルヤウニ御工夫ノ上デヤルヤウニシテ行キタイト思ヒマスガ、如何デセウ

○岸委員 理事ノ間ノ相談ハ、大體質問ガ

一巡シタ後ニ總理大臣ナリ、軍部大臣ナリ拓務大臣、其他ノ關係當局ニ出テ來テ戴イテ、一切ノ質問ヲシヨウヂヤナイカ、斯ウ云フヤウニ大體ナッテ居ルヤウニ、私ハ理會シテ居リマス

○若宮委員長 左様ニ伺ッテ居リマスガ、本日ハ實ハ宮脇君ノ質問カラ陸海軍大臣ノ出席ヲ求メルト云フコトデ、稍、異例ガ行ハレ掛ケテ居ルノデアリマスガ、其序ニ田島氏ガ大藏省ヘ要求セラレマシテ、幸ニ繰合ガ付テ來ラレタ方ハアリマスガ、成ベクハ其原則ニ從ッテ戴イタ方ガ申合セ通りデ都合ガ好イカト思ヒマスガ、如何デセウ

○松本委員 宜シイデス

○若宮委員長 ソレデハ田島君

○田島委員 サウシマス次ニ關稅ノコトヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、關稅ノ問題ニ付テ、關稅當局ガ此處ニ御出ニナッテ居リマセヌカラ、後ニ廻サウト思ヒマシタケレドモ、先ヅ大體ニ於テ商工大臣ノ御答辯ヲ得レバソレデ宜シイト思ヒマスカラ御尋ヲ申シマス、此製鐵合同ノ問題ガ、關稅ニ關係ヲ持ッテ居リマスコトハ御存知ノ通りデアリマス、ソレデ六十二議會ニ於ケル關稅定率法ノ改正ノ際ニ、商工大臣ガ國務大臣トシテ御言明ニナッタ、製鐵合同ノ方針ガ今日

實現シ掛ッテ居ル譯デアリマスガ、從ヒマシテ製鐵合同ガ出來上レバ、自然問題ハ自動的ニ關稅ノコトニ歸ッテ行クノデアリマス、今日マデノ質疑應答ノ中デ、關稅ノ點ニ

付キ繰返シテ質疑ガ重ネラレテ居ルト思フノデアリマスケレドモ、尙ホ明瞭デナイト思ヒマスカラ、此際ニ更ニ明確ニ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ此日本製鐵株式會社ガ出來レバ生産費ヲ低減シ、鐵鋼ノ市場價格ヲ減ズルコトニナルノデアアルカラ、其結果勢ノ赴ク所ハ關稅ヲ低減シ、若クハ廢止スルコトニナル、サウ云フヤウナ御言明ハ屢々商工大臣カラ得テ居ルノデアリマ

關稅ノ低減等ガ行ハル、ヤウニ、合同ノ實績ヲ擧ゲタイト念ジテ居ル次第デアリマス  
○田島委員 甚ダ御尤ナ御答辯トハ思ヒマスルガ、併シ是ハ吾々ノ考ト致シマシテハ、日本製鐵株式會社ガ出來上ッテ五箇年ノ間ニ、豫定ノ十一社ノ合併ハ必ズ之ヲ實現スル確信ヲ有ッテ居ルト云フヤウナ御言明デアリマスガ、其言明ニ依ッテ會社其モノガ完全ニ成立シマシタ曉ニ於キマシテハ、既ニ政府委員ノ御示シニナッタ生産費ノ低減ト云フコトニ付テ、銑鐵ハ幾ラ、鋼鐵ハ幾ラト云フ御示シガアッタ、是ハ現在ヨリモ色々ナ條件ニ支配サレルデアリマセウケレドモ、少クトモ會社ノ合同ガ成立サヘスレバ、直グニ生産費ガ鋼ニ付テハ五圓近クモ下ルト云フヤウナ數字ガ出タヤウニ思ヒマシタガ、モウ其時カラシテ誠意ガアレバ關稅ヲ多少ナリトモ減ズルコトガ出來ル譯ダト思ヒマス、ソレデ成程唯單ニ漠然ト何時如何ナル方法ニ依ッテ關稅ヲ減ジ、若クハ廢止スルコトガ出來ルカト云フ御尋ヲスルコトハ、亂暴デアアルヤウニ伺ハレルノデアリマスケレドモ、既ニ生産費ニ付テサウ云フ確信ガ御有リニナル以上ハ、私ハ今ノヤウナ質疑ガ出ルト云フコトハ、必シモ無謀

ナ質疑デハナイト思フノデアリマス、其點ニ付テ更ニ明確ナル御答辯ヲ御願シタイ  
○中島國務大臣 御質疑ヲ亂暴ダトハ申上

デマセス、唯私ガ何時如何ナル時期ニ於テ關稅ノ低減ヲ行ハシムルト云フコトヲ申スコトハ——確言致シマスコトハ聊カ失當デハナイカト云フコトヲ申上ゲタニ過ギナイノデアリマシテ、繰返シテ申シマスガ、政府ノ保護ヲ一日モ早ク少ナカラシメタイト云フ考デアリマスカラ、此合同事業ガ實績ヲ擧ゲマシテ、最早見極メガ付キマシタ場合ニ於テハ、何レ其種ノ事ガ實行セラレルコトヲ祈ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、今日ノ採算基礎カラ申シマスレバ、只今田島君ノ仰セニ相成リマシタ通りニ、多少モウ少シ明確ナ判斷ガ出來サウナモノダト云フ御話デアリマシタガ、海外諸國ノ貿易ノ政策、殊ニ昨今御案内ノ通りノ各國ガ所謂國家經濟主義トデモ申シマスカ、或ハ經濟的國家主義トデモ申シマスカ、斯ノ如キ關稅ノ障壁ヲ高ク致シマシテ、貿易上ノ支障ヲ非常ニ多カラシメテ居ル今日ノ場合、我國ノ關稅政策ヲ考ヘマス時ニ於テ最モ警戒ヲ要スルト思ヒマスルガ故ニ、茲ニ確言ヲ致サナイ次第デゴザイマス、併シ私ノ精神ハ繰返シテ申上ゲル通りデアリマス

○田島委員 御立場トシテハ御尤カト思ヒマスガ、併シ關稅ノ低減ノ出來ルコトヲ祈ッテ居ルト云フヤウナ御話デアリマスケレドモ、言葉尻ヲ彼此レ申サウデ甚ダ恐縮デアリマスガ、私ガ此際商工大臣ノ御決心ヲ伺ッテ置キタイト所以ハ、少クトモ此製鐵合同ノ計畫ヲ爲サレタ所ノ現商工大臣ノ御意圖ニ於カセラレテハ、生産費ヲ低減スル見込ハ確カデアアル、市場價格ヲ下ゲルコトハ確カデアアル、ソレデ製鐵合同會社ガ出來上ッテ後デ出來ルダケ早ク關稅ヲ低減、若クハ撤廢スル考ヲ有ッテ居ルモノデアルト云フ御意思ノ程ヲ伺ヒタイトデアリマシテ、ソレスラモ、サウ云フコトヲ唯祈ッテ居ラレルバカリデナク、考ヲ御持チニナラスト云フコトデアッデハ、甚ダドウモ六十二議會ノ關稅定率法改正ノ時ノ精神ニモ反スルカノヤウニ思フノデアリマスカラ、モウ一回御考直シノ上ニ御答辯ヲ御願致シタイト思フノデアリマス

○中島國務大臣 私ハ恰モ御尋ノ通りノコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、私ハ是非早キ機會ニ於テ關稅ノ改正ノ行ハレン日ノ來ランコトヲ祈ッテ居ル、即チ心ニソレヲ期待シテ居ル者デアリマスト、斯様ニ申上ゲテ居ルノデアリマス

○中島國務大臣 何時如何ナル場合ト云フコトヲ、此際確言致シマスルコトハ、甚ダ亂暴デアラウト思ヒマスガ、唯此間岸田君ノ質疑ニ御答致シタ時ニ申シタ通りニ、此製鐵業ノ合同ノ「モットー」ト致シマスル所ハ、出來得ル限り政府ノ保護カラ離レマシテ、所謂自力更生ヲ致シタイ趣旨ニ出發致シテ居リマスルガ故ニ、成ベク早イ機會ニ

○中島國務大臣 何時如何ナル場合ト云フコトヲ、此際確言致シマスルコトハ、甚ダ亂暴デアラウト思ヒマスガ、唯此間岸田君ノ質疑ニ御答致シタ時ニ申シタ通りニ、此製鐵業ノ合同ノ「モットー」ト致シマスル所ハ、出來得ル限り政府ノ保護カラ離レマシテ、所謂自力更生ヲ致シタイ趣旨ニ出發致シテ居リマスルガ故ニ、成ベク早イ機會ニ

○岸田委員 只今ノ田島君ト商工大臣トノ

質疑應答ニ關聯シマシテ、商工大臣トシマシテハ、明確ナ具體的ナコトハ言ヒ兼ネルト云フヤウナ御返事デアリマスクレドモ、唯ソレハ時期ニ於テハ、是ハ勿論爲替ノ變動ガドウナッテ來ルトカ、又外來鐵ノ生産費ガドウ云フ風ニナッテ行クカト云フコトハ、今日豫メハッキリ時期ヲ定メテ豫測スルコトハ出來得ナイカラ、隨テ其時期ヲ明言スルコトハ不可能デアリ、又是ガ貿易政策、爲替政策ノ上カラ言ッテモムヅカシイ、斯ウ云フヤウナ御趣旨ニ拜スルノデアリマ

スルクレドモ、唯併シ關稅ヲ設ケテ居ル趣旨ト云フモノヲ、保護スルト云フ點ニ主トシテ重キヲ置カレテ居ルノデアリマスカラ、現ニ昨年六月ニア、シテ稅ヲ殖ヤサレタ場合ノ事情カラ考ヘマシテモ、丁度當時ノ五月アタリノ事情カラ言ッテ、先刻私ガ申上ゲタ通り、日本ノ鉄鐵ニ付テハ三十二圓バカリノ時ニ、外來鐵ガ二十五六圓デ來ルト云フ、六七圓ノ差額ノアル場合ヲ狙ッテ、是デハト云フノデ、ア、シテ増額シタヤウニ思フノデアリマスカ、サウスルト將來ノ見透シカラ言ヒマシテ、今後日本ノ國產ノ生産費ト、ソレカラ外國品ガ關稅及「チャー」ヲ含クメテノ値段トノ差額ガドウ位ニ

ナッタ場合ニハ、關稅ヲ引下ゲテモ宜シイト云フ、此差額ノ金額ダケヲ具體的ニ言現シ爲サツテモ少シモ差支ナイノデハナイカト、斯ウ私共考ヘマスカ、如何デアリマセウカ

○中島國務大臣

御案内ノ如ク、此貿易ノ關係ニ立脚シテ考ヘマスカト云フト始終——殊ニ昨今御案内ノ通りニ、各國ノ貨幣本位ガ非常ニ動搖致シテ居リマシテ、此動搖狀態モ何時迄續キマスカトカ、將來ヲ全クトシ難イ、今日ニ於キマシテ、常ニ爲替ノ動搖ヲ感ジマスル輸出、輸入ノ關係ト致シマシテハ、單ニ企業ノ採算上カラ直チニ爲替ノ差額ヲ見マシテ、此時、此場合ニ於テハ若干關稅ヲ輕クシテモ宜カラウ、若クハ一層免除シテモ宜カラウト云フ測定ヲ致スコトハ、少シク今日ノ國際經濟時局ニ對照致シマシテ、當ヲ失ッテ居ルノデハナイカト、斯ウ思ッテ居リマス、先程田島君ニ御答致シマシタ趣旨モソコニアッタノデアリマ

○松本委員

關聯シテ——今商工大臣カラ、關稅ノコトハ爲替ノ動イテ居ル場合早計ニ決メラレヌト云フ御話ガアリマシテ、ソレハ爲替ノ動イテ居ルコトヲ理窟ニシテ仰セラレラナラバ、鋼材ニ付テノ三割五分

ノ附加稅ノ問題ニ付テハソレデ妥當デアリマスカ、鉄鐵ノ特殊ノ關稅ノ引上ニ付テハ、是ハ爲替ノ動キト云フコトヲ理由トシテ只今決メラレヌト云フ仰セハ、ドウモ吾首肯出來ナイノデアリマシテ、鉄鐵關稅ヲ特別ニ上ゲルト云フコトハ爲替ノ關係デハアリマセヌ、生産費ノ關係デゴザイマスカラ、是ハ鉄鐵ニ付テハ爲替ト云フコトヲ別ニシテ御答ガアッテ然ルベキヤウニ考ヘラレルノデアリマスカ、如何デゴザイマスカ

○中島國務大臣

何レニ致シマシテモ、今日私ノ考ト致シマシテ、將來ノ關稅ニ見合ヒマシテ、是ガ減免ノ時機、竝ニソレニ關聯致シマスル見込ヲ申上ゲルコトハ、非常ニ苦シイト思ヒマス、唯繰返シテ申上ゲマスカ、要スルニ今日合同ニ依リマシテ、企業ノ採算基礎ガ定ッテ參リマシテ、茲デ始メテ關稅ノ減免ヲ行ヒ得ル時機ガ到來致シマスレバ、是ハ一日モ早ク之ヲ實行セシメタイト、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、爲替ノ關係モ其一ツデゴザイマスカレドモ、兎ニ角海外ニ對シマスル關係ヲ考慮致シマシテ、其手段ヲ決定致シマスルニ付テハ、相當ノ考慮ヲ要スベキモノト考ヘテ居リマス

○田島委員

次ハ新會社ノ重役ノ選任ニ關係シテ御尋申上ゲマスカ、此新會社ノ重役ガ、滿鐵若クハ特殊銀行ノ例ニ依リマセズニ、現在茲ニ出テ來テ居リマス法案ノヤウナ體裁ヲ採ッテ新重役ガ決メラレルト云フコトハ、非常ニ私結構ナコト、思ヒマス、少クトモ滿鐵ノ例ニ依ルト云フコトハ、近時滿鐵ニ關係シタ種々ノ人事上ノ出來事ニ鑑ミマシテ、ドウモ甚ダ贊成致シ兼ネル、新會社ガ株主ノ選舉ニ依ッテ、假令其株主ハ政府ガ過半数ヲ有ッテ居ラレルニ致シマシテモ、株主ノ選舉ニ依ッテ、其選舉サレタ人が政府ノ認可ニ依ッテ、期限内ダケハ重役トシテ在任カ出來ルト云フコトハ、是ハ非常ニ結構ナ決メ方デアルト思ヒマス、斯ノ如キ事業會社デ、理事ノ局ニ當ル人が終始變動スルヤウナコトハ、是ハ事業ノ經營ガ出來ナイト云フコトニナッテ、結局一方ノ精神ヲ没却スルコトニナルノデアリマスカラ、洵ニ結構ト思ヒマスガ、併シ此重役選任ニ關スル規定ヲ色々拜見シテ見マスルト、多少疑ヲ挿マナケレバナラヌヤウナ點ガアルノデアリマス、ソレハ多分日本無電會社ノ定款ニモアルコトデアルカ存ジマセヌガ、ソレマデ調ベル餘裕ガナイノデ、此條文ダケニ付テ疑ノアル所ヲ申上ゲルノデアリマ

スガ、第二十條ノ「公益ヲ害スト認メタルトキハ其ノ決議ヲ取消スコトヲ得」、「公益ヲ害スト認メタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得」ト云フヤウナ規定ガアリマス、此公益ヲ害スル云々ト云フノハドウ云フコトヲ意味スルノデアリマスカ、ソレヲチヨット御答願ヒタイト思ヒマス

○福田政府委員 是ハ此會社ノ事業ノ重大性ニ鑑ミマシテ、軍事上、公益上色々ノ命令ガ出來ル譯デゴザイマスガ、尙ホ此公益ニ關スル事項ニ關シマシテ、不都合ノ所爲ガ萬一アツタ場合ニハ取消スコトモ出來、又解任スルコトモ出來ル、斯ウ云フ意味デゴザイマシテ、重役ノ行爲ヲ特ニ營利一方ニ走ラナイヤウニ又我儘勝手ノコトヲサセナイヤウニ、制限スルコト云フ趣旨デスノ如キ事ヲ規定致シテ居リマスノデ、他ノ特殊會社ノ方ニモ相當前例ノアル規定デアリマ

○田島委員 イヤ他ノ特殊會社其他ニ前例ノアル事デアリマセウケレドモ、其公益ヲ害スルコト云フ文字ガ非常ニ廣ク且ツ漠然タル文字デアルガ故ニ、實際ノ適用上種々ノ問題ヲ起スヤウナコトガアリハセヌカト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ明確ナル公益ヲ害スト云フコトニ付テノ解釋ヲ伺フコ

トガ出來レバ幸ト思ヒマス

○福田政府委員 公益ヲ害スルコト云フコトノ範圍ハ、自ラ是ハ實際ノ行政上ノ見地ニ立ッテ、如何ナル行爲ガ公益ヲ害スルカト云フコトヲ決定スベキモノデアルト考ヘテ居リマス、只今具體的ニドウ云フ事項ガ公益ニ反シ、ドウ云フ事項ガ公益ニ反シナイ、斯ウ云フ風ニ御説明申上ゲルコトハ一寸困難デアルト思ヒマスガ、大體會社ノ事業ノ本質ニ鑑ミマシテ、此事業ノ本來ノ趣旨ヲ沒却スルヤウナ行爲アリト云フ場合ニハ、公益ニ反スルモノト、斯ウ云フ風ニ抽象的ニ御答スルヨリ仕方ガナイト思ッテ居リマ

○田島委員 私ガ此公益ヲ害スト云フノヲ讀ミマシテ一寸頭ニ浮ンダ事ハ、此會社ガ營利會社デアリマス爲ニ、生産者ト消費者ノ立場ヲ二ツ考ヘナクテハナラヌノデアリマス、少シデモ値ガ上ルヤウナ行爲ハ消費者ノ利益ヲ害シ、一般消費大衆ノ利益ヲ害スルコト云フコトカラ言フト、公益ヲ害スルト云フ風ニモ解セラレノデアリマス、又生産ノ方ノ立場カラ申シマス、先刻商工大臣カラ御答モアリ、製鐵所長官カラモ御答ガアリマシタヤウニ、場合ニ依ッテハ小サナ會社ト競争ヲスルト云フヤウナ立場ニ

立ッ場合ニ於テハ、生産者トシテノ利益ハ、生産大衆ノ利益ト云フコトヲ考ヘマスト、是モ公益ト云フヤウナ解釋モ出來ナイコトモナイノデアリマス、唯サウ云フヤウナ生産販賣ノ統制ノ方ノ關係カラ、公益ト云フ字ガ非常ニ邪魔ニナル場合ガアリハセヌカ、斯ウ云フ事ヲ考ヘテ御尋シタ譯デアリマス

○福田政府委員 此公益ヲ害スルコト云フ書キ方ハ、相當積極的ニ公益ヲ害スル著シイ場合ヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、營業上ノ必要ニ依ッテ生産ノ協定ヲスルトカ、或ル程度ノ——生産消費兩方面カラ考ヘテ妥當ナル價格ノ協定ヲスル、斯ウ云フ場合ハ公益ヲ害スルコト云フコトハ相成ラヌト考ヘテ居リマス

○田島委員 先ヅ今ノコトデ了承致シテ置キマス、次ニ重役ノ行爲ガ法令若クハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル云々、斯ウ云フ場合ニハ解任ノ權ガアリ、又其會社ノ決議ノ取消ガアリ、又斯ノ如キ取締役ノ行爲ニ付テハ千圓以下ノ過料ヲ科スルト云フヤウナ罰則モアリマスガ、政府ノ命令ニ反シタ場合ニ對スル何等ノ規定ガナイノハドウ云フ譯デアリマスガ、又サウ云フ場合ニ於ケル重役ノ行爲ノ取消權ガ政府ニ無イト云フ

ノハドウ云フ譯デアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○福田政府委員 第二十條ノ第二項ノ末項ノ「主務大臣ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ亦同ジ」ト云フ規定ニ依リマシテ、決議ノ取消モ解任其他モ出來ルコト、考ヘテ居リマス

○田島委員 今ノハ私ノ見落シデアリマシタガ、其行爲其モノ、取消權ハナイヤウニアリマスガ、其點ハ如何デスカ

○若宮委員長 二十條ニハ取消權ハナイデスヨ

○田島委員 時間ヲ省略致シマス爲ニ、答辯ヲ後ニ廻スコトニシテ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス、何時デモ宜シウゴザイマスカラ後デ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、次ニ是非製鐵所長官ニ伺ヒタイ事ガアルノデアリマスガ……ソレデハ中井政府委員ノ御出デニナル迄ノ間ニ、他ノ政府委員カラ、殊ニ是ハ鑛山ニ關係シタ問題デアリマスカラ、鑛山局長タル福田政府委員カラ御答ヲ願ヘバ幸デアリマス、實ハ同僚ノ高野代議士カラ御尋スベキ筈デアリマスケレドモ、發言ノ順序ガ容易ニ同代議士ニ參リマセヌノデ、私カラ同代議士ノ趣旨ヲ含ミマシテ御尋ヲ致スノデアリマスガ、二瀬出張所ノ

坑夫ノ待遇ニ關係シタ問題デアリマス、二

瀬出張所ノ坑夫ハ、本所ノ製鐵所ノ職工ト

ハ立場ガ違フ、ソレデ優遇ハ洵ニサル事デ

アッテ感謝スルケレドモ、ドウモ本所並ミノ

待遇ヲ受ケルト云フコトハ坑夫トシテ甚ダ

困ル場合ガアル、一番問題トナッテ居ルノ

ハ、勤続年限ノ問題デアリマシテ、今日迄

ノ勤続年限ヲ本所ト違ッテ一應打切ヲ願ヒ

タイ、本所ノ職工諸君ハ續クコトヲ希望シ

テ居ル譯デアリマスガ、二瀬出張所ノ坑夫

ハ、ドウカ此勤続年限ヲ、此會社ガ成立ツ

モノトシテ、製鐵所ガ會社ニナル場合ニハ

其際ニ打切ッテ戴キタイ、サウシテ新シク新

會社ニ勤メルト云フ取扱ヲ御願ヒシタイト

云フコトデ、坑夫ノ代表者ガ來テ頻ニ陳情シ

タノデアリマス、ソレデ其事ハモウ既ニ製

鐵所長官ハ御存ジデアリ、色々御應答モアッ

タト思ヒマスケレドモ、坑夫ノ希望ハサウ

デアアル、ソレデ此勤続年限ヲ打切ルト云フ

コトハ、自體此労働者ノ立場カラ見マス、ト

非常ニ不利益ナ問題デアッテ、勤続年限ガ増

加スレバ増加スル程、數學級數のカ何カデ

手當ガ増シテ行クノデアリマスカラ、ソレ

デ利益ハアルベキ筈デアリマスケレドモ、

坑夫ノ立場トシテハ、サウ製鐵所本所ノ仕

事ノヤウニ仕事ノ性質ガ永續性ノモノデア

レバ宜シイケレドモ、坑内ノ作業ハ中々

サウ永ク身體ガ續カヌノデアリマス、永遠

ニ勤続スルト云フヤウナ精神ヲ以テ仕事ヲ

シテ行クト云フコトハ、健康上許サナイノ

デアリマスカラ、勤続年限ハ一應打切ヲ願

ヒタイ、斯ウ云フ希望ガアルノデアリマ

ス、此事ニ對シテ製鐵所當局トシテノ長官

ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイノト、ソレカラ

是ハ又色々想像致シマス、炭坑夫ノ移動

ト云フ問題ニ關聯致シマシテ、非常ニ坑夫

ト云フ者ハ移動ノ多イ者デアリマスカラ、

勤続年限ヲ打切ッテ、今日マデノ勤続年限ニ

對シテ御手當ガアルト云フコトニ致シマス

ト、直グ罷メテ他ノ方ヘ行ッテシマフダラ

ウ、斯ウヤウナ虞ヲ或ハ懷イテ居ラレルカ

モ知レスト思フノデアリマスガ、ソレハ勤

続年限ヲ打切ルト云フコトヲ御決メニナッ

テ、何モ一時ニ金ヲ御給與ニナラナクテモ

宜イノデアリマス、詰リ名義上打切ッタト

ナレバソレデ宜シイト云フコトヲ坑夫ノ代

表者ハ申シテ居ルノデアリマスガ、其點ニ

付キマシテ、サウ云フ名義ダケノコトデア

レバ、別ニ製鐵所ノ作業ニ對シテ非常ナ影

響ヲ及ボスモノデナイカラ、成ベク坑夫ノ

希望ヲ御容レ下サルヤウニ願ッテハドウデ

アルカト云フヤウナ意味ノ質問デアリマ

ス、其事ニ付テ長官ノ御考ヲ伺ッテ置ケバ

幸甚デアリマス

○中井政府委員 先日來御話ヲ致シテ居リ

マスシ、又法律ニモ其點ニ付テ特ニ規定ガ

アルノデアリマスガ、此法案ノ立法方ハ何

處マデモ官營ノ事業ニ從事シテ居リマスル

者ガ、此民營ノ會社ニ使ハレテ、後ニ於テ

モ同ジ狀態ニ置クノガ至當デアアル、今働イ

テ居ル人達ガ中間ニ於テ之ヲ打切ッテ從來

ノ規定ニ依リ手當ヲ貰フト云フコトハ、其

人達ノ爲ニハ宜シクナイ、斯ウ云フヤウニ考

ヘテ居ル次第デアリマス、本所出張所トモ

同様ノ考デアリマス、唯坑夫ハ坑内デ仕事

ヲ致シテ居リマシテ、年ヲ取ッテ行クニ從ヒ

マシテ、働キモ鈍ッテ來マスシ、稼高モ減ッテ

行クト云フコトハ是ハ此際ニ限リマセズ、

從來炭坑ノ當局モ考ヘテ居ルコトデアリマ

ス、何レニ致シマシテモ事業ノ形態ガ變ル

爲ニ、従業員ニ不利益ヲ與ヘナイヤウニシ

ヨウト云フ考デアリマスカラ、御諒承ヲ願

ヒ、又アナタ方カラモ其邊ノコトヲ能ク仰

シヤテ戴キタイト思ヒマス

○田島委員 長官ノ御趣旨ノアル所ハ能ク

分リマシタガ、併シ二瀬ノ従業員ハサウ云

フ希望ヲ熱心ニ懷イテ居ルヤウニ思ヒマ

ス、ソレデ今餘リ細カナ問題デ此席デ長ク

時間ヲ取ルコトハ恐縮デアリマスカラ、此

問題ハ是デ打切りマスガ、併シ大體ノ御趣

旨ガ此従業員ニ對シテ極メテ同情ノアル處

置ヲ執ッテ、成ベク従業員ノ利益幸福ヲ考ヘ

テ、慎重ナル考慮ヲ拂ッテヤラウト云フ御

趣旨デアリマスカラ、其御趣旨ニ基キマシ

テ何レ將來問題ノ起リマシタ際ニ、適當ニ

従業員ノ立場ヲ御考察願ッテ、御考慮ヲ御

願致シタイト云フコトニ致シマシテ、餘リ

深ク此問題ヲ茲ニ研究スルコトハ時間ガ掛

リマスカラ、御願ダケヲ致シテ次ノ問題ニ

移リマス

○實岡委員 今ノ話ニ關係ガアリマスカラ

五分間バカリ——今田島委員カラ二瀬従業

員ノ八幡製鐵所ノ職工ト立場ノ違フ點ヲ詳

細御話ニナリマシタガ、自分モ矢張其事情

ヲ能ク承知シテ居リマス、八幡製鐵所方面

デハ、職工ガ年數ガ積メバ積ムダケ隨テ技

術ニ熟練致シマシテ、賃銀モ増加シテ來ル

ノデアリマス、此炭坑地ノ所謂筋肉労働ヲ

何時モヤッテ居ル者ハ、ドウシマシテモ長イ

年數ニナルダケ低下シテ來ルノデアリマ

ス、賃銀ハ益々低下シマシテ、多年働イテ賃

銀ガ増サネバナラヌノガ下ッテ來ルト云フ

コトハ、實ニ同情スベキ狀態デアリマス、

殊ニ地下一千數百尺ノ地ノ底ニ長イ間筋肉

勞働ヲ勵ンデ居ル、此可憐ノ狀態ニ居リマス關係上、之ヲ今カラ十五年モ二十年モ長ク勤續サシタナラバ、退職ノ場合ニハ相當待遇モ良クナルドラウト考ヘマスガ、其退職手當ノ關係ガ非常ニ苦シイ立場ニアル、

ドウシテモ其職ニ堪ヘ得ナイトシテ、成ベク早ク地上ノ生活ヲシタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス關係上、八幡製鐵所ノ職工ト、或ハ二瀨方面ノ地ノ下働イテ居ル坑夫ノ立場ノ違ヒニ御同情下サイマシテ、此場合會社ノ合併、或ハ併合ト云フヤウナ場合ニハ、總會社ガサウ云フ一時ノ手當等ヲ支給サレタ實例モアリマス、其點ニ付キマシテ、特ニ地方ノ陳情ニ御同情下サラシテ重テ御願シテ置キマス、サウ云フ風ニ御考慮下サルコトハ出來マセヌデセウカ

**○中井政府委員** 能ク御趣意ハ分リマシタガ、打切ルコトニ依ッテ支給スルト云フ譯ニハ參リマセヌガ、丁度今實岡サンノ御話ノヤウナコトハ、何モ此際ニ於ケルコトバカリデナク、豫テ考ヘテ居リマス、炭坑當局ニ於テモ從來カラ考ヘテ居リマスシ、何レニシテモ不利益ニナラナイヤウニ取計ラフコトニサッテ居リマスカラ、御安心ヲ願フテ宜シト考ヘマス

**○田島委員** 次ハ地方ノ自治團體ト官營製

鐵所トノ關係ノ問題デアリマス、是ハ今マデ田尻委員カラ詳シイ御質問ガアリ、ソレニ對スル政府ノ御答辯ガアリマシタ、又實岡委員カラモ、松尾委員カラモ、其問題ニ關シマシテ相當御尋ガ繰返サレテ居ルノデアリマスガ、幾ラカ重複スルヤウナコトモアルト思ヒマスケレドモ、多少此際伺ッテ置カナケレバナラナイト思フヤウナ事柄モアリマスノデ、煩ヲ厭ハズ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ先ヅ一番ニ八幡市、若松市、戸畑市ノ三市ノ問題デアリマスガ、是ハ三市共通ノ問題ト致シマシテ、三市ノ水道ガ總テ製鐵所ト關係ガアッテ、製鐵所ノ恩惠ト言ヘバ言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、製鐵所ノ好意ニ依ッテ現在上水道ガ經營サレテ居ルノデアリマス、例ヘバ送水鐵管費ニ付テ、製鐵所トドノ位ノ比例デ以テ各市ガ負擔ヲスルトカ、或ハ遠賀川水源地ニ於テ水ヲ揚ゲマスルノニ、其水揚ゲノ費用ヲドウ負擔スルトカ、或ハ鐵管、又ハ水路ノ修繕費ニ付テドウ云フ負擔ヲスルカト云フ問題、尙ホ其外ニ將來三市ノ人口ノ増加ニ連レテ水ヲ増サナケレバナラヌ問題、其問題ニ付テノ交渉、ソレカラ是ハ八幡ダケノ問題デアリマスガ、八幡ノ港ノ防波堤ニ關係スル問題ト云フヤウナ各種ノ問題ガ、

三市ト八幡製鐵所トノ間ニアルノデゴザイマス、是ハ從來往復文書ガアル、若クハ往復文書ガナイ場合ニ於テハ、相互間ノ諒解ニ依ッテ圓滑ニ總テノコトガ運ンデ、三市其利益ヲ受ケ、製鐵所モ亦三市ヲ保護シテ今日ニ至ッテ居リマスガ、是ガ製鐵所ガ民營ニナリマシテ、所謂法律上ノ資格ヲ變ヘルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、今マデノ往復文書トカ、或ハ相互間ノ諒解ト云フヤウナコトデハ不十分デハナイカト思フノデアリマス、ソレデ是等ノ今マデノ色々ナ關係ヲ整理統一致シマシテ、權利義務ノ關係ヲ明瞭ニシテ、新會社ニ御引繼ギニナルコトガ必要デアルト思ヒマスガ、其點ニ付テ製鐵所長官トシテ中井政府委員ノ御考ヲ伺ッテ見タイ

**○中井政府委員** 私ハ今御尋ニナルヤウナ事ガ問題ニナルコトガ寧ロ不思議デアル位ニ考ヘマス、サウ云フ問題ハソレノ處理サレルコトガ當然デアルト思ヒマス、隨テ左様取扱フ積リデ居リマス

**○田島委員** 能ク分リマシタ、次ニハ屢々問題トナッテ居ル此助成金ノ問題デアリマス、是ハ八幡市ニ對シマシテ今日マデ五十萬圓、ソレカラ二瀨附近ノ町村ニ對シテ八萬圓程度ノ助成金ガ交付サレテ居ルノデア

リマスガ、此二瀨附近ノ問題ニ付キマシテハ、先刻申上ゲマシタヤウニ高野代議士ノ發言ヲデッテ此際申上ゲルノデアリマスガ、何レニ致シマシテモ斯ウ云フ助成金、ソレカラ松尾代議士ガ御質問ニナリマシタ室蘭地方ノ課稅ノ問題、斯ウ云フノガ助成金及ソレニ關聯シタ問題デアリマスガ、之ニ對スル今日マデノ質疑應答ヲ伺ヒマス、新會社ニ命令シテ從來ト變ラナイ方法ヲ執ルノデアルト云フヤウナコトヲ御言明ニナッテ居リマス、ソレカラ尙ホ更ニ松尾代議士ノ御質問ニ對シテ、ドウ云フ形デヤルカト云フ御問ニ對シテ、政府委員ノ御答辯ハ、寄附金ノ形ニ於テヤルト云フ御話モアッタヤウデアリマス

是ハドウモ諄イヤウデアリマスケレドモ、更ニ御伺フシテ置キマスガ、寄附金ト言ヘバ是ハ一方ノ形デアリマシテ、一方行爲デアッテ、ドウモ或ル意味カラ行クト不正確ナ形ヲ免レナイノデアリマスガ、新會社トシテドウ云フヤウナ形ヲ御取リニナルノデアリマセウカ、或ハ當該關係ノ市ト内容ヲ明ニシタ契約ヲ御結ビニナルト云フヤウナコトニナルノデアリマセウカ、ソレトモ寄附金ヲスルト云フ聲明ナリ或ハ文書ノ形ニ於テ、サウ云フ決定ヲ爲サル積リデアリ

マセウカ、諄イヤウデアリマスケレドモ、  
同ッテ置キタイト思ヒマス

○若宮委員長 一寸私モ關聯シテ主トシテ  
御答ヲ願ヒタイノハ、今迄ノ豫算科目ノ上  
ノ助成金ト云フモノ、豫算法理上ノ性質ガ  
何デアルカト云フコトモ御示ヲ願ヒタイノ  
デアリマス、例ヘバ何トデモ考ヘラレルデ  
セウガ、或ハ補助金ノ性質ヲ持ッテ居ルノ  
デスカ、契約ニ依ル支給金デアアルノデス  
カ、損害ニ對スル賠償金デアアルノデスカ、  
其他豫算科目ノ上ノ性質ハ何デアルカ、ソ  
レモ併セテ御伺致シマス

○中井政府委員 豫算ノ趣旨ハ、是ハ丁度  
會社ノ寄附金同ジダト思ヒマスガ、働イ  
テ居ル人ガ擔稅力ガ少イカラ、又製鐵業獎  
勵法ニ依ッテ民間デアレバ稅ノ免除ヲ受ケ  
テ居リマス、官業デアレバ政府ノ事業デア  
ル爲ニ一切ノ租稅ハ取ラナイト云フヤウナ  
コトカラ、市ノ財政ヲ助ケルコトガ、延イ  
テ其事業ヲ圓滑ニ遂行スル所以デアアルト  
云フ意味ヲ以チマシテ、政府ノ恩惠ノ交  
付金デアアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リ  
マス、隨テ契約デモゴザイマセヌシ、又増  
減モ爲シ得ルノデアリマスガ、多年ノ慣行  
ニ依ッテ、一旦出シタモノヲズツ續ケテ行  
ク、斯ウ云フヤウナ主義ノ豫算ノ計上ニ

ナッテ居ルト考ヘテ居リマス、尙ホ左様ナ趣  
意ノ豫算デアリマスガ、是方此會社ニ引繼  
ガレマシタ後ニ於テハ、會社ガ市ニ對シ

テ同様ノ金額ヲ負擔スルコトガ、會社ノ業  
務ヲ圓滑ニ遂行スル上ニ於テモ必要ダト思  
ヒマス、殊ニ過半數ノ株ヲ政府ガ持ッテ居  
ルコトデモアリマスシ、是ハ契約ヲスルト  
云フ筋合ノモノデハナイト思ヒマスガ、併  
シ其間ニ將來齟齬ヲ來サナイヤウニ、監督  
官廳タル商工省ヨリ、會社ニ對シテ適當ノ  
——吾々ノ官廳ニ於ケル言葉デ申シマスル  
ト、通牒ヲ發スルト云フヤウナコトデ、其  
趣旨ヲ將來モ續ケテ行クト云フ形ヲ以テ、  
又官廳ヨリ會社ニ通達致シマシタコトヲ、  
其寫ヲ關係ノ市町村ニモ交付シテ置イテ、  
念ノ爲ニ安心サセル、斯ウ云フヤウナ形ヲ  
執ルノガ適當デヤナイカト考ヘテ居リマス

○田島委員 御答辯能ク分リマシタ、更ニ  
進ミマシテ此地方ノ狀況ニ付テ一言此際申  
上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、是ハ八幡市  
ダケニ付テ申シマスト、過去ノ實績ニ徴シ  
マシテ、年々就學兒童ノ増加スルノガ二千  
五百名ヅ、増加シテ居ルヤウナ計算ニナッ  
テ居リマス、教育費ガ兒童一名當リザツト二  
十圓デアリマスガ、現在ノ教育費ガ五十萬  
圓デアツテ、今二千五百名ヅ、毎年増加スル

ノデアリマスカラ、約五萬圓宛ノ年々ノ増  
加デアリマス、ソレニ對シテ新築校舍費ト

云フモノガ約一年ニスルト三十萬圓見當ノ  
モノガ要ルヤウデアアルノデアリマス、一面  
納稅者ノ方ノ側ヲ見マスト、總戶數三萬六  
千戸ニ對シマシテ、稅ヲ免ゼラレテ居ルモ  
ノ、詰リ一文モ稅ヲ負擔シナイモノハ五割  
一分ニ達シテ居リマス、一萬八千五百戸ト  
云フモノハ稅ヲ負擔シテ居ナイ、斯ウ云フ  
ヤウナ實情デハ八幡市ハアルノデアリマス、  
斯ウ云フヤウニ納稅者ガ四割九分シカナ  
イ、五割一分ハ免稅者デアルト云フヤウナ狀  
況デアルト云フコトガ、今ノ長官ノ御話ノ、  
此官廳カラ寄附金ノ形ニ於テデスカ、所謂  
助成スル形ニ於テ、相當ノ金ヲ——今日マ  
デ五十萬圓ト云フ金ヲ交付セラレ、將來モ  
亦交付スルト云フ御話ガ起ル所以デアリマ  
スガ、併シ今申上ゲマシタ通り増加兒童ハ年  
年二千五百名ヲ下ラヌノデアリマシテ、益々  
増加スル、ソレデ益々自治團體ノ費用ト云  
フモノハ増加スル一方デアリマシテ、結局  
此五十萬圓ノ助成金ヲ増加シテ行クト云フ  
ヤウナ場合ガ必要ニナッテ來ルコトガ目ノ  
前ニ見エテ居ルノデアリマス、ソレデ新會  
社ハ、是ハ會社デアリマシテ政府デハアリ  
マセヌカラ、今日政府御當局カラ新會社ノ

方針ヲ、御誓約ト言フト言葉ガ惡イデス  
ガ、茲ニ聲明シテ載クト云フコトハ、是ハ  
理窟上出來ナイ話デアリマス、ソレハ能ク  
存ジテ居リマスガ、併ナガラ政府ハ新會社  
ノ大株主デアリマシテ、過半數ノ權利ヲ持  
タレナクチャナラヌヤウニ法律上ナッテ居  
ルノデアリマスカラ、今日ノ政府ノ御考ト、  
將來新會社ノ持チマス考トハ同一ノモノデ  
ナクチャナラヌト私ハ考ヘマスカラ、其將  
來大株主タルベキ政府當局ニ對シテ、將來  
ノ凡ソノ御考、是ハ正確ナル責任アル御言  
明ヲ求メルト云フ譯デナク、將來ノ御考ヲ  
此際承ルト云フコトハ必シモ不都合デナイ  
ト思フノデアリマスカラ御伺スルノデアリ  
マスガ、將來斯ノ如ク非常ニ就學兒童ガ増  
加シ、又自治團體ノ費用ガ増加シ、一方ニ  
免稅者ハ非常ニ多イ、斯ウ云フ事情ニ鑑ミ  
ラレマシテ、必要ナ場合ハ又相當ニ考ヘテ  
ヤルト云フ御意思ガアルカドウカト云フコ  
トヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

○中井政府委員 只今ノ政府當局ノ考ハ將  
來スカルベキ筈デアルト云フ筋途ヲ申上  
ゲルダケデアリマスガ、今日マデ能ク田島  
君ハ御承知ノヤウニ、働イテ居ル人ノ數デ  
アルトカ、教育費、衛生費ト云フモノヲ考  
慮ニ入レテ、其場合ニ一旦決メタモノヲ更

ニ必要ガアツテ増スト云フ經過ニナツテ居リマスシ、將來又増スベキ理由ガアレバ増スノハ當然ダト思ヒマス、但シ其處ニ從來ト變テ參リマスノハ、從來何等此業體ヨリ稅ヲ徵收シテ居ナイノデアリマスガ、將來ハ其點或ル程度ノ稅ヲ徵收サレコトニナリマス、ソレヲ差引イタ殘リガ少クトモ現在ヨリ狀態ガ惡クナラスト云フコトノ處置ヲ、先ヅ以テ執ルベキモノデアルト思ヒマス、將來又稅收入ダケデ只今ノ助成金交付金以上ニナレバ、其際ニハ打切ラウト云フ風ニ行クベキ筋途ノモノダト考ヘテ居リマス、併シ又今申上ゲタヤウナ従業員ノ數トカ、其子供ノ就學ノ關係モアリマスノデ教育費、衛生費等ノ増スコトノ諸般ノ割合ヲ綜合シテ考ヘテ、増スベキ時ニハ此事業ヨリ増スノガ當然ダト斯ウ云フ風ニ只今當局者ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○田島委員 先ヅ今ノ問題ニ關シマシテハ、長官ノ御言明ヲ伺ヒテ置キマシテ、次ノ問題ニ移リマス、次ニ私ノ伺ヒタイト思ヒマスコトハ、滿洲ニ於ケル製鐵業ト此會社トノ關係事項デアリマス、大體陸軍大臣ノ御出席ニナツテ居ラレル時ニ伺フノガ宜イト思ヒマスルケレドモ、直接滿洲ニ於テ此製鐵業ヲ經營シヤウト思ハレマス所ノ、南滿

洲鐵道株式會社ノ監督官タル御方ガ此處ニ來テ居ラレマスカラ、先ヅ其點ニ付テ御伺致シマス、製鐵獎勵金ノ廢止ニ依ツテ、關東州ニ關スル此目的ノ爲ノ施設ハ此際御取止メニナルト云フコトニナツテ居リマス、其點ハドウデスカ、是ハ速記ヲ止メテ伺ヒタイト思ヒマス

○若宮委員長 ソレデハ速記ヲ中止致シマス

〔速記中止〕

○若宮委員長 ソレデハ御相談申上ゲマス、實ハ御覽ノ如クニ今日マデ六日間非常ニ御勉強ヲ願ツテ、午前午後ニ互ツテヤッテ戴イテ居ルノデアリマスルガ、中々質問ガ進行致シマセヌ、漸ク只今ノ田島君デ一應ノ所十二人ノ御方ガ先ヅ質問ヲセラレタト云フコトニナリマシテ、一日平均御二人ト云フコトニナツテ居リマス、固ヨリ其内容ハ其人數ヲ以テ律スベキモノデアリマセヌ、非常ニ有益ナ質問應答ガ交換セラレテ居ルコトハ申スマデモゴザイマセヌガ、段々日數モ經マサルシ、其内容ニ付テハ十分盡サレテ、而モ時間ヲ節約シ得ルヤウニ「スピード」ヲ増スヤウニ御配慮ヲ特ニ御願ヲ申上ゲタイカト思ヒマス、今マデトモ決シテ御如才ノアルト思ッテ申上ゲテ居ル次第デアアリマセヌガ、成ベク「エッセンス」ヲ

——今晚ニモ明日ノ御順ノ御方ハ要點ノ所ヲ御考ヘ御研究ヲ願ヒ置キマス、又政府ニ於キマシテモ、質疑者ニ満足セシムルヤウニ十分ノ御用意アツテ、速度ヲ進メルコトニ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、今日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時ノ積リデアリマス

午後五時四十二分散會

〔田島勝太郎君演說參照〕

八幡製鐵所従業員代表ニ對スル商工大

臣談話ノ要領

官民製鐵事業ノ合同ヲ爲サントスルハ之ニ依リ本邦製鐵業ニ統制力ヲ與ヘ其ノ財政的基礎ヲ堅實ナラシメ以テ二重投資ト國內ノ無益ノ競争ヲ避ケ廉價ニシテ品質優良ノ製品ヲ市場ニ供給シ一方設備ノ改良擴張ヲ可能ナラシメ外國品ノ輸入ヲ防遏シ進ンテ輸出方面ニ發展スルノ方途ヲ策シ仍テ國家最重要産業タル製鐵事業ノ基礎ヲ確立セントスルカ爲テアル

而シテ官民各製鐵事業ヲ合同セシムル場合ニ爲ス評價ハ法律ニ基ク製鐵業評價審査委員會ニ於テ之ヲ嚴正且公平ニ爲スモノニシテ個々ノ營利本位ノ企業經營ニ對スル世上ノ批判ニ逆行シテボロ會社ノ救済トナル

カ如キ評價ヲナスモノテナイ會社ニ對シテハ法律ニ基キ國防上公益上業務上ノ嚴重ナル監督ヲ爲スノミナラス重役ノ選任解任、利益金ノ處分、社債ノ募集等重要ナル事項ハ主務大臣ノ認可ヲ要スルコト、爲シ決シテ配當本位ノ經營ヲ許スモノテナイ殊ニ會社株式ノ半數以上ハ法律ニ依リ政府力所有スルコトヲ強制セラレ更ニ之ニ加フルニ政府ハ會社管理官ヲ置キテ會社ノ業務ヲ監視セシメテ官營ノ場合ト同シク國家ノ意思ニ依リ強力ニ統制ヲ爲スモノテアルカラ合同ニ依リテ本邦製鐵事業ノ根基ハ益々鞏固ニナルト共ニ製鐵従業員ノ福祉ト其ノ心カラノ協力ノ上ニ國策ヲ遂行シ得ルモノト信スルヲテアル

勞働條件等ニ就テハ左記ノ通テアルカ兎ニ角今回ノ合同案ノ内容ハ前述ノ如キ趣旨ニ依リテ立案シテアルカラ従業員ハヨク此ノ點ヲ諒解シテ益々本邦製鐵事業ノ爲ニ勉勵セラレタイ

一、従業員ノ勞働條件ニ付テハ左記

(一)全従業員ハ新會社ニ全部引續ク様政府ハ出資ニ際シ會社ニ命令スル

(二)勤続年數ハ打切ラス今後ノ分ト通算スルコトトシ此ノ點ハ法令ニ根據ヲ持タセル從ツテ此儘官營力續ケラルルト

何等實質的ニ變ルコトナシ

(三)賃金、割増、労働時間、其他ノ労働  
條件及賞與ニ付テハ從來ト同様ノ取扱  
ヲセラルル様監督官廳カラ命令スルコ  
ト、ナル

(四)職夫ニ付テモ現ニ製鐵所カ爲サント  
シツ、アルトコロト變ラヌ様之亦命令  
スル

二、共濟組合ハ現在ノ儘移行シ政府給與金  
ニ相當スルモノニ付テハ政府ハ新會社ニ  
給與ヲ命スルヲ以テ給付ニ付テモ何等懸  
念ノ要ナク購買部モ勿論組合附屬事業ト  
シテ現在通り存續シ縮少等ノ憂ナシ  
病院ニ付テモ懸念ノ要ナシ

三、職員ニ付テモ勤續年數ノ通算ハ前同様  
タカ官吏カ其身分ヲ喪失スルト云フコト  
ハ止ムヲ得ナイ然シ恩給法ニ依ル待遇ガ  
打切ラル、コトニ基ク不利益ハ出來得ル  
限り實質的ニ救済シ得ル仕組ニスル

昭和八年三月八日印刷

昭和八年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所